２０２２年度　Ｍ３　（第１週）時間割表

4月 4日（月）～ 4月 8日（金）

時限	時間	4/4(月)	4/5(火)	4/6(水)	4/7(木)	4/8(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	薬理学	衛生学	病理学A1 序論・病因論 菅間　博 病理学	英語・医学英語Ⅲ	病理学A3 細胞障害(1) 菅間　博 病理学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	薬理学	衛生学	病理学A2 病理診断学 柴原純二 病理学	薬理学	薬理学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	臨床医学総論1 胸部単純写真 平岡祥幸 放射線医学	臨床検査医学・輸血学1 輸血検査 大西宏明 臨床検査医学	臨床医学総論2 病歴聴取法 矢島知治 医学教育学	消化器内科学2 消化器総論 森　秀明 消化器内科学	
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	14：45～ オリエンテーション		臨床医学総論3 EBMの基礎 吉田正雄 衛生学公衆衛生学	神経内科学・脳卒中医学1 神経総論 千葉厚郎 脳神経内科学	消化器内科学3 消化管総論（２） 久松理一 消化器内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30		ワクチン接種③	消化器内科学1 消化管総論（１） 大野亜希子 消化器内科学		臨床検査医学・輸血学2 輸血療法 大西宏明 臨床検査医学

２０２２年度　Ｍ３　（第２週）時間割表

4月11日（月）～ 4月15日（金）

時限	時間	4/11(月)	4/12(火)	4/13(水)	4/14(木)	4/15(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	薬理学	衛生学	病理学A4 細胞障害(2) 菅間　博 病理学	英語・医学英語Ⅲ	病理学A8 炎症(4) 藤原正親 病理学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	薬理学	衛生学	病理学A5 炎症(1) 藤原正親 病理学	薬理学	薬理学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	臨床検査医学・輸血学3 血液検査と染色体検査 滝　智彦 臨床検査医学	臨床検査医学・輸血学4 生化学検査の見方 岸野智則 保健学部	病理学A6 炎症(2) 下山田博明 病理学	臨床医学総論5 医の倫理（１） 吉田正雄 衛生学公衆衛生学	神経内科学・脳卒中医学3 神経系の症候学（１） 宮崎　泰 脳神経内科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	臨床医学総論4 ＣＴ、ＭＲＩ 片瀬七朗 放射線医学	薬理学	病理学A7 炎症(3) 下山田博明 病理学		薬理学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	消化器内科学4 消化管総論（３） 久松理一 消化器内科学		神経内科学・脳卒中医学2 臨床に必要な神経解剖の基本 市川弥生子 脳神経内科学		

２０２２年度　Ｍ３　（第３週）時間割表

4月18日（月）～ 4月22日（金）

時限	時間	4/18(月)	4/19(火)	4/20(水)	4/21(木)	4/22(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習	薬理学実習

２０２２年度　Ｍ３　（第４週）時間割表

4月25日（月）～ 4月28日（木）

時限	時間	4/25(月)	4/26(火)	4/27(水)	4/28(木)	4/29(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	薬理学	衛生学	病理学A9 免疫 菅間　博 病理学	英語・医学英語Ⅲ	昭和の日
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	薬理学	衛生学	病理学A10 炎症(5)・実習 藤原正親・下山田博明 病理学	薬理学	
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	臨床医学総論6 外科周術期管理 橋本佳和 消化器・一般外科学	臨床検査医学・輸血学5 臨床検査総論 安戸裕貴 臨床検査医学	病理学A11 先天異常 長濱清隆 病理学	臨床検査医学・輸血学6 遺伝子関連検査 大塚弘毅 臨床検査医学	
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	消化器内科学5 食道疾患 山口康晴 消化器内科学		臨床医学総論7 診療ガイドライン 坪井貴嗣 精神神経科学	神経内科学・脳卒中医学5 神経系の症候学（３） 千葉厚郎 脳神経内科学	
Ⅴ	16:15 ～ 17:30			神経内科学・脳卒中医学4 神経系の症候学（２） 宮崎　泰 脳神経内科学		

２０２２年度　Ｍ３　（第５週）時間割表

5月 2日（月）～ 5月 6日（金）

時限	時間	5/2(月)	5/3(火)	5/4(水)	5/5(木)	5/6(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	病理学A12 代謝障害（１） 長濱清隆 病理学	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	病理学A14 代謝障害（３）・実習 長濱清隆 病理学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	病理学A13 代謝障害(２) 長濱清隆 病理学				薬理学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30					
Ⅳ	14:45 ～ 16:00					臨床医学総論8 腹部単純写真、 消火管X線透視、血管撮影 黒木一典 放射線医学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30					

２０２２年度　Ｍ３　（第６週）時間割表

5月 9日（月）～ 5月13日（金）

時限	時間	5/9(月)	5/10(火)	5/11(水)	5/12(木)	5/13(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	臨床医学総論9 医療の質と安全の確保 冨田泰彦 医学教育学	衛生学	臨床医学総論11 放射線防護、放射線治療の基礎 江原 威 放射線腫瘍学	英語・医学英語Ⅲ	
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	消化器内科学6 腸疾患（１） 齋藤大祐 消化器内科学	衛生学	薬理学	薬理学	薬理学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	臨床医学総論10 核医学の基礎 須山淳平 放射線医学	薬理学	臨床医学総論12 外科侵襲学 森　俊幸 消化器・一般外科学	消化器外科学1 食道外科（１） 橋本佳和 消化器・一般外科学	消化器外科学3 腸閉塞 吉敷智和 消化器・一般外科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00		循環器病学A1 循環器内科学総論・ 医師のキャリアパス 副島京子 循環器内科学		消化器外科学2 食道外科（２） 柳田 修 消化器・一般外科学	循環器病学A2 循環器症候学 小山幸平 循環器内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	早期体験学習Ⅲ （身体診察入門）	神経内科学・脳卒中医学6 神経系の補助検査（１） 宮崎　泰 脳神経内科学		神経内科学・脳卒中医学7 機能性疾患（１） 千葉厚郎 脳神経内科学	

２０２２年度　Ｍ３　（第７週）時間割表

5月16日（月）～ 5月20日（金）

時限	時間	5/16(月)	5/17(火)	5/18(水)	5/19(木)	5/20(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	薬理学	衛生学	病理学A15 循環障害（１） 藤原正親 病理学	英語・医学英語Ⅲ	薬理学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	薬理学	衛生学	病理学A16 循環障害（２） 藤原正親 病理学	薬理学	薬理学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	循環器病学A3 心臓血管外科学総論 窪田　博 心臓血管外科学	消化器外科学4 急性腹症・腹膜炎 竹内弘久 消化器・一般外科学	消化器内科学8 胃・十二指腸疾患（２） 高橋信一 消化器内科学	消化器内科学10 腸疾患（２） 櫻庭彰人 消化器内科学	臨床医学総論14 医の倫理（２） 冨田泰彦 医学教育学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	消化器内科学7 胃・十二指腸疾患（１） 田中昭文 消化器内科学	消化器外科学5 胃外科（１） 阿部展次 消化器・一般外科学	消化器内科学9 胃・十二指腸疾患（３） 大野亜希子 消化器内科学	消化器内科学11 腸疾患（３） 久松理一／須並英二 消化器 合同講義(90分)	
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	臨床医学総論13 臨床研究の倫理 水谷友紀 総合医療学	消化器外科学6 胃外科（２） 大木亜津子 消化器・一般外科学	循環器病学A4 循環器画像診断の解剖学的基礎 井川　修 循環器内科学		

２０２２年度　Ｍ３　（第８週）時間割表

5月23日（月）～ 5月27日（金）

時限	時間	5/23(月)	5/24(火)	5/25(水)	5/26(木)	5/27(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	薬理学	衛生学	病理学A17 循環障害(３) 下山田博明 病理学	英語・医学英語Ⅲ	循環器病学A6 心電図（２） 富樫郁子 循環器内科学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	薬理学	衛生学	病理学A18 循環障害（４）・実習 藤原正親・下山田博明 病理学	薬理学	薬理学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	臨床医学総論15 医の倫理（３） 冨田泰彦 医学教育学		消化器内科学12 肝・胆・膵総論（１） 森　秀明 消化器内科学		臨床検査医学・輸血学7 尿以外の一般検査の見方 安戸裕貴 臨床検査医学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	神経内科学・脳卒中医学8 神経変性疾患（１） 宮崎　泰 脳神経内科学				臨床検査医学・輸血学8 検査値と疾患 山崎聡子 臨床検査医学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	神経内科学・脳卒中医学9 神経変性疾患（２） 市川弥生子 脳神経内科学	早期体験学習Ⅲ （身体診察入門）	循環器病学A5 心電図（１） 富樫郁子 循環器内科学		

２０２２年度　Ｍ３　（第９週）時間割表

5月30日（月）～ 6月 3日（金）

時限	時間	5/30(月)	5/31(火)	6/1(水)	6/2(木)	6/3(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	薬理学	衛生学	病理学A19 腫瘍（１） 林　玲匡 病理学	英語・医学英語Ⅲ	薬理学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	薬理学	衛生学	病理学A20 腫瘍（２） 林　玲匡 病理学	薬理学	薬理学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	神経内科学・脳卒中医学10 脳血管障害（１） 平野照之 脳卒中医学		病理学A21 腫瘍（３） 林　玲匡 病理学	消化器内科学14 膵臓疾患 土岐真朗 消化器内科学	消化器内科学16 肝・胆・膵総論（３） 森　秀明 消化器内科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	臨床医学総論16 医の倫理（４） 吉田正雄 衛生学公衆衛生学	消化器内科学13 肝・胆・膵総論（２） 川村直弘 消化器内科学	消化器外科学8 肛門疾患 須並英二 消化器・一般外科学	消化器内科学15 胆道疾患 落合一成／鈴木　裕 消化器 合同講義(90分)	健 康 診 断
Ⅴ	16:15 ～ 17:30		消化器外科学7 大腸腫瘍 須並英二 消化器・一般外科学	神経内科学・脳卒中医学11 神経変性疾患（３） 市川弥生子 脳神経内科学		

２０２２年度　Ｍ３　（第１０週）時間割表

6月 6日（月）～ 6月10日（金）

時限	時間	6/6(月)	6/7(火)	6/8(水)	6/9(木)	6/10(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	薬理学	衛生学	病理学A22 腫瘍(4) 林　玲匡 病理学	英語・医学英語Ⅲ	病理学A24 循環器疾患（１） 藤原正親 病理学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	薬理学	衛生学	病理学A23 腫瘍(5)・実習 林　玲匡 病理学	薬理学	薬理学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	循環器病学A7 心電図（３） 上田明子 循環器内科学	循環器病学A8 頻脈性不整脈 松尾征一郎 循環器内科学		消化器内科学17 肝臓疾患（１） 川村直弘 消化器内科学	循環器病学A10 先天性心疾患（１） 保崎　明 小児科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	臨床検査医学・輸血学9 臨床微生物学 米谷正太／大西宏明 臨床検査医学	臨床検査医学・輸血学10 生理検査学 山崎聡子 臨床検査医学	神経内科学・脳卒中医学13 機能性疾患（２） 宮崎　泰 脳神経内科学		臨床検査医学・輸血学11 静脈採血 大西宏明 保健学部
Ⅴ	16:15 ～ 17:30		神経内科学・脳卒中医学12 脳血管障害（２） 平野照之 脳卒中医学	循環器病学A9 徐脈性不整脈 佐藤俊明 循環器内科学		

２０２２年度　Ｍ３　（第１１週）時間割表

6月13日（月）～ 6月17日（金）

時限	時間	6/13(月)	6/14(火)	6/15(水)	6/16(木)	6/17(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	衛生学	衛生学	病理学A25 循環器疾患（２） 藤原正親 病理学	英語・医学英語Ⅲ	衛生学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	衛生学	衛生学	病理学A26 循環器疾患（３） 下山田博明 病理学	衛生学	衛生学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	循環器病学A11 不整脈　外科 今井克彦 心臓血管外科学	臨床検査医学・輸血学12 超音波画像の見方 岸野智則 臨床検査医学	循環器病学A12 冠動脈疾患　内科 斉藤竜介 循環器内科学		消化器内科学19 肝臓疾患（２） 川村直弘 消化器内科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00		神経内科学・脳卒中医学14 神経系の補助検査（２） 宮崎　泰 脳神経内科学	循環器病学A13 冠動脈疾患　外科 二宮幹雄 循環器内科学		神経内科学・脳卒中医学15 脳血管障害（３） 平野照之 脳卒中医学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	消化器外科学9 膵胆管合流異常症・先天性胆道拡張症・胆嚢癌・乳頭部癌 小暮正晴 消化器・一般外科学		消化器内科学18 学生参加型臨床講義（胆膵） 森　秀明 消化器内科学	接種後ＨＢｓ抗体検査	神経内科学・脳卒中医学16 神経筋疾患（１） 千葉厚郎 脳神経内科学

２０２２年度　Ｍ３　（第１２週）時間割表

6月20日（月）～ 6月24日（金）

時限	時間	6/20(月)	6/21(火)	6/22(水)	6/23(木)	6/24(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	衛生学	消化器外科学10 嚢胞性膵疾患と膵神経内分泌腫瘍 鈴木　裕 消化器・一般外科学	病理学A28 循環器疾患（５）・実習 藤原正親・下山田博明 病理学	英語・医学英語Ⅲ	
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	衛生学	循環器病学A14 心エコー 坂田好美 循環器内科学	病理学A29 消化管疾患（１） 柴原純二 病理学	衛生学	衛生学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	病理学A27 循環器疾患（４） 下山田博明 病理学		病理学A30 消化管疾患（２） 柴原純二 病理学	消化器外科学12 肝臓の解剖、機能評価・肝細胞・転移性肝腫瘍 松本亮太 消化器・一般外科学	循環器病学A17 先天性心疾患（２） 保崎　明 小児科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00		神経内科学・脳卒中医学17 脳血管障害（４） 山田　深 リハビリテーション医学	消化器外科学11 膵癌 阪本良弘 消化器・一般外科学	病理学A31 消化管疾患（３） 柴原純二 病理学	消化器外科学13 肝外胆管癌と肝内胆管癌 阪本良弘 消化器・一般外科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30		循環器病学A15 冠動脈疾患 救急対応・心臓突然死 石黒晴久 循環器内科学	循環器病学A16 弁膜症（大動脈弁） 南島俊徳 循環器内科学	予防接種①	消化器内科学20 学生参加型臨床講義（肝臓） 川村直弘 消化器内科学

２０２２年度　Ｍ３　（第１３週）時間割表

6月27日（月）～ 7月 1日（金）

時限	時間	6/27(月)	6/28(火)	6/29(水)	6/30(木)	7/1(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	病理学A32 消化管疾患（４） 柴原純二 病理学	神経内科学・脳卒中医学19 神経感染症（１） 千葉厚郎 脳神経内科学	病理学A34 肝胆膵疾患（２） 柴原純二 病理学	英語・医学英語Ⅲ	確認テスト
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	病理学A33 肝胆膵疾患（１） 柴原純二 病理学	神経内科学・脳卒中医学20 神経感染症（２） 千葉厚郎 脳神経内科学	病理学A35 肝胆膵疾患（３） 柴原純二 病理学	衛生学	
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	消化器内科学21 学生参加型臨床講義（消化管） 久松理一 消化器内科学	循環器病学A18 高血圧・動脈硬化 星田京子 循環器内科学	神経内科学・脳卒中医学21 中毒・代謝・栄養疾患（１） 市川弥生子 脳神経内科学	消化器内科学22 肝臓疾患（３） 川村直弘 消化器内科学	消化器内科学23 肝臓疾患（４） 川村直弘／阪本良弘 消化器 合同講義(90分)
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	神経内科学・脳卒中医学18 脱髄性疾患 千葉厚郎 脳神経内科学		神経内科学・脳卒中医学22 中毒・代謝・栄養疾患（２） 市川弥生子 脳神経内科学	衛生学	
Ⅴ	16:15 ～ 17:30			神経内科学・脳卒中医学23 神経筋疾患（２） 森　まどか 脳神経内科学	衛生学	循環器病学A19 弁膜症（僧帽弁） 南島俊徳 循環器内科学

２０２２年度　Ｍ３　（第１４週）時間割表

7月 4日（月）～ 7月6日（水）

時限	時間	7/4(月)	7/5(火)	7/6(水)	7/7(木)	7/8(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	消化器内科学19 肝臓疾患（５） 關 里和 消化器内科学	衛生学	病理学A36 消化管疾患（５）・実習 柴原純二 病理学		
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	循環器病学A20 弁膜症　外科 窪田　博 心臓血管外科学	衛生学	病理学A37 肝胆膵疾患（４）・実習 柴原純二 病理学		
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	衛生学	循環器病学A21 心筋症 坂田好美 循環器内科学	衛生学		
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	衛生学	神経内科学・脳卒中医学24 脊髄・脊椎 宮崎　泰 脳神経内科学	衛生学		
Ⅴ	16:15 ～ 17:30					

２０２２年度　Ｍ３　（第１５週）時間割表

8月29日（月）～ 9月 2日（金）

時限	時間	8/29(月)	8/30(火)	8/31(水)	9/1(木)	9/2(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	腎臓内科学1 腎臓内科学総論 要　伸也 腎臓・リウマチ膠原病内科学	小児科学3 小児膠原病・川崎病 福原大介 小児科学	病理学B1 腎疾患（１） 下山田博明 病理学	英語・医学英語Ⅲ	小児科学5 造血・赤血球異常 吉野　浩 小児科学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	内分泌・代謝内科学1 内分泌総論 田中利明 糖尿病・内分泌・代謝内科学	小児科学4 新生児-正常（１） 野村優子 小児科学	病理学B2 腎疾患（２） 下山田博明 病理学	血液内科学1 血液学入門 高山信之 血液内科学	小児科学6 小児腎泌尿器疾患（１） 楊　國昌 小児科学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	小児科学1 成長・発達 成田雅美 小児科学	循環器病学B1 心電図演習（１） 友野泰秀 循環器内科学	病理学B3 呼吸器疾患（１） 藤原正親 病理学	泌尿器科学2 尿路感染症・性感染症 宮川仁平 泌尿器科学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学1 呼吸器外科総論/解剖 安樂真樹 呼吸器・甲状腺外科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	小児科学2 小児呼吸器疾患 川口明日香 小児科学		泌尿器科学1 泌尿器科学総論 福原　浩 泌尿器科学	産科婦人科学2 妊娠の生理と初期の異常（２） 田嶋　敦 産科婦人科学	血液内科学2 血球の機能 高山信之 血液内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	産科婦人科学1 妊娠の生理と初期の異常（１） 田嶋　敦 産科婦人科学				内分泌・代謝内科学2 視床下部・下垂体疾患（１） 田中利明 糖尿病・内分泌・代謝内科学

２０２２年度　Ｍ３　（第１６週）時間割表

9月5日（月）～9月 9日（金）

時限	時間	9/5(月)	9/6(火)	9/7(水)	9/8(木)	9/9(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	腎臓内科学2 腎疾患の検査（１） 要　伸也 腎臓・リウマチ膠原病内科学	小児科学7 新生児-正常（２） 野村優子 小児科学	病理学B4 呼吸器疾患（２） 藤原正親 病理学	英語・医学英語Ⅲ	病理学B6 呼吸器疾患（４）・実習 藤原正親 病理学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	皮膚科・形成外科学1 皮膚科学入門、症候学、診断学 大山　学 皮膚科学	血液内科学3 止血・血栓の疾患（１） 佐藤範英 血液内科学	病理学B5 呼吸器疾患（３） 藤原正親 病理学	血液内科学4 鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血・慢性炎症に伴う貧血・鉄過剰症 高山信之 血液内科学	腎臓内科学5 高血圧（腎血管性を含む）・腎循環障害 要　伸也 腎臓・リウマチ膠原病内科学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	内分泌・代謝内科学3 視床下部・下垂体疾患（２） 田中利明 糖尿病・内分泌・代謝内科学	循環器病学B2 心電図演習（２） 友野泰秀 循環器内科学	産科婦人科学4 妊娠中期・後期の異常（２） 谷垣伸治 産科婦人科学	呼吸器内科学1 解剖と生理・呼吸不全 石井晴之 呼吸器内科学	産科婦人科学5 合併症妊娠 小林千絵 産科婦人科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	皮膚科・形成外科学2 形成外科概論 多久嶋亮彦 形成外科学	腎臓内科学3 主要症候と検査（１） 池谷紀子 腎臓・リウマチ膠原病内科学	泌尿器科学3 尿路結石 多武保光宏 泌尿器科学	腎臓内科学4 糸球体疾患総論 川上貴久 腎臓・リウマチ膠原病内科学	血液内科学5 溶血性貧血 高山信之 血液内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	産科婦人科学3 妊娠中期・後期の異常（１） 谷垣伸治 産科婦人科学		泌尿器科学4 症候 原　秀彦 泌尿器科学		

２０２２年度　Ｍ３　（第１７週）時間割表

9月12日（月）～9月16日（金）

時限	時間	9/12(月)	9/13(火)	9/14(水)	9/15(木)	9/16(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	内分泌・代謝内科学4 視床下部・下垂体疾患（３） 田中利明 糖尿病・内分泌・代謝内科学	病理学B7 腎疾患（３）・実習 下山田博明 病理学	小児科学8 小児免疫疾患 成田雅美 小児科学	英語・医学英語Ⅲ	
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	内分泌・代謝内科学5 甲状腺疾患（１） 炭谷由計 糖尿病・内分泌・代謝内科学	病理学B8 泌尿器疾患（１） 柴原純二 病理学	精神神経科学1 精神医学概論 渡邊衡一郎 精神神経科学	血液内科学6 再生不良性貧血・その他の貧血 高山信之 血液内科学	内分泌・代謝内科学7 視床下部・下垂体疾患（４） 田中利明 糖尿病・内分泌・代謝内科学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学2 肺癌：集学的治療 宮　敏路 呼吸器・甲状腺外科学	呼吸器内科学2 呼吸器疾患の症候学 皿谷　健 呼吸器内科学	病理学B9 泌尿器疾患（２）・実習 柴原純二 病理学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学3 乳癌の診断と手術療法 麻賀創太 乳腺外科学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学4 転移性肺腫瘍 安樂真樹 呼吸器・甲状腺外科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	腎臓内科学6 電解質異常（１） 要　伸也 腎臓・リウマチ膠原病内科学	呼吸器内科学3 呼吸器疾患の身体所見 皿谷　健 呼吸器内科学	循環器病学B3 心不全の診断 河野隆志 循環器内科学		泌尿器科学5 精巣腫瘍 桶川隆嗣 泌尿器科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	腎臓内科学7 電解質異常（２） 要　伸也 腎臓・リウマチ膠原病内科学	内分泌・代謝内科学6 副腎疾患（１） 勝田秀紀 糖尿病・内分泌・代謝内科学		予防接種②	血液内科学7 造血器腫瘍総論 高山信之 血液内科学

２０２２年度　Ｍ３　（第１８週）時間割表

9月20日（火）～9月22日（木）

時限	時間	9/19(月)	9/20(火)	9/21(水)	9/22(木)	9/23(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	敬老の日	血液内科学8 止血・血栓の疾患（２） 佐藤範英 血液内科学	精神神経科学2 精神症候学 渡邊衡一郎 精神神経科学	英語・医学英語Ⅲ	秋分の日
Ⅱ	11:00 ～ 12:15			精神神経科学3 精神療法概論 池田暁史 精神神経科学	呼吸器内科学5 気管支鏡検査 麻生純平 呼吸器内科学	
Ⅲ	13:15 ～ 14:30		内分泌・代謝内科学8 甲状腺疾患（２） 炭谷由計 糖尿病・内分泌・代謝内科学	呼吸器内科学4 画像診断 石井晴之 呼吸器内科学	呼吸器内科学6 肺腫瘍・診断学 高田佐織 呼吸器内科学	
Ⅳ	14:45 ～ 16:00		内分泌・代謝内科学9 副腎疾患（２） 勝田秀紀 糖尿病・内分泌・代謝内科学	病理学B10 神経・筋疾患（１） 里見介史 病理学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学5 乳腺良性疾患と乳がん検診 伊坂泰嗣 乳腺外科学	
Ⅴ	16:15 ～ 17:30					

２０２２年度　Ｍ３　（第１９週）時間割表

9月26日（月）～9月30日（金）

時限	時間	9/26(月)	9/27(火)	9/28(水)	9/29(木)	9/30(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	腎臓内科学8 電解質異常（３） 要　伸也 腎臓・リウマチ膠原病内科学	循環器病学B4 心不全の治療 河野隆志 循環器内科学	精神神経科学4 精神病理学入門 田中伸一郎 精神神経科学	英語・医学英語Ⅲ	小児科学9 白血球の異常・止血・血栓の疾患 吉野　浩 小児科学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	産科婦人科学6 出生前診断（胎児異常含む） 松島実穂 産科婦人科学	血液内科学9 止血・血栓の疾患（３） 佐藤範英 血液内科学	精神神経科学5 心理検査・神経心理検査 栗原真理子 精神神経科学	病理学B12 神経・筋疾患（３） 里見介史 病理学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学6 縦隔腫瘍 藤田　敦 呼吸器・甲状腺外科学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	産科婦人科学7 分娩の管理と異常（１） 竹森　聖 産科婦人科学	泌尿器科学6 先天異常 藤田直之 泌尿器科学	産科婦人科学8 分娩の生理 佐藤泰紀 産科婦人科学	呼吸器内科学7 COPD・DPB 和田裕雄 呼吸器内科学	産科婦人科学9 分娩監視 竹森　聖 産科婦人科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	内分泌・代謝内科学10 甲状腺疾患（３） 炭谷由計 糖尿病・内分泌・代謝内科学	早期体験学習Ⅲ 地域・病院体験学習 赤木美智男 医学教育学	病理学B11 神経・筋疾患（２） 里見介史 病理学	病理学B13 乳腺疾患 菅間　博 病理学	血液内科学10 急性白血病（１） 高山信之 血液内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	腎臓内科学9 電解質異常（４） 要　伸也 腎臓・リウマチ膠原病内科学	早期体験学習Ⅲ 地域・病院体験学習 赤木美智男 医学教育学			

２０２２年度　Ｍ３　（第２０週）時間割表

10月 3日（月）～10月 7日（金）

時限	時間	10/3(月)	10/4(火)	10/5(水)	10/6(木)	10/7(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	皮膚科・形成外科学3 水疱症 福山雅大 皮膚科学	血液内科学11 血液疾患における臨床検査 大西宏明 臨床検査医学	精神神経科学6 統合失調症（１） 櫻井　準 精神神経科学	英語・医学英語Ⅲ	小児科学11 新生児-疾患(１) 細井健一郎 小児科学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	小児科学10 先天性心疾患（１） 保﨑　明 小児科学	循環器病学B6 心膜炎・心筋炎 合田あゆみ 循環器内科学	精神神経科学7 統合失調症（２） 櫻井　準 精神神経科学	呼吸器内科学8 肺腫瘍・治療学 高田佐織 呼吸器内科学	小児科学12 小児腎泌尿器疾患（２） 楊　國昌 小児科学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	循環器病学B5 心不全　外科 峯岸祥人 心臓血管外科学	内分泌・代謝内科学11 副腎疾患（３） 勝田秀紀 糖尿病・内分泌・代謝内科学	皮膚科・形成外科学4 湿疹、皮膚炎、光線過敏症、外用療法 水川良子 皮膚科学	血液内科学12 急性白血病（２） 高山信之 血液内科学	内分泌・代謝内科学12 視床下部・下垂体疾患（５） 田中利明 糖尿病・内分泌・代謝内科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	産科婦人科学10 分娩の管理と異常（２） 松島実穂 産科婦人科学	早期体験学習Ⅲ 地域・病院体験学習 赤木美智男 医学教育学	泌尿器科学7 性分化異常 加藤司顯 泌尿器科学	病理学B14 整形外科疾患（１） 柴原純二 病理学	血液内科学13 慢性骨髄性白血病 高山信之 血液内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	産科婦人科学11 妊婦健診、母子保健 北村亜也 産科婦人科学	早期体験学習Ⅲ 地域・病院体験学習 赤木美智男 医学教育学		皮膚科・形成外科学5 角化異常症 鈴木洋介 皮膚科学	

２０２２年度　Ｍ３　（第２１週）時間割表

10月11日（火）～10月14日（金）

時限	時間	10/10(月)	10/11(火)	10/12(水)	10/13(木)	10/14(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	スポーツの日	病理学B15 整形外科疾患（２） 柴原純二 病理学	精神神経科学8 うつ病 渡邊衡一郎 精神神経科学	英語・医学英語Ⅲ	小児科学13 新生児-疾患（２） 細井健一郎 小児科学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15		皮膚科・形成外科学6 顔面解剖・顔面における疾患 尾崎　峰 形成外科学	精神神経科学9 双極性障害 渡邊衡一郎 精神神経科学	呼吸器内科学9 肺結核・非結核性抗酸菌症 皿谷　健 呼吸器内科学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学7 膿胸・乳び胸・縦隔炎 新井信晃 呼吸器・甲状腺外科学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30		産科婦人科学12 産科処置 北村亜也 産科婦人科学	循環器病学B7 感染性心内膜炎の外科的治療、心臓腫瘍 遠藤英仁 心臓血管外科学		泌尿器科学8 前立腺癌 桶川隆嗣 泌尿器科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00		早期体験学習Ⅲ 地域・病院体験学習 赤木美智男 医学教育学	皮膚科・形成外科学7 再建外科（１） 白石知大 形成外科学	早期体験学習Ⅲ 地域・病院体験学習 赤木美智男 医学教育学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学8 肺癌：診断、TNM分類、画像、病理 田中良太 呼吸器・甲状腺外科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30		早期体験学習Ⅲ 地域・病院体験学習 赤木美智男 医学教育学		早期体験学習Ⅲ 地域・病院体験学習 赤木美智男 医学教育学	循環器病学B8 心電図演習（３） 星田京子 循環器内科学

２０２２年度　Ｍ３　（第２２週）時間割表

10月17日（月）～10月21日（金）

時限	時間	10/17(月)	10/18(火)	10/19(水)	10/20(木)	10/21(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45		小児科学15 小児腫瘍性疾患 吉野　浩 小児科学	精神神経科学10 不安症・強迫症 片桐建志 精神神経科学	英語・医学英語Ⅲ	小児科学16 先天性心疾患（２） 保崎　明 小児科学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	小児科学14 小児神経疾患（１） 宮田世羽 小児科学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学9 気胸 平田佳史 呼吸器・甲状腺外科学	精神神経科学11 心身症、摂食障害、ストレス関連障害 西園マーハ文 精神神経科学	血液内科学14 骨髄増殖性腫瘍・骨髄異形成症候群 高山信之 血液内科学	病理学B16 血液疾患（１） 日比谷孝志 病理学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	産科婦人科学13 産褥 井澤朋子 産科婦人科学	内分泌・代謝内科学13 副腎疾患（４） 勝田秀紀 糖尿病・内分泌・代謝内科学	皮膚科・形成外科学8 ウイルス感染症 水川良子 皮膚科学	呼吸器内科学11 換気障害・睡眠時無呼吸 布川寛樹 呼吸器内科学	病理学B17 血液疾患（２） 日比谷孝志 病理学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	循環器病学B9 循環器の再生医学 岩畔英樹 循環器内科学	泌尿器科学9 副腎腫瘍 宮川仁平 泌尿器科学	泌尿器科学10 外傷・異物 中村　雄 泌尿器科学	腎臓内科学10 一次性糸球体疾患各論（１） 川上貴久 腎臓・リウマチ膠原病内科学	血液内科学15 悪性リンパ腫総論・Hodgkinリンパ腫 高山信之 血液内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	予防接種③		呼吸器内科学10 胸膜疾患 田村仁樹 呼吸器内科学	腎臓内科学11 一次性糸球体疾患各論（２） 川上貴久 腎臓・リウマチ膠原病内科学	血液内科学16 非Hodgkinリンパ腫（１） 高山信之 血液内科学

２０２２年度　Ｍ３　（第２３週）時間割表

10月24日（月）～10月28日（金）

時限	時間	10/24(月)	10/25(火)	10/26(水)	10/27(木)	10/28(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	小児科学17 小児アレルギー疾患 川口明日香 小児科学	精神神経科学12 パーソナリティ障害 渡邉菜保子 精神神経科学	病理学B18 神経・筋疾患（４）・実習 里見介史 病理学	英語・医学英語Ⅲ	腎臓内科学14 急性腎不全・ＡＫＩ 福岡利仁 腎臓・リウマチ膠原病内科学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	小児科学18 小児神経疾患（２） 宮田世羽 小児科学	精神神経科学13 睡眠・覚醒障害 神田優太 精神神経科学	皮膚科・形成外科学10 薬疹・中毒疹 倉田麻衣子 皮膚科学	精神神経科学14 認知症 川崎洋介 精神神経科学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学10 肺癌：手術 須田一晴 呼吸器・甲状腺外科学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	産科婦人科学14 子宮頸部悪性腫瘍 小林陽一 産科婦人科学	内分泌・代謝内科学14 副腎疾患（５） 勝田秀紀 糖尿病・内分泌・代謝内科学	病理学B19 血液疾患（３）・実習 日比谷孝志 病理学	精神神経科学15 物質関連障害および嗜癖性障害 堤祐一郎 精神神経科学	循環器病学B11 大動脈解離・診断と内科的治療 竹内真介 循環器内科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	皮膚科・形成外科学9 遺伝性疾患・母斑症 木下美咲 皮膚科学	早期体験学習Ⅲ 地域・病院体験学習 赤木美智男 医学教育学	腎臓内科学12 二次性腎障害（１） 有村義宏 腎臓・リウマチ膠原病内科学	腎臓内科学13 尿細管間質性腎炎、薬剤性腎障害、妊娠高血圧症候群 川上貴久 腎臓・リウマチ膠原病内科学	血液内科学17 非Hodgkinリンパ腫（２） 高山信之 血液内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30		早期体験学習Ⅲ 地域・病院体験学習 赤木美智男 医学教育学	循環器病学B10 循環器疾患の核医学 谷合誠一 循環器内科学	呼吸器内科学12 気管支喘息・好酸球アレルギー 中本啓太郎 呼吸器内科学	確認テスト

２０２２年度　Ｍ３　（第２４週）時間割表

10月31日（月）～11月 4日（金）

時限	時間	10/31(月)	11/1(火)	11/2(水)	11/3(木)	11/4(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	皮膚科・形成外科学11 皮膚付属器疾患 大山　学 皮膚科学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学11 乳癌の薬物療法 井本　滋 乳腺外科学	精神神経科学16 児童・青年期の精神障害 宇佐美政英 精神神経科学	文化の日	
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	皮膚科・形成外科学12 黄色ブドウ球菌－特にMRSA 花輪智子 感染症学	循環器病学B12 学生参加型講義　心電図 松尾征一郎 循環器内科学	病理学B20 婦人科疾患（１） 長濱清隆 病理学		
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	産科婦人科学15 卵巣悪性腫瘍 森定　徹 産科婦人科学	内分泌・代謝内科学15 副甲状腺疾患（１） 近藤　健 糖尿病・内分泌・代謝内科学	内分泌・代謝内科学16 糖尿病・代謝（１） 安田和基 糖尿病・内分泌・代謝内科学		病理学B21 婦人科疾患（２） 長濱清隆 病理学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	産科婦人科学16 内膜症、外陰・腟疾患 百村麻衣 産科婦人科学	泌尿器科学11 腎盂・尿管癌、膀胱癌 多武保光宏 泌尿器科学	産科婦人科学17 性感染症 渡邉百恵 産科婦人科学		病理学B22 婦人科疾患（３） 長濱清隆 病理学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30			呼吸器内科学13 間質性肺疾患 石井晴之 呼吸器内科学		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学12 胸膜腫瘍・肺良性腫瘍 橘　啓盛 呼吸器・甲状腺外科学

２０２２年度　Ｍ３　（第２５週）時間割表

11月 7日 （月） ～11月10日 （木）

時限	時間	11/7(月)	11/8(火)	11/9(水)	11/10(木)	11/11(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	循環器病学B13 大動脈解離、真性大動脈瘤（胸部、胸腹部）の外科的治療 峯岸祥人 心臓血管外科学	小児科学19 ウイルス感染症 田中絵里子 小児科学	病理学B23 婦人科疾患（４）・実習 長濱清隆 病理学	英語・医学英語Ⅲ	創立記念日
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	内分泌・代謝内科学17 糖尿病・代謝（２） 安田和基 糖尿病・内分泌・代謝内科学		精神神経科学17 薬物療法 坪井貴嗣 精神神経科学		
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	皮膚科・形成外科学13 皮膚の免疫・アレルギー 加藤峰幸 皮膚科学	内分泌・代謝内科学18 副甲状腺疾患（２） 近藤　健 糖尿病・内分泌・代謝内科学	呼吸器内科学14 肉芽腫症肺疾患 石井晴之 呼吸器内科学	病理学B24 内分泌・代謝疾患（１） 菅間　博 病理学	
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	産科婦人科学18 卵巣腫瘍（良性） 松本浩範 産科婦人科学	小児科学20 先天性代謝異常（１） 小須賀基通 小児科学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学13 肺移植 安楽真樹 呼吸器・甲状腺外科学	病理学B25 内分泌・代謝疾患（２） 菅間　博 病理学	
Ⅴ	16:15 ～ 17:30		小児科学21 先天性代謝異常（２） 小須賀基通 小児科学	循環器病学B14 腹部大動脈瘤・末梢動脈瘤の外科的治療 伊佐治寿彦 心臓血管外科学	内分泌・代謝内科学19 糖尿病・代謝（３） 安田和基 糖尿病・内分泌・代謝内科学	

２０２２年度　Ｍ３　（第２６週）時間割表

11月14日 （月） ～11月18日 （金）

時限	時間	11/14(月)	11/15(火)	11/16(水)	11/17(木)	11/18(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	小児科学22 感染症総論・細菌感染症 木内善太郎 小児科学	病理学B26 皮膚疾患（１） 下山田博明 病理学	精神神経科学18 精神療法各論 大江悠樹 精神神経科学	英語・医学英語Ⅲ	
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	小児科学23 発達障害・小児心身症 宮田世羽 小児科学	皮膚科・形成外科学14 創傷治癒 大浦紀彦 形成外科学	精神神経科学19 ニューロモデュレーション 鬼頭伸輔 精神神経科学	病理学B27 皮膚疾患（２） 下山田博明 病理学	呼吸器・甲状腺・乳腺外科学14 甲状腺・副甲状腺の外科治療 平野浩一 呼吸器・甲状腺外科学
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	内分泌・代謝内科学20 糖尿病・代謝（４） 安田和基 糖尿病・内分泌・代謝内科学	循環器病学B16 肺塞栓症・肺高血圧症 伊波　巧 循環器内科学	産科婦人科学19 良性子宮腫瘍 百村麻衣 産科婦人科学	呼吸器内科学15 市中肺炎・院内感染 本多鉱二郎 呼吸器内科学	
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	内分泌・代謝内科学21 甲状腺疾患（４） 炭谷由計 糖尿病・内分泌・代謝内科学	循環器病学B17 循環器診察 視診・触診 竹内かおり 循環器内科学	泌尿器科学12 前立腺肥大症 舛田一樹 泌尿器科学	小児科学24 先天異常（１） 小須賀基通 小児科学	血液内科学18 多発性骨髄腫 高山信之 血液内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	循環器病学B15 静脈瘤・静脈血栓症（血栓性静脈炎）肺動脈塞栓症の外科的治療 細井　温 心臓血管外科学	循環器病学B18 冠動脈造影／心臓カテーテル検査 山崎博之 循環器内科学	循環器病学B19 Buerger病／閉塞性動脈硬化 伊佐治寿彦 心臓血管外科学	小児科学25 先天異常（２） 小須賀基通 小児科学	血液内科学19 その他の血液疾患 高山信之 血液内科学

２０２２年度　Ｍ３　（第２７週）時間割表

11月21日（月）～11月25日（金）

時限	時間	11/21(月)	11/22(火)	11/23(水)	11/24(木)	11/25(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45	皮膚科・形成外科学15 悪性腫瘍 佐藤洋平 皮膚科学	内分泌・代謝内科学23 副甲状腺疾患（３） 近藤　健 糖尿病・内分泌・代謝内科学	勤労感謝の日	病理学B28 耳鼻科疾患（１） 柴原純二 病理学	皮膚科・形成外科学17 再建外科（２） 成田圭吾 形成外科学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	内分泌・代謝内科学22 糖尿病・代謝（５） 安田和基 糖尿病・内分泌・代謝内科学	小児科学26 栄養・小児保健・予防医学 野村優子 小児科学		病理学B29 耳鼻科疾患（２）・実習 柴原純二 病理学	英語・医学英語Ⅲ （スモールグループ学習）
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	皮膚科・形成外科学16 紅斑・紫斑、膠原病 倉田麻衣子 皮膚科学			病理学B30 内分泌・代謝疾患（３） 菅間　博 病理学	病理学B31 内分泌・代謝疾患（４）・実習 菅間　博 病理学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	産科婦人科学20 女性医学（更年期、更年期障害） 小林千絵 産科婦人科学			循環器病学B20 循環器診察　聴診・心音 山崎聡子 臨床検査医学	腎臓内科学15 二次性腎障害（２） 川嶋聡子 腎臓・リウマチ膠原病内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30		産科婦人科学21 性分化 澁谷裕美 産科婦人科学		内分泌・代謝内科学24 糖尿病・代謝（６） 安田和基 糖尿病・内分泌・代謝内科学	確認テスト

２０２２年度　Ｍ３　（第２８週）時間割表

11月28日（月）～12月 2日（金）

時限	時間	11/28(月)	11/29(火)	11/30(水)	12/1(木)	12/2(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45			精神神経科学20 精神科リハビリテーション 早坂友成 精神神経科学	小児科学27 小児内分泌疾患（１） 伊藤純子 小児科学	小児科学29 小児救急・心肺蘇生・虐待 川口明日香 小児科学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	産科婦人科学22 女性の性機能と月経 片山紗弥 産科婦人科学		精神神経科学21 コンサルテーション・リエゾン精神医学 今村弥生 精神神経科学	小児科学28 小児内分泌疾患（２） 伊藤純子 小児科学	英語・医学英語Ⅲ （スモールグループ学習）
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	皮膚科・形成外科学18 膿皮症・抗酸菌症 下田由莉江 皮膚科学	産科婦人科学23 不妊症の診断（不育症含む） 安藤　索 産科婦人科学		泌尿器科学14 男性不妊症・勃起障害 中村　雄 泌尿器科学	泌尿器科学15 嚢胞性腎疾患 中村　雄 泌尿器科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	皮膚科・形成外科学19 性感染症・真菌症 早川　順 皮膚科学	産科婦人科学24 不妊症の管理 安藤　索 産科婦人科学	泌尿器科学13 検査・処置（1）尿検査 福原　浩 泌尿器科学		産科婦人科学25 子宮体部悪性腫瘍 小林陽一 産科婦人科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30	循環器病学B21 心臓診察実習応用 佐藤　徹 循環器内科学	内分泌・代謝内科学25 内分泌・代謝と免疫 近藤琢磨 糖尿病・内分泌・代謝内科学	呼吸器内科学16 稀少先天性肺疾患 石田　学 呼吸器内科学		泌尿器科学16 腎腫瘍 桶川隆嗣 泌尿器科学

２０２２年度　Ｍ３　（第２９週）時間割表

12月 5日（月）～12月 9日（金）

時限	時間	12/5(月)	12/6(火)	12/7(水)	12/8(木)	12/9(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45			皮膚科・形成外科学20 美容外科・レーザー 今村　三希子 形成外科学		腎臓内科学18 透析と血液浄化療法 福岡利仁 腎臓・リウマチ膠原病内科学
Ⅱ	11:00 ～ 12:15	腎臓内科学16 慢性腎不全・ＣＫＤ（１） 福岡利仁 腎臓・リウマチ膠原病内科学		精神神経科学22 精神医療と法 今村弥生 精神神経科学		英語・医学英語Ⅲ （スモールグループ学習）
Ⅲ	13:15 ～ 14:30	腎臓内科学17 慢性腎不全・ＣＫＤ（２） 福岡利仁 腎臓・リウマチ膠原病内科学				泌尿器科学18 検査・処置（2）画像診断、処置 福原　浩 泌尿器科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	泌尿器科学17 神経因性膀胱と尿失禁，骨盤臓器脱 金城真実 泌尿器科学				泌尿器科学19 下部尿路機能障害 舛田一樹 泌尿器科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30					

２０２２年度　Ｍ３　（第３０週）時間割表

12月12日（月）～12月16日（金）

時限	時間	12/12(月)	12/13(火)	12/14(水)	12/15(木)	12/16(金)
Ⅰ	9:30 ～ 10:45					
Ⅱ	11:00 ～ 12:15					英語・医学英語Ⅲ （スモールグループ学習）
Ⅲ	13:15 ～ 14:30					泌尿器科学20 陰茎腫瘍、精索静脈瘤、精巣捻転症 多武保光宏 泌尿器科学
Ⅳ	14:45 ～ 16:00	循環器病学B22 循環器診断：循環器疾患のCT/MRI 町田治彦 放射線医学		確認テスト		血液内科学20 造血幹細胞移植 高山信之 血液内科学
Ⅴ	16:15 ～ 17:30					

学　科　目：早期体験学習Ⅲ
科目責任者：平形明人　教授
担 当 教 員：客員教授　赤木美智男（医学教育学）
　　教授　冨田泰彦(医学教育学)
　　教授　矢島知治（医学教育学）
　　講師　吉敷智和（消化器・一般外科学）
　　講師　合田あゆみ(循環器内科学)
　　講師　江頭説子(医学教育学)
　　助教　関口進一郎(医学教育学)

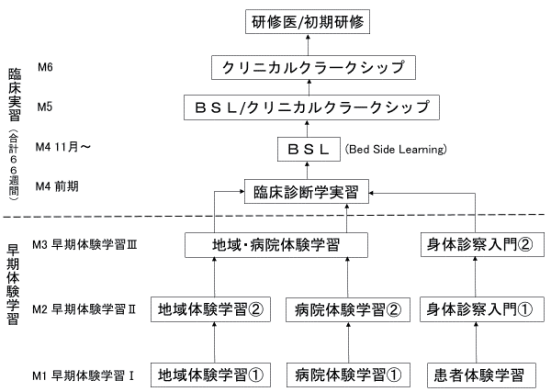
A．教育の基本方針

早期体験学習は、低学年のうちから地域の人々の生活や医療・福祉の現場を体験的に理解することを通して、良医をめざす医学生としての自覚を高めることを目的としている。Ｍ３では、Ｍ４後期から開始される臨床実習につながる学習として、腹部と循環器系の身体診察技能を身につけることおよび診療のプロセスを医療者側だけではなく患者の視点にも立ちながら理解することを目標とする。

早期体験学習Ⅲは、以下の領域で構成する。

・身体診察入門②
・地域・病院体験学習

早期体験学習及び臨床実習の関係を体系的にまとめると以下となる。



B．到達目標

解剖学、生理学および内科学、外科学などＭ２～Ｍ３の科目との関連を意識しながら身体診察の目的や手順を理解し、基本的な診察法を修得する。診療のプロセスを医療者側だけではなく患者の視点にも立ちながら体験し、よい医療の実践に必要な能力について理解する。

この目標は、ディプロマポリシーの以下の項目と関連する能力の修得につながる。

(1)医師の社会的責任
(2)医学知識と技能
(3)問題解決能力とリサーチマインド
(4)コミュニケーション能力
(5)医学・医療と地域・社会との関わり

C．修得すべき能力

１．診察のおおよその流れを理解する。
２．腹部と循環器系の基本的な身体診察法を修得する。
３．疾病から受ける患者・家族の心理、家庭生活、家族生活への影響を理解する。
４．よい診療を行うために医療者が身につけるべき態度やコミュニケーションのあり方について理解する。

D．学習内容

１．腹部診察の基本につき、打診と触診のコツを中心に解説する。
２．心音聴診の基本につき解説し、自習用視聴覚教材の使用法を紹介する。
３．健康上の問題が見つかってから手術までの一連の流れについて、映像を使用しながら解説していく。
４．患者の気持ち・考え、行為・行動を想像する課題に取り組む。
５．入院や手術の経験のある方、又は現在入院をしている方への聴き取りを行う。

E．実習・課外授業

１．実習　　なし
２．課外授業　実際に聴き取りを行う

Ｆ．準備学習の内容
入院や手術の経験のある方、又は現在入院をしている方を見つけ、聴き取りをさせていただけるかを確認しておくこと。見つけることができない場合は、事前に担当教員（医学教育学教室 江頭）に相談すること。

Ｇ．復習学習の内容
この科目で学習する身体診察の手技については、地域・病院体験学習のなかで実践の機会を得る可能性がある。また、これらの手技は、将来学ぶことになる臨床診断学やＢＳＬにつながる内容でもある。復習として、友達間等で繰り返し練習をしてほしい。
地域・病院体験学習については、報告会を実施するので準備をしておくこと。

Ｈ．成績評価の方法・基準
出席と授業中の学習態度を重視するので、真剣に取り組んでもらいたい。学習した身体診察手技の実技により評価する。
地域・病院体験学習については、レポートの内容を評価する。

Ｉ．学習指導書
１．教科書（学生が所持しなければならないもの）
特になし
２．参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）
(R) 日下隼人、2020「温かい医療をめざして
―サービスを支えるコミュニケーション―」篠原出版新社
(R) 山口育子、2018「賢い患者」岩波書店
３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）
特になし
※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度　3年　講義予定表

【早期体験学習Ⅲ（身体診察入門②/地域・病院体験学習）】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
5/9	月	5	身体診察入門② 腹部診察	腹部診察の基本につき、打診と触診のコツを中心に解説する。	矢島知治	なし
5/24	火	5	身体診察入門② 循環器診察	心音聴診の基本につき解説し、自習用視聴覚教材の使用法を紹介する。	合田あゆみ	なし
9/27	火	4	地域・病院体験学習 イントロダクション 発端 外来受診	授業の進め方および10月13日(木)に実施する地域病院体験学習について説明する。 ・Aさん（架空）の健康上の問題が見つかった経緯の説明、外来での医師とのやりとりを中心に受診の様子を解説する。	赤木美智男 吉敷智和 江頭説子 関口進一郎	なし
9/27	火	5	地域・病院体験学習 検査/診断 治療方針	・検査から診断そして治療方針を説明する様子について解説する。 ・潜血の結果が陽性で、病院を受診し、1週間後に下部内視鏡検査をすることになった患者の気持ち・考えを想像する。	赤木美智男 吉敷智和 江頭説子 関口進一郎	なし
10/4	火	4	地域・病院体験学習 入院準備 手術の説明	・入院のための準備期間およびに入院してから手術までの様子を解説する。	赤木美智男 吉敷智和 江頭説子 関口進一郎	なし
10/4	火	5	地域・病院体験学習 多職種連携	・検査、診断、治療、入院、手術に関わる仕事(多職種連携)について解説する。 ・Aさん(架空）や家族が入院までの３週間にどのようなことをするか （行為・行動）を想像する。	赤木美智男 吉敷智和 江頭説子 関口進一郎	なし
10/11	火	4	地域・病院体験学習 患者の話を聴くということ	患者の気持ちに寄り添って話を聴くために必要な心構えについて考える。 特別講師 NPO法人COML 山口育子氏	赤木美智男 江頭説子 関口進一郎	なし
10/11	火	5	地域・病院体験学習 オリエンテーション	地域病院体験学習実施にあたっての諸注意および報告会の説明を行う。	赤木美智男 江頭説子 関口進一郎	なし
10/13	木	4	地域・病院体験学習	入院や手術の経験のある方、又は現在入院をしている方への聴き取りを行い、レポート(A4 ２枚程度）にまとめ提出する。	江頭説子 各担当教員	なし
10/13	木	5				
10/25	火	4	地域・病院体験学習 報告会	体験したこと、学んだことをもとに報告を行う。具体的な方法については、地域体験学習オリエンテーションで説明する。	江頭説子 各担当教員	なし
10/25	火	5				

学　科　目：薬理学および薬理学実習
科目責任者：教室主任　櫻井裕之教授
担当教員：教　　授　櫻井裕之
　　講　　師　木村　徹
　　助　　教　福冨俊之、堅田智久、田中　弦、末弘淳一

A．教育の基本方針

薬理学は生体における薬物の作用を解明する学問である。本カリキュラムの中では、病態生理に基づく薬物療法の基礎を教育するのを基本方針とする。病気と治療薬の対応を暗記するのではなく、なぜその薬物が使われるのか、その作用機序は何なのか、を常に自答し、薬物の効果的な投与法の設計ができる医師を目指して教育する。

B．到達目標

杏林大学医学部教育における到達目標のうち、（2）①　「人体の正常の機能と構造」、（2）②　「主要疾患の病態生理と自然史」の知識を応用して、（2）③　「薬物治療の原則と、個々の薬物の作用を理解する」、（2）④「主要疾患の治療法を理解する」、の薬物治療の部分を修得することを到達目標とする。それに加え、実習において（3）「問題解決能力とリサーチマインド」の実践の場を提供する。この科目は解剖学、組織学、生化学、分子生物学、感染症学、免疫学からの発展とされる面がある一方、臨床医学の薬物治療への科学的根拠を与えるものである。

C．修得すべき能力

1．薬物の体内での動態と生体への作用の定量的な記述ができ、薬物や毒物の毒性について説明できる。
2．神経系（中枢、自律、末梢神経）に作用する薬物の、適応、作用機序、薬物動態、副作用について概説できる。
3．循環器系に作用する薬物の、適応、作用機序、薬物動態、副作用について概説できる。
4．免疫系や炎症に作用する薬物の、適応、作用機序、薬物動態、副作用について概説できる。
5．内分泌・代謝疾患に使われる薬物の、適応、作用機序、薬物動態、副作用について概説できる。
6．腫瘍や感染症に対する化学療法の、適応、作用機序、薬物動態、副作用について概説できる。

D．学習内容

２年生までの解剖、生理、生化学、感染症・免疫学は修得している前提で講義をする。講義形式は教員、教育内容により異なるが、指名して意見を述べてもらうことやミニレポートを提出してもらうことがある。

E．実習・課外授業

実習の詳細は実習書（実習前の講義で配布する）を参照すること。動物実験が含まれるが、それらの項目は横紋筋の収縮・弛緩、平滑筋の収縮，尿路上皮での電解質輸送であり、現状で動物の組織を代替する手段はない。生体組織の精妙さに思いをいたし、動物の命を頂いているという意識をもって、真摯に取り組んでもらいたい。

基礎研究を体験したい学生は、面談の上、教室での研究を許可する。意欲のある学生には、研究成果の学会発表、論文化なども行ってもらう。

F．準備学習の内容

予定表に記載した講義内容を教科書で予習してくること。特に、章の前半にある解剖、生理、免疫、生化学など２年生までに学習していた内容についての理解を確実にし、余力があれば病態にまで目を通しておく。各回１時間程度の予習を期待する。講義では取り上げないが神経生理の基礎の復習として重要な教科書（和訳）７、８章は４月中に自習しておくこと。

G．復習学習の内容

講義内容を理解できるように該当の章を読み、症例問題の解答を自力で作成してみる。章末の薬物のまとめ表に目を通し、代表的な薬物の作用機序、適応、禁忌などについて理解する。復習課題が教員から出された場合はそれに取り組む。循環器薬理がすんだら 25 章を自習すること。各講義につき１時間の復習を期待する。

H．成績評価の方法・基準

１．試験の方針

講義、実習の内容を理解できたかを総合的に評価し、合否を判定する。

２．試験の期日と実施方法

前期定期試験期間に行う筆記試験と実習のレポートが評価の対象

となる。実習内容と神経生理学の基礎（教科書（和訳）７、８章）、心血管系薬理総論（教科書（和訳）25 章）も筆記試験範囲に含む。再試験は筆記試験で行う。

３．評価法

筆記試験：80 点　実習（出席 10 点＋レポート 10 点）：20 点の 100 点満点中 60 点以上の得点を得たものを合格とする。実習していない項目のレポートは受理せず、レポート点も与えない。欠席理由によっては１回につき２点を限度に減点することがあり、特に優秀なレポートには加点することがある。詳細は実習開始時に説明する。講義の出席（実習の出席は含めない）が、２／３を下回るものには筆記試験の本試験、追試験とも受験資格を与えない。

再試験は筆記試験のみで満点の 60%以上の得点を得た者を合格とする。再試合格者は再試の得点によらず、科目の得点としては 60 点となる。

試験のフィードバックは、試験後できるだけ速やかに講評の講義を設ける予定である。レポートについても２週間程度で返却する予定であるが、全体的な講評は適宜担当教員の講義の中で行う。

Ⅰ．学習指導書

１．教科書（このテキストに基づいて講義するので、必ず購入すること）

Golan et al, Principles of Pharmacology （4th ed）, Lippincott Williams & Wilkins

ハーバード大学講義テキスト　臨床薬理学 原書３版　（丸善）上記の１つ前の版の和訳。

＊３，４版の間に大きな違いはない。新たに４版で加わった事項は講義中に解説する。

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【薬理学および薬理学実習】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書(和訳)
4/4	月	1	薬物作用の原理と薬物標的	薬物作用の原則を物理化学的に理解し、薬物標的としてのイオンチャネル、GPCR、膜貫通型レセプター、細胞内レセプターなどにつき学習する。	櫻井裕之	Chapter 1
4/4	月	2	薬力学	薬物が生体にどのように作用するかを定量的に記述する方法、すなわち用量反応曲線について学習する。さらに、薬物の存在で生理的リガンドの用量反応曲線がどう変化するかを理解する。	櫻井裕之	Chapter 2
4/7	木	2	薬物動態学（1）	投与した薬物が血中に至るまでの過程を、吸収、分布、代謝、排泄に分けて概説し、薬物の細胞膜通過の様式、薬物投与経路による吸収、蛋白結合と分布について学習する。	櫻井裕之	Chapters 3,4
4/8	金	2	薬物動態学（2）	薬物が代謝されたり、排泄されたりする過程を定量的に記載し、薬物の一次の消失とそれが成立している場合の薬物動態パラメータにつき学習する。	櫻井裕之	Chapters 3,4
4/11	月	1	薬物の毒性	薬物の毒性につき、作用標的との関係で記述することを学ぶ。さらに毒性のメカニズムとして、免疫学的機序と臓器特異的な細胞障害による臓器毒性について学習する。	田中　弦	Chapter 5
4/11	月	2	コリン神経	アセチルコリンが神経伝達物質となる、副交感神経系と神経筋接合部について、その受容体の仕組みと作用薬や阻害薬について学習する。	福冨俊之	Chapter 9
4/12	火	4	アドレナリン神経	交感神経系の神経伝達物質（カテコラミン）の合成と代謝、その受容体について学習し、受容体の刺激薬や阻害薬とその適応について理解する。	末弘淳一	Chapter 10
4/14	木	2	局所麻酔薬	末梢での痛覚伝導の仕組みを概説し、電位依存性ナトリウムチャネルを標的とする、局所麻酔薬の作用機序につき理解を深める。代表的な薬物と麻酔法についても学習する。	福冨俊之	Chapter 11

2022年度 3年 講義予定表

【薬理学および薬理学実習】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書(和訳)
4/15	金	2	血管緊張の調節	血管拡張や収縮に働く薬物の作用機序を細胞内信号伝達経路を含めて理解する。ニトロ製剤、アルファ１阻害薬、カルシウム阻害薬、hydralazine、Kチャネル開口薬などを扱う。	木村　徹	Chapter 21
4/15	金	4	体液調節	血管容量調節系として、レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系、交感神経系、ナトリウム利尿ペプチド系、抗利尿ホルモン系について学習する。腎臓でのナトリウム再吸収の仕組みとそれをブロックする利尿薬についても学ぶ。	堅田智久	Chapter 20
4/25	月	1	コレステロールとリポタンパク代謝	コレステロールとリポタンパク代謝について学習し、その異常としての高脂血症と、その心血管系への悪影響の病態生理を理解する。その治療薬と作用メカニズム、副作用について学ぶ。	末弘淳一	Chapter 19
4/25	月	2	心臓リズム調節	心臓のリズムの発生機序とその調節機構、それが破綻したときの不整脈の病態生理について解説する。抗不整脈薬の薬理作用を臨床上汎用される4群に分けるが、標的分子ベースでの理解を試みる。	櫻井裕之	Chapter 23
4/28	木	2	心筋収縮力の調節	心筋収縮の生理を理解したうえで、強心薬として使われている、Digoxin, beta adrenergic receptor agonist, phosphodiestrase inhibitorの作用メカニズムを学ぶ。	木村　徹	Chapter 24
5/6	金	2	止血と血栓	不整脈、心不全、血栓症、塞栓症、虚血性心疾患の治療で重要な血小板機能阻害薬と抗凝固薬、そして血栓溶解薬について学ぶ。	福冨俊之	Chapter 22
5/10	火	3	GABA神経とグルタミン酸神経	中枢神経の抑制性伝達物質としてのGABA作動性ニューロンとそこに作用する薬物、興奮性伝達物質として代表的なグルタミン酸作動性ニューロンの機能とそこに作用する薬物について学ぶ。	堅田智久	Chapter 12
5/11	水	2	中枢ドパミン神経	中枢でのドーパミン作用が不足した状態であるパーキンソン病の病態と薬物治療の原理を理解する。また、ドーパミンの阻害により、薬効を発揮していると考えられている向精神薬について学ぶ。	田中　弦	Chapter 13

2022年度 3年 講義予定表

【薬理学および薬理学実習】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書(和訳)
5/12	木	2	中枢のセロトニン神経とアドレナリン神経	セロトニン系とアドレナリン系神経は鬱病の病態と関わっているとみなされ、その増強が治療のターゲットとなっている。その病態生理と抗鬱薬の作用メカニズムと副作用について学ぶ。	木村　徹	Chapter 14
5/13	金	2	てんかん・痙攣	中枢神経系の異常な電気活動であるてんかん・痙攣の病態とその治療薬の作用メカニズムと臨床適応、主な副作用について学ぶ。	田中　弦	Chapter 15
5/16	月	1	全身麻酔薬	中枢神経系を抑制することにより、動きと痛覚を抑えて手術を容易にするのが全身麻酔である。吸入麻酔薬と静脈麻酔薬につきその作用メカニズムと薬物動態を学ぶ。	櫻井裕之	Chapter 16
5/16	月	2	鎮痛薬	痛覚伝導路と下行性抑制路について主な神経伝達物質とその受容体を学習し、慢性疼痛の病態生理を理解する。そのうえで、鎮痛薬の作用メカニズムと適応、副作用について学ぶ。	櫻井裕之	Chapter 17
5/19	木	2	依存性薬物	身体的依存と精神的依存を生じさせる薬物と、それらの依存形成のメカニズムを分子レベルで理解する。それらの薬物の摂取による症状、離脱症状を学んだうえで、解毒法を学習する。	櫻井裕之	Chapter 18
5/20	金	1	エイコサノイドの薬理	アラキドン酸由来のオータコイドであるエイコサノイドは、炎症だけでなく、血管系、血小板などにも深く関わっており重要な薬物の標的である。この生理作用と薬理について学ぶ。	田中　弦	Chapter 42
5/20	金	2	ヒスタミン	炎症の主要なmediatorであり、胃酸の分泌や中枢神経系にも作用するヒスタミンの作用機序と機能阻害薬について学ぶ。消化性潰瘍治療薬についても学ぶ。	福冨俊之	Chapters 43、46
5/23	月	1	免疫抑制薬	免疫抑制薬の作用メカニズムと副作用について学ぶ。副腎皮質ステロイド、細胞毒性薬から、より毒性の少ないリンパ球の抑制薬や炎症性サイトカインやその受容体の抑制薬までをカバーする。	末弘淳一	Chapter 45

2022年度 3年 講義予定表

【薬理学および薬理学実習】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書(和訳)
5/23	月	2	喘息と痛風	炎症の統合的理解として、アレルギーを基盤とする喘息の病態生理と治療薬、自然免疫の活性化を基盤とする痛風の病態生理と治療について学習する。	福冨俊之	Chapters 47、48
5/26	木	2	副腎皮質の薬理	副腎皮質ステロイドについて、その産生、代謝、生理的機能を学ぶ。グルココルチコイドの臨床適応と主な副作用について理解する。ミネラルコルチコイドについても学習する。	堅田智久	Chapter 28
5/27	金	2	膵内分泌と糖尿病	膵臓から分泌されるホルモンとその作用を理解し、その異常として有病率の高い糖尿病について学ぶ。近年多く開発されている２型糖尿病治療薬に重点をおいて理解する。	櫻井裕之	Chapter 30
5/30	月	1	骨・ミネラル代謝	カルシウム・リン代謝と骨代謝について学び、その主要調節因子であるPTH,ビタミンD,FGF23、カルシトニンの作用を理解する。骨粗鬆症と腎性骨異栄養症について病態生理と治療を学ぶ。	堅田智久	Chapter 31
5/30	月	2	造血の薬理	造血の仕組みを学習し、赤血球、白血球、血小板のそれぞれの系統で、どのような薬物により、その産生を増加させることができるか理解する。	櫻井裕之	Chapter 44
6/2	木	2	化学療法の原則	腫瘍や感染症への化学療法の原則を学び、葉酸代謝拮抗薬の作用メカニズムを細菌、原虫、哺乳類で比較し、どのように臨床使用されているかを理解する。	木村　徹	Chapter 32
6/3	金	1	DNAやタンパク質合成阻害薬	DNAやタンパク質合成系への阻害作用を持つ薬物と適応、主な副作用について学習する。キノロン、リファンピシン、リボゾーム阻害薬が対象となる。	木村　徹	Chapter 33
6/3	金	2	細胞壁阻害薬	細胞壁合成の阻害作用をもつ薬物と適応、主な副作用について学習する。ベータラクタム薬、バシコマイシン、ホスホマイシンや多くの抗結核薬が対象となる。	堅田智久	Chapter 34

2022年度 3年 講義予定表

【薬理学および薬理学実習】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書(和訳)
6/6	月	1	抗真菌薬	真菌への化学療法の標的分子と作用メカニズムについて理解し、主な抗真菌薬の適応と副作用について学ぶ。アゾール系、ポリエン系、エキノキャンディン系、フルシトシン、などが対象となる。	末弘淳一	Chapter 35
6/6	月	2	抗ウイルス薬	ヘルペスウイルス、HIV, CMV,インフルエンザなどウイルスへの化学療法の標的と作用機序、主な薬物とその副作用について学習する。	末弘淳一	Chapter 37
6/9	木	2	古典的抗腫瘍薬	主にDNA合成や修復の過程を阻害する古典的抗腫瘍薬である代謝拮抗薬、DNA構造を変える、アルキル化薬や白金製剤、トポイソメラーゼを標的とする薬物、微小管阻害薬につき学習する。	田中　弦	Chapter 38
6/10	金	2	信号伝達と分子標的治療	悪性腫瘍の分子標的治療の理解のため、がん細胞における増殖促進の信号伝達系について学習し、それを阻害する、抗体や小分子医薬について学ぶ。	櫻井裕之	Chapter 39
			薬理学実習	４／１８－２２：実習	教室員全員	

教室員全員：櫻井裕之、木村徹、福冨俊之、堅田智久、田中弦、末弘淳一

学　科　目：病理学Ａ
科目責任者：教　　授　柴原純二
担 当 教 員：教　　授　柴原純二、藤原正親
　　特任教授　菅間　博
　　講　　師　下山田博明、長濱清隆、林玲匡

Ａ．教育の基本方針

病理学は病気のメカニズムを明らかにすることを目的とする学問で、医学教育上は基礎医学と臨床医学を繋ぎ統合する役割を担う。膨大な臨床医学の知識を効率的に学ぶ為に、病理学を十分に理解し習得する。病理学Ａは病理学総論と病理学各論の一部から構成される。病理学総論では発病の基本的なメカニズムについて学ぶ。後半の病理学各論では、臓器系毎の疾病の発病機構と病理像について学ぶ。

Ｂ．到達目標

病理学総論では、病気の原因（病因）、基本的な発病機構、炎症・免疫、先天異常、代謝障害、循環障害、腫瘍の病態について、分子、細胞、組織、臓器のレベルから理解する。病理学各論では、循環器および消化器の主要な疾患の病因、発病機構と病理形態について理解する。

Ｃ．修得すべき能力

1. 病因の分類、基本的な発病機構（基本５病変）を説明できる。
2. 細胞傷害、炎症・免疫、先天異常、代謝障害、循環障害、腫瘍について、病気・病態の成立機序や特徴的な形態変化を説明できる。
3. 主要な循環器・消化器疾患の病態と形態変化を説明できる。

Ｄ．学習内容

以下の内容で病理学総論・各論の系統的講義・実習を行う。数字は講義数（うち実習数）。

1. 病理学総論	２３（４）
序説・病因論、病理診断学	2
細胞傷害	2
炎症・免疫	６（１）
先天異常	1

代謝障害	3（1）
循環障害	4（1）
腫瘍	5（1）
2. 病理学各論	14（3）
循環器疾患	5（1）
消化器疾患	9（2）

E．実習・課外授業

1. 実習

バーチャルスライドを用いた組織標本の観察と関連課題への取り組みを通して、病気の理解を深める。バーチャルスライドの観察にはPCもしくはタブレットを用いるため、各自持参のこと（スマートフォンは不可）。

2. 課外授業

希望する学生には「自由研究プログラム」で対応する。より踏み込んだ病理診断力の習得や病理学に関する研究の課題を提供する。

F．準備学習の内容

講義に際しては、履修案内・授業内容（シラバス）を参照し、教科書の該当箇所に目を通しておく。所要時間1〜2時間。

実習に際しては、関連講義の内容について教科書や配布資料を用いて復習しておく。所要時間1時間。

G．復習学習の内容

教科書や配布資料を再度熟読して復習する。所要時間1〜2時間。

H．成績評価の方法・基準

1. 試験の方針

講義・実習で学んだことの習得の有無を判定する。

2. 試験の方法と評価

試験は筆記試験でマークシート方式およびおよび再生形式を併用する。

3. 評価

筆記試験の点数を最重視するが、出席日数や学習態度、実習課題の評価も加え、総合的に判断する。

Ⅰ．学習指導書

1. 教科書

ルービン病理学　西村書店　2017

2. 参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）

(A) 病理組織の見方と鑑別診断　医歯薬出版　2020

3. 参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）

(R) ロビンス基礎病理学　丸善　2018

(R) 標準病理学　医学書院　2019

(R) 解明病理学　医歯薬出版　2021

(A) 外科病理学　文光堂　2020

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【病理学A】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/6	水	1	序論・病因論	病理学の歴史について概説する。病理学の分類、医療における病理学の位置づけについて説明する。病因論として、病気の原因である内因・外因について講義する。	菅間　博	資料配付
4/6	水	2	病理診断学	現代の医療における病理学の主たる役割である、組織診断、迅速診断、細胞診断の意義と実際について講義する。	柴原純二	資料配付
4/8	金	1	細胞傷害（1）	細胞障害の機序、細胞内小器官、細胞外基質の変化、変性（退行性病変）、壊死、老化とテロメアについて講義する。	菅間　博	p13～p45 資料配付
4/13	水	1	細胞障害（2）	修復と再生（反応性増殖）、治癒、細胞周期、幹細胞の増殖と分化、増殖因子と細胞内シグナル伝達系、肥大、過形成、萎縮、細胞分化の異常について講義する。	菅間　博	p2～p13 資料配付
4/13	水	2	炎症（1）	炎症の定義と病因、炎症の徴候、炎症の分類と反応形式（病理組織学的変化）について講義する。	藤原正親	p47～p49 p78～p84 資料配付
4/13	水	3	炎症（2）	炎症急性期の病態とメディエーター、サイトカイン、炎症細胞浸潤と走化因子など病理組織学的変化について概説する。	下山田博明	p50～p78 資料配付
4/13	水	4	炎症（3）	ウイルス感染の特殊性、真菌症、原虫感染症、寄生虫症の病理学的特徴、日和見感染と生体防御反応について解説する。	下山田博明	p337～p438 資料配付
4/15	金	1	炎症（4）	特異性炎（肉芽腫性炎）の成り立ちと組織学的特徴について解説し、結核症、サルコイドーシス、ハンセン病、真菌症を中心に講義する。	藤原正親	p81～p83 資料配付
4/27	水	1	免疫	免疫系の構築と特徴、B細胞と抗体、補体（液性免疫）、T細胞、マクロファージの分化と機能（細胞性免疫）について講義する。	菅間　博	p118～p139 資料配付
4/27	水	2	炎症（5）・実習	線維素性炎、化膿性炎および結核、真菌、ウイルス、原虫などの感染症の組織像を観察し、その病理所見についての理解を深める。	藤原正親 下山田博明	資料配付
4/27	水	3	先天異常	先天異常について、染色体・遺伝子および発生の異常にわけて概説する。	長濱清隆	p217～p272

2022年度 3年 講義予定表

【病理学A】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
5/2	月	1	代謝障害（1）	糖代謝および蛋白代謝の障害によって引き起こされる疾患について、病理組織学的観点から概説する。主な疾患としては、糖原病、糖尿病、アミロイドーシスを取り上げる。	長濱清隆	資料配付
5/2	月	2	代謝障害（2）	脂質、胆汁、無機物の代謝異常に関わる疾患の病理・病態について概説する。	長濱清隆	資料配付
5/6	金	1	代謝障害（3）・実習	代謝障害の主だった疾患の組織標本を鏡検し、組織所見の特徴を理解する。アミロイドーシス、脂肪肝、動脈硬化症、閉塞性黄疸感、ヘモクロマトーシスなどを取り上げる。	長濱清隆	資料配付
5/18	水	1	循環障害（1）	循環障害の主な組織所見である浮腫（水腫）、充血、うっ血、出血について概説する。	藤原正親	p273～p277 p286～p291 資料配付
5/18	水	2	循環障害（2）	血液の凝固機序と血栓形成について概説するとともに、血栓の組織像を示す。さらに塞栓症、梗塞、播種性血管内凝固症候群（DIC）について講義する。	藤原正親	p277～p286 資料配付
5/25	水	1	循環障害（3）	心不全とそれに伴う臓器所見について概説する。さらに、ショックにみられる組織所見を概説する。また、側副循環について肝硬変をもとにして講義する。	下山田博明	p286～p297 資料配付
5/25	水	2	循環障害（4）・実習	血栓症の症例やDICによる腎臓のフィブリン血栓を観察する。梗塞の例として腎梗塞と脳梗塞症例の観察を行う。	藤原正親 下山田博明	資料配付
6/1	水	1	腫瘍（1）	「『がん』とは何か？」をテーマとして、腫瘍の概念・定義、悪性腫瘍と良性腫瘍の違い、腫瘍の分類・命名法について講義する。	林　玲匡	p161～p215 資料配付
6/1	水	2	腫瘍（2）	「不老不死の『がん』ができるまで」をテーマとして、遺伝子変異と腫瘍発生、発がんの原因や誘因について講義する。	林　玲匡	p161～p215 資料配付
6/1	水	3	腫瘍（3）	「見た目が重要な『がん』の病理診断」をテーマとして、形態学的な病理診断と診断の補助となる免疫組織化学染色やin situ hybridization について講義する。	林　玲匡	p161～p215 資料配付

2022年度 3年 講義予定表

【病理学A】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/8	水	1	腫瘍（4）	「『がん』の診断のその先へ」をテーマとして、近年その重要性が増す分子標的薬やがんゲノム医療などについて解説し、病理医が担う役割について解説する。	林　玲匡	p161～p215 資料配付
6/8	水	2	腫瘍（5）・実習	これまでの講義を復習を中心とした演習形式の実習を行う。バーチャルスライドを使用して、実際のがんの診断も体験してもらう。	林　玲匡	資料配付
6/10	金	1	循環器疾患（1）	心臓の肉眼解剖を復習する。心肥大と心拡張、心萎縮、先天性心疾患の病理について講義する。	藤原正親	p483～p501 資料配付
6/15	水	1	循環器疾患（2）	弁膜疾患および心内膜疾患，心筋症や心筋炎を含む心筋疾患，心外膜疾患の病理について講義する.	藤原正親	p511～p538 資料配付
6/15	水	2	循環器疾患（3）	大動脈の粥状動脈硬化の病理について、動脈瘤、血管炎、血管系の腫瘍性病変についても講義する。	下山田博明	p439～p481 資料配付
6/20	月	3	循環器疾患（4）	動脈硬化による冠動脈狭窄と心筋虚血の病理について解説する。急性心筋梗塞、陳旧性心筋梗塞の組織学的所見に重点を置いた説明を行う。	下山田博明	p501～p511 資料配付
6/22	水	1	循環器疾患 （5）・実習	代表的循環器疾患の組織像を観察し、疾患の発生機序とその病理所見についての理解を深める。	藤原正親 下山田博明	資料配付
6/22	水	2	消化管疾患（1）	食道疾患の病理・病態について解説する。食道の基本構造、先天異常、アカラシア、胃食道逆流症、バレット食道、感染性食道炎、食道静脈瘤、食道腫瘍などを取り上げる。	柴原純二	p608～p617
6/22	水	3	消化管疾患（2）	胃疾患の病理・病態について解説する。胃の基本構造、急性胃炎、慢性胃炎、消化性潰瘍、ポリープ、腫瘍性疾患などを取り上げる。	柴原純二	p617～p633
6/23	木	4	消化管疾患（3）	下部消化管の非腫瘍性疾患の病理・病態について解説する。下部消化管の基本構造、炎症性腸疾患、感染性腸炎、偽膜性腸炎、虚血性腸炎などを取り上げる。	柴原純二	p634～p675
6/27	月	1	消化管疾患（4）	下部消化管の腫瘍性疾患の病理・病態について解説する。腺腫、癌、ポリポーシスなどを取り上げる。	柴原純二	p634～p675 資料配布

2022年度 3年 講義予定表

【病理学A】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/27	月	2	肝胆膵疾患（1）	肝疾患の病理・病態について解説する。肝臓の基本構造、ウイルス性肝炎、肝硬変、肝膿瘍、自己免疫性肝炎、薬物性肝障害、劇症肝炎などを取り上げる。	柴原純二	p680～p734
6/29	水	1	肝胆膵疾患（2）	肝疾患の病理・病態について解説する。原発性胆汁性胆管炎、非アルコール性脂肪性肝疾患、アルコール性肝疾患、ヘモクロマトーシス、Budd-Chiari症候群、肝腫瘍などを取り上げる。	柴原純二	p680～p734
6/29	水	2	肝胆膵疾患（3）	胆膵系疾患の病理・病態について解説する。胆膵系の先天異常、胆石症、胆道炎、原発性硬化性胆管炎、急性・慢性膵炎、IgG4関連疾患、胆膵系の腫瘍などを取り上げる。	柴原純二	p734～p756
7/6	水	1	消化管疾患（5）・実習	代表的な消化管疾患の組織像を供覧し、疾患についての理解を深める。	柴原純二	p608～p675
7/6	水	2	肝胆膵疾患（4）・実習	代表的な肝胆膵疾患の組織像を供覧し、疾患についての理解を深める。	柴原純二	p680～p756

学　科　目：衛生学および衛生学実習
科目責任者：苅田香苗　教授
担 当 教 員：教　　授　苅田香苗
　　准　教　授　吉田正雄
　　講　　師　櫻井拓也、白土　健
　　学 内 講 師　苣田慎一
　　兼 担 教 員　照屋浩司（保健学部）、岡本博照（保健学部）
　　客 員 教 授 木﨑節子
　　非常勤講師　長澤純一、石川　守、竹前理映子
　　その他の担当教員は講義実習総合予定表に記載

A．教育の基本方針
衛生学は疾病の予防、健康の保持・増進を目的とし、健康について集団を対象として総合的にみる科学といえる。この考え方に立脚し、個体としてだけでなく、環境要因との関わりの中で健康について考える力を身につける。講義、実習を通じて、できるだけ生活の場や労働現場における実際の場面を想定し、衛生学の技術や知識・考え方を身につける。加えて、疾病予防や患者の問題解決のための人的資源、医療・保健施設、社会制度について学ぶとともに適切な医療記録を作成するための基本を習得する。さらに、これからの医療環境に対応できるように情報処理に関する基本的な項目についても理解する。

B．到達目標
衛生学では、単に疾病を治療するだけでなく、疾病予防・早期発見、健康の維持推進、QOL の向上を担う医師としての基礎知識を習得する。また、疾病の背後には種々の自然環境の変化や社会の経済的・技術的変動やヒトの価値観の変化などが存在する。これらの健康に影響を与える自然環境要因や社会環境要因を考察し、その変化にも対応できる能力を養成することを目標とする。

C．修得すべき能力
1．健康とライフスタイル、遺伝、人口統計、環境、社会、経済、心理、文化の各因子との関連を説明できる。
2．集団における疾病予防および健康増進の意義について説明できる。
3．わが国の医療・保健制度および医療経済について説明できる。
4．個人あるいは地域・職域において健康を維持し疾病を予防す

ることの重要性を説明できる。
5．健康問題や疾病の予防について地球規模の視野から説明できる。

D．学習内容

系統講義と特別講義により、医師として必要な社会医学の中核となる衛生学の基礎知識を学習する。

1．系統講義

［保健医療論（衛生学総論、疫学、地域保健、関係法規、医療録、衛生統計、医療保険制度、社会保障）、各論（母子保健、成人保健、高齢者保健、感染症対策、学校保健、国際保健、化学的・物理的環境と健康、水・空気・放射線・地球環境・環境汚染と健康、国民栄養、食品保健、有酸素運動と健康）］(23 コマ)

2．特別講義

［結核、旅行医学、精神保健、職域におけるメンタルヘルス、感染症に対する漢方薬の役割］(6 コマ)

E．実習・課外授業

実習

1．実習の基本方針

衛生学で学ぶ基本的な技術を習得すること、および保健・医療をとりまく社会的諸問題を理解することを目標とする。講義、教科書等で学んだことを実習により体得し、実習内容を考察し、レポートにまとめることにより論理的に考えることを学ぶ。

2．実習の項目

環境保健（実習講義を含む）：3 グループに分け、ローテーション方式で、水と空気の諸性質・成分の検査を行う。結果を考察しレポートにまとめ提出する。実習の詳細は実習書（実習初日に配布する）を参照すること。（6 コマ）

担当：苅田、櫻井、白土、苣田

課外教育

1．衛生学で学ぶべき基本的事項の理解が不充分な学生のために特別の指導を行うことがある。

2．衛生学で学ぶ内容・領域に強い興味を持つ学生のために特別の指導を行うことがある。

F．準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義

内容」を読み、教科書や参考書から関連事項についての情報を得た上で講義に臨むこと。なお、特別講義は、衛生学・公衆衛生学分野でも特に専門的な分野のエキスパートによって行われる。必要に応じて文献検索などにより事前の情報を得て、自分なりの興味と関心を持つことが望ましい。（各１時間程度）

G．復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。（各１時間程度）

H．成績評価の方法・基準

１．試験の方針

衛生学で学んだ基本的事項を正しく理解していることを確認する。すべての講義・実習内容と指定教科書の関連項目から出題する。受験資格は講義と実習を合算して 2/3 以上に出席した者とする。但し、実習は全回出席を前提とする。

２．試験の期日と実施方法

前期の期末に定期試験を行う。学年末に追再試験を、また随時、臨時試験を行う。試験はすべて筆記を原則とし、多肢選択式の問題と総合的な理解力を確認するために記述式の問題を出題する。試験は模範解答・点数をもって、フィードバックする。また、場合により口頭試問を行うことがある。

３．評価法

前期試験の結果を学則および修学規則に基づき評価する。その他の試験、レポート、学習態度、実習態度および出欠状況も参考にし、評価の高い者には加点し総合評価を行う。

４．判定基準

60 点以上を合格とする。

I．学習指導書

１．教科書

１）New Simple Step 公衆衛生　高橋茂樹、西　基著　第１版　総合医学社　2020

ISBN： 978-4-88378-718-0　6,000 円

２．参考書 A（学生の所持をすすめるもの）

特になし

３．参考書 B（図書館などでの利用をすすめるもの）

(R) １）環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

令和３年版 環境省　日経印刷出版　2021
ISBN：978-4-86579-264-5　　2,380 円

(R) ２）職場の健康がみえる 第１版　医療情報科学研究所編
メディック・メディア　2019
ISBN: 978-4-89632-782-3　3,500 円

(R) ３）厚生統計協会　厚生の指標　国民衛生の動向（特集号）
（最新号のもの）2,450 円

(A) ４）福井次矢監訳　臨床疫学 EBM 実践のための必須知識
第３版
メデイカル・サイエンス・インターナショナル　2016
ISBN: 978-489592-853-3　5,400 円

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【衛生学および衛生学実習】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/5	火	1	衛生学総論	衛生学総論として今後の講義の構成と進め方、参考図書などについて概説する。衛生学の変遷および環境と人の相互作用に係わる歴史的事例について理解する。	苅田香苗	2-17
4/5	火	2	衛生学と疫学	衛生学総論を受け、その研究方法としての疫学との係わりを学ぶ。	照屋浩司	18-63
4/12	火	1	化学的環境と健康（1）	有機リン系農薬やパラコートなどの農薬が引き起こす中毒症状などについて理解する。また、居住環境と健康について学ぶ。	櫻井拓也	306-350, 351-378
4/12	火	2	結核（特別講義）	結核に関する世界の疫学的状況と日本の結核疫学を学ぶ。さらに、結核の診断方法、結核の治療方法に関する最近の知見について理解を深めた上で、潜在性結核患者への対応と医療従事者のための結核感染防止と結核管理について学ぶ。	和田雅子	配布資料
4/26	火	1	高齢者保健	高齢者の健康状態と健康管理、介護保険制度、後期高齢者医療制度、老人福祉について理解する。	白土　健	202-226
4/26	火	2	旅行医学（特別講義）	最近、やっと旅行医学が確立しつつある。本講義では、旅行全般に関する医学、たとえば旅行者下痢症、マラリア、急性高山病、エコノミークラス症候群、検疫などを紹介し、旅行医学の現状を理解する。	荻原理江	配布資料
5/10	火	1	食品衛生	日本人の食事摂取基準、食品の表示方法、食中毒とその統計を学び、わが国の食品衛生について理解する。	莒田慎一	275-294
5/10	火	2	食生活と健康	食事の欧米化に伴う疾病構造の変化、特に日本のメタボリックシンドロームの現状を把握するとともに、食生活と健康について理解する。また、生活習慣病対策について学ぶ。	木﨑節子	196-201, 275-294
5/17	火	1	衛生統計	人口静態統計と人口動態統計の概要を学び、死因統計からわが国の疾病構造を理解する。	岡本博照	64-96
5/17	火	2	医療保険制度・社会保障	わが国の医療保険制度、国民医療費、社会保障などの概要について理解する。	岡本博照	97-112
5/24	火	1	関係法規、診療録など	わが国の保健医療の関係法規、診療録などの診療に必要な諸証明書について理解する。	岡本博照	139-160

2022年度 3年 講義予定表

【衛生学および衛生学実習】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
5/24	火	2	地域保健・職域での健康づくり	地域保健の概要、とくに地域保健医療計画の内容、医療圏の定義、保健医療従事者、健康増進法などについて理解する。また、職域では労働基準法、労働安全衛生法などの法律に関する事柄、産業医の職務などについて学ぶ。	岡本博照	113-138, 306-350
5/31	火	1	物理的環境と健康（1）	生活環境を取り巻く物理的要因である騒音や振動がもたらす生体への影響やVDT症候群などについて学習し、環境衛生の重要性を理解する。	白土　健	306-350
5/31	火	2	化学的環境と健康（2）	有毒ガスと有機溶剤による健康障害と職業病について学ぶ。有機溶剤は、揮発性と脂溶性の特徴を有するため幅広く使用されており、特に重点的に理解する。	櫻井拓也	306-350
6/7	火	1	物理的環境と健康（2）	非常に身近な環境因子である温度や気圧の異常による健康障害を理解し、どのようにして熱中症・低体温症や高山病・減圧症（潜函病）といった疾患が引き起こされるかを学ぶ。また、放射性障害についても理解を深める。	櫻井拓也	306-350
6/7	火	2	空気と健康	空気の性状の変化のヒトへの影響を包括的に学ぶ。特に、酸素欠乏症や化学的窒息を促す中毒ガスの発生要因や生理的影響などについて、実際の事例を交えながら理解する。	白土　健	351-378
6/13	月	1	感染症に対する漢方薬の役割（1）（特別講義）	漢方薬の有効性を先ずは実験科学的に示し、風邪に対する漢方薬の使い方を学ぶ。臨床的に補剤と称する漢方薬を服用していると風邪をひかない、あるいはひいても軽くすむということが言われているが、これを科学的に理解する。	石毛　敦	配布資料
6/13	月	2	感染症に対する漢方薬の役割（2）（特別講義）	漢方薬の有効性を先ずは実験科学的に示し、風邪に対する漢方薬の使い方を学ぶ。臨床的に補剤と称する漢方薬を服用していると風邪をひかない、あるいはひいても軽くすむということが言われているが、これを科学的に理解する。	石毛　敦	配布資料

2022年度 3年 講義予定表

【衛生学および衛生学実習】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/14	火	1	化学的環境と健康（3）	化学物質による健康影響と職業病の概論を学ぶ。特に、じん肺に焦点を当て、社会問題となっている石綿肺（中皮腫）について関心を深める。また、労働者の疾病を予防し、健康維持・増進に寄与する産業衛生について理解する。	櫻井拓也	306-350
6/14	火	2	感染症対策	感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法、検疫法、予防接種法を学び、わが国の感染症対策を理解する。	菖田慎一	246-274
6/16	木	2	母子保健	社会問題の一つである少子化に焦点を当て、我が国の母子保健の現状について問題点を併せて理解する。	櫻井拓也	174-195
6/17	金	1	水と健康	ヒトの健康において、水は極めて重要な位置を占める。水の供給、排水の処理などのわが国の水環境について学び、水と健康について理解する。	白土　健	351-378
6/17	金	2	口腔保健と予防医学	口腔疾患やトラブルが全身へ及ぼす影響、予防について解説する。	竹前理映子	配布資料
6/20	月	1	精神保健（特別講義）	精神的健康は健康の要因の一つであり、その維持は重要である。わが国の精神保健行政や精神保健の活動の在り方などについて理解する。	角田　透	235-245
6/20	月	2	職域におけるメンタルヘルス（特別講義）	働く人の健康管理のうち、特にメンタルヘルスの実状と問題点について長時間残業の問題、改正労働安全衛生法についておよび産業ストレスの視点から理解する。	角田　透	306-350
6/23	木	2	学校保健・国際保健	学校保健・国際保健：学校保健関連法規、学校医と保健管理、学齢期の疾病と学校管理下での死亡の推移と現状について学ぶ。また、アルマ・アタ宣言、オタワ憲章、バンコク憲章、WHO、ILO、WFP、 FAO、UNICEF、UNESCO、UNHCR、ODA、JICA、NGOの主な活動内容について概説する。	吉田正雄	167-171, 295-305
6/24	金	2	有酸素運動の処方	有酸素運動について掘り下げ、有酸素運動がなぜ体力科学分野で重要視されているのか、個人の健康維持増進とどのようにかかわるのかについて学ぶ。また、身体運動をどのように処方するかについて、データを交えて理解する。	長澤純一	配布資料

2022年度 3年 講義予定表

【衛生学および衛生学実習】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/30	木	2	環境汚染と健康	公害病の原点的存在である有機水銀による水俣病などから環境汚染による公害問題と健康について理解を深める。廃棄物処理法、特に感染性廃棄物処理についての正しい知識を身につける。	櫻井拓也	351-378
6/30	木	4	地球環境と健康	人類と環境は相互に影響を及ぼし合って変化し続けている。地球環境の現況を把握し、環境問題が健康と社会へ与える影響を理解し、環境保全の重要性を学ぶ。	苅田香苗	351-378
6/30	木	5	予防医学	一次・二次・三次予防の概念を説明し、人間ドック、特定検診、特定保健指導の具体的な内容の提示を行う。悪性新生物、高血圧、高脂血症、メタボリック・シンドロームといった疾病を予防医学の観点から講義する。	石川　守	配布資料
7/4	月	3	水と空気の衛生学（1）（実習）	ローテーション方式により、実際に大気の物理的・化学的性質、および飲料水や自然水の検査と判定を実施する。	苅田 櫻井 白土 菅田	配布資料 （実習書）
7/4	月	4	水と空気の衛生学（2）（実習）	ローテーション方式により、実際に大気の物理的・化学的性質、および飲料水や自然水の検査と判定を実施する。	苅田 櫻井 白土 菅田	配布資料 （実習書）
7/5	火	1	水と空気の衛生学（3）（実習）	ローテーション方式により、実際に大気の物理的・化学的性質、および飲料水や自然水の検査と判定を実施する。	苅田 櫻井 白土 菅田	配布資料 （実習書）
7/5	火	2	水と空気の衛生学（4）（実習）	ローテーション方式により、実際に大気の物理的・化学的性質、および飲料水や自然水の検査と判定を実施する。	苅田 櫻井 白土 菅田	配布資料 （実習書）
7/6	水	3	水と空気の衛生学（5）（実習）	ローテーション方式により、実際に大気の物理的・化学的性質、および飲料水や自然水の検査と判定を実施する。	苅田 櫻井 白土 菅田	配布資料 （実習書）
7/6	水	4	水と空気の衛生学（6）（実習）	ローテーション方式により、実際に大気の物理的・化学的性質、および飲料水や自然水の検査と判定を実施する。	苅田 櫻井 白土 菅田	配布資料 （実習書）

臨床医学講義

臨床医学講義担当者一覧

腎臓・リウマチ膠原病内科学

月日	曜日	時限	担当
8/29	月	1	要　伸也
9/5	月	1	要　伸也
9/6	火	4	池谷紀子
9/8	木	4	川上貴久
9/9	金	2	要　伸也
9/12	月	4	要　伸也
9/12	月	5	要　伸也
9/26	月	1	要　伸也
9/26	月	5	要　伸也
10/20	木	4	川上貴久
10/20	木	5	川上貴久
10/26	水	4	有村義宏
10/27	木	4	川上貴久
10/28	金	1	福岡利仁
11/25	金	4	川嶋聡子
12/5	月	2	福岡利仁
12/5	月	3	福岡利仁
12/9	金	1	福岡利仁

呼吸器内科学

月日	曜日	時限	担当
9/8	木	3	石井晴之
9/13	火	3	皿谷　健
9/13	火	4	皿谷　健
9/21	水	3	石井晴之
9/22	木	2	麻生純平
9/22	木	3	高田佐織
9/29	木	3	和田裕雄
10/6	木	2	高田佐織
10/13	木	2	皿谷　健
10/19	水	5	田村仁樹
10/20	木	3	布川寛樹
10/27	木	5	中本啓太郎
11/2	水	5	石井晴之
11/9	水	3	石井晴之
11/17	木	3	本多紘二郎
11/30	水	5	石田　学

脳神経内科学

月日	曜日	時限	担当
4/7	木	4	千葉厚郎
4/13	水	5	市川弥生子
4/15	金	3	宮崎　泰
4/27	水	5	宮崎　泰
4/28	木	4	千葉厚郎
5/10	火	5	宮崎　泰
5/12	木	5	千葉厚郎
5/23	月	4	宮崎　泰
5/23	月	5	市川弥生子
6/1	水	5	市川弥生子
6/8	水	4	宮崎　泰
6/14	火	4	宮崎　泰
6/17	金	5	千葉厚郎
6/27	月	4	千葉厚郎
6/28	火	1	千葉厚郎
6/28	火	2	千葉厚郎
6/29	水	3	市川弥生子
6/29	水	4	市川弥生子
6/29	水	5	森まどか
7/5	火	4	宮崎　泰

臨床医学講義担当者一覧

循環器内科学

月日	曜日	時限	担当
5/10	火	4	副島京子
5/13	金	4	小山幸平
5/18	水	5	井川　修
5/25	水	5	冨樫郁子
5/27	金	1	冨樫郁子
6/6	月	3	上田明子
6/7	火	3	松尾征一郎
6/8	水	5	佐藤俊明
6/15	水	3	斉藤竜平
6/15	水	4	二宮幹雄
6/21	火	3	坂田好美
6/21	火	5	石黒晴久
6/22	水	5	南島俊徳
6/28	火	3	星田京子
7/1	金	5	南島俊徳
7/5	火	3	坂田好美
8/30	火	3	友野泰秀
9/6	火	3	友野泰秀
9/14	水	4	河野隆志
9/27	火	1	河野隆志
10/4	火	2	合田あゆみ
10/14	金	5	星田京子
10/17	月	4	岩畔英樹
10/26	水	5	谷合誠一
10/28	金	3	竹内真介
11/1	火	2	松尾征一郎
11/15	火	3	伊波　巧
11/15	火	4	竹内かおり
11/15	火	5	山﨑博之
11/28	月	5	佐藤　徹

血液内科学

月日	曜日	時限	担当
9/1	木	2	高山　信之
9/2	金	4	高山　信之
9/6	火	2	佐藤　範英
9/8	木	2	高山　信之
9/9	金	4	高山　信之
9/15	木	2	高山　信之
9/16	金	5	高山　信之
9/20	火	1	佐藤　範英
9/27	火	2	佐藤　範英
9/30	金	4	高山　信之
10/6	木	3	高山　信之
10/7	金	4	高山　信之
10/20	木	2	高山　信之
10/21	金	4	高山　信之
10/21	金	5	高山　信之
10/28	金	4	高山　信之
11/18	金	4	高山　信之
11/18	金	5	高山　信之
12/16	金	4	高山　信之

糖尿病・内分泌・代謝内科学

月日	曜日	時限	担当
8/29	月	2	田中利明
9/2	金	5	田中利明
9/5	月	3	田中利明
9/12	月	1	田中利明
9/12	月	2	炭谷由計
9/13	火	5	勝田秀紀
9/16	金	2	田中利明
9/20	火	3	炭谷由計
9/20	火	4	勝田秀紀
9/26	月	4	炭谷由計
10/4	火	3	勝田秀紀
10/7	金	3	田中利明
10/18	火	3	勝田秀紀
10/25	火	3	勝田秀紀
11/1	火	3	近藤　健
11/2	水	3	安田和基
11/7	月	2	安田和基
11/8	火	3	近藤　健
11/10	木	5	安田和基
11/14	月	3	安田和基
11/14	月	4	炭谷由計
11/21	月	2	安田和基
11/22	火	1	近藤　健
11/24	木	5	安田和基
11/29	火	5	近藤琢磨

臨床医学講義担当者一覧

消化器内科学

月日	曜日	時限	担当
4/6	水	5	大野亜希子
4/7	木	3	森　秀明
4/8	金	4	久松理一
4/11	月	5	久松理一
4/25	月	4	山口康晴
5/9	月	2	齋藤大祐
5/16	月	4	田中昭文
5/18	水	3	高橋信一
5/18	水	4	大野亜希子
5/19	木	3	桜庭彰人
5/19	木	4	久松理一
5/25	水	3	森　秀明
5/31	火	4	川村直弘
6/2	木	3	土岐真朗
6/2	木	4	落合一成
6/3	金	3	森　秀明
6/9	木	3	川村直弘
6/15	水	5	森　秀明
6/17	金	3	川村直弘
6/24	金	5	川村直弘
6/27	月	3	久松理一
6/30	木	3	川村直弘
7/1	金	3	川村直弘
7/4	月	1	關　里和

精神神経科学

月日	曜日	時限	担当
4/27	水	4	坪井貴嗣
9/14	水	2	渡邊衡一郎
9/21	水	1	渡邊衡一郎
9/21	水	2	池田暁史
9/28	水	1	田中伸一郎
9/28	水	2	栗原真理子
10/5	水	1	櫻井　準
10/5	水	2	櫻井　準
10/12	水	1	渡邊衡一郎
10/12	水	2	渡邊衡一郎
10/19	水	1	片桐建志
10/19	水	2	西園マーハ文
10/25	火	1	渡邉菜保子
10/25	火	2	神田優太
10/27	木	2	川﨑洋介
10/27	木	3	堤祐一郎
11/2	水	1	宇佐美政英
11/9	水	2	坪井貴嗣
11/16	水	1	大江悠樹
11/16	水	2	鬼頭伸輔
11/30	水	1	早坂友成
11/30	水	2	今村弥生
12/7	水	2	今村弥生

小児科学

月日	曜日	時限	担当
6/10	金	3	保﨑　明
6/24	金	3	保﨑　明
8/29	月	3	成田雅美
8/29	月	4	川口明日香
8/30	火	1	福原大介
8/30	火	2	野村優子
9/2	金	1	吉野　浩
9/2	金	2	楊　國昌
9/6	火	1	野村優子
9/14	水	1	成田雅美
9/30	金	1	吉野　浩
10/3	月	2	保﨑　明
10/7	金	1	細井健一郎
10/7	金	2	楊　國昌
10/14	金	1	細井健一郎
10/17	月	2	宮田世羽
10/18	火	1	吉野　浩
10/21	金	1	保﨑　明
10/24	月	1	川口明日香
10/24	月	2	宮田世羽
11/8	火	1	田中絵里子
11/8	火	4	小須賀基通
11/8	火	5	小須賀基通
11/14	月	1	木内善太郎
11/14	月	2	宮田世羽
11/17	木	4	小須賀基通
11/17	木	5	小須賀基通
11/22	火	2	野村優子
12/1	木	1	伊藤純子
12/1	木	2	伊藤純子
12/2	金	1	川口明日香

臨床医学講義担当者一覧

消化器・一般外科学

月日	曜日	時限	担当
4/25	月	3	橋本佳和
5/11	水	3	森 俊幸
5/12	木	3	橋本佳和
5/12	木	4	柳田　修
5/13	金	3	吉敷智和
5/17	火	3	竹内弘久
5/17	火	4	阿部展次
5/17	火	5	大木亜津子
5/19	木	4	須並英二
5/31	火	5	須並英二
6/1	水	4	須並英二
6/2	木	4	鈴木　裕
6/13	月	5	小暮正晴
6/21	火	1	鈴木　裕
6/22	水	4	阪本良弘
6/23	木	3	松木亮太
6/24	金	4	阪本良弘
7/1	金	3	阪本良弘

乳腺外科学

月日	曜日	時限	担当
9/15	木	3	麻賀創太
9/22	木	4	伊坂泰嗣
11/1	火	1	井本 滋

呼吸器・甲状腺外科学

月日	曜日	時限	担当
9/2	金	3	安樂真樹
9/12	月	3	宮　敏路
9/16	金	3	安樂真樹
9/30	金	2	藤田　敦
10/14	金	3	新井信晃
10/14	金	4	田中良太
10/18	木	2	平田佳史
10/28	金	2	須田一晴
11/4	金	3	橘　啓盛
11/9	水	4	安樂真樹
11/18	金	2	平野浩一

心臓血管外科学

月日	曜日	時限	担当
5/16	月	3	窪田　博
6/13	月	3	今井克彦
7/4	月	2	窪田　博
10/3	月	3	峯岸祥人
10/12	水	3	遠藤英仁
11/7	月	1	峯岸祥人
11/9	水	5	伊佐治寿彦
11/14	月	5	細井　温
11/16	水	5	伊佐治寿彦

皮膚科学

月日	曜日	時限	担当
9/5	月	2	大山　学
10/3	月	1	福山雅大
10/5	水	3	水川良子
10/6	木	5	鈴木洋介
10/19	水	3	水川良子
10/24	月	4	木下美咲
10/26	水	2	倉田麻衣子
10/31	月	1	大山　学
11/7	月	3	加藤峰幸
11/21	月	1	佐藤洋平
11/21	月	3	倉田麻衣子
11/28	月	3	下田由莉江
11/28	月	4	早川　順

形成外科学

月日	曜日	時限	担当
9/5	月	4	多久嶋亮彦
10/11	火	2	尾崎　峰
10/12	水	4	白石知大
11/15	火	2	大浦紀彦
11/25	金	1	成田圭吾
12/7	水	1	今村三希子

臨床医学講義担当者一覧

泌尿器科学

月日	曜日	時限	担当
8/31	水	4	福原　浩
9/1	木	3	宮川仁平
9/7	水	4	多武保光宏
9/7	水	5	原　秀彦
9/16	金	4	桶川隆嗣
9/27	火	3	藤田直之
10/5	水	4	加藤司顯
10/14	金	3	桶川隆嗣
10/18	火	4	宮川仁平
10/19	水	4	中村　雄
11/1	火	4	多武保光宏
11/16	水	4	舛田一樹
11/30	水	4	福原　浩
12/1	木	3	中村　雄
12/2	金	3	中村　雄
12/2	金	5	桶川隆嗣
12/5	月	4	金城真実
12/9	金	3	福原　浩
12/9	金	4	舛田一樹
12/16	金	3	多武保光宏

産科婦人科学

月日	曜日	時限	担当
8/29	月	5	田嶋　敦
9/1	木	4	田嶋　敦
9/5	月	5	谷垣伸治
9/7	水	3	谷垣伸治
9/9	金	3	小林千絵
9/26	月	2	松島実穂
9/26	月	3	竹森　聖
9/28	水	3	佐藤泰紀
9/30	金	3	竹森　聖
10/3	月	4	松島実穂
10/3	月	5	北村亜也
10/11	火	3	北村亜也
10/17	月	3	佐藤泰紀
10/24	月	3	小林陽一
10/31	月	3	森定　徹
10/31	月	4	百村麻衣
11/2	水	4	渡邉百恵
11/7	月	4	松本浩範
11/16	水	3	百村麻衣
11/21	月	4	小林千絵
11/22	火	5	澁谷裕美
11/28	月	2	片山紗弥
11/29	火	3	安藤　索
11/29	火	4	安藤　索
12/2	金	4	小林陽一

放射線医学

月日	曜日	時限	担当
4/4	月	3	平岡祥幸
4/11	月	4	片瀬七朗
5/6	金	4	黒木一典
5/9	月	3	須山淳平
12/12	月	4	町田治彦

放射線腫瘍学

月日	曜日	時限	担当
5/11	水	1	江原 威

臨床検査医学

月日	曜日	時限	担当
4/5	火	3	大西宏明
4/8	金	5	大西宏明
4/26	火	3	安戸裕貴
4/28	木	3	大塚弘毅
5/27	金	3	安戸裕貴
5/27	金	4	山﨑聡子
6/6	月	4	大西宏明
6/7	火	4	山﨑聡子
6/10	金	4	大西宏明
10/4	火	1	大西宏明
11/24	木	4	山﨑聡子

総合医療学

月日	曜日	時限	担当
5/16	月	5	水谷友紀

リハビリテーション医学

月日	曜日	時限	担当
6/21	火	4	山田　深

臨床医学講義担当者一覧

医学教育学

月日	曜日	時限	担当
4/6	水	3	矢島知治
5/9	月	1	冨田泰彦
5/20	金	3	冨田泰彦
5/23	月	3	冨田泰彦

脳卒中医学

月日	曜日	時限	担当
5/30	月	3	平野照之
6/7	火	5	平野照之
6/17	金	4	平野照之

保健学部

月日	曜日	時限	担当
4/11	月	3	滝　智彦
4/12	火	3	岸野智則
6/6	月	4	米谷正太
6/14	火	3	岸野智則

感染症学

月日	曜日	時限	担当
10/31	月	2	花輪智子

衛生学公衆衛生学

月日	曜日	時限	担当
4/6	水	4	吉田正雄
4/14	木	3	吉田正雄
5/30	月	4	吉田正雄

病理学

月日	曜日	時限	担当
8/31	水	1	下山田博明
8/31	水	2	下山田博明
8/31	水	3	藤原正親
9/7	水	1	藤原正親
9/7	水	2	藤原正親
9/9	金	1	藤原正親
9/13	火	1	下山田博明
9/13	火	2	柴原純二
9/14	水	3	柴原純二
9/21	水	4	里見介史
9/28	水	4	里見介史
9/29	木	2	里見介史
9/29	木	4	菅間　博
10/6	木	4	柴原純二
10/11	火	1	柴原純二
10/21	金	2	日比谷孝志
10/21	金	3	日比谷孝志
10/26	水	1	里見介史
10/26	水	3	日比谷孝志
11/2	水	2	長濱清隆
11/4	金	3	長濱清隆
11/4	金	4	長濱清隆
11/9	水	1	長濱清隆
11/10	木	3	菅間　博
11/10	木	4	菅間　博
11/15	火	1	下山田博明
11/17	木	2	下山田博明
11/24	木	1	柴原純二
11/24	木	2	柴原純二
11/24	木	3	菅間　博
11/25	金	3	菅間　博

学　科　目：臨床医学総論
科目責任者：冨田泰彦　教授
担 当 教 員：その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
臨床で求められる各専門分野の知識を習得する上での基礎となる知識を習得することである。

B．到達目標
臨床各領域の基礎となる諸知識を幅広く習得する。

C．修得すべき能力
1．医師・医学研究者としてふさわしい価値観、医師・医学研究者に求められる倫理と法的責任を説明できる。
2．医療の質と安全の確保についての基本的な考え方を説明できる。
3．EBM(根拠に基づく医療)の基本を説明できる。
4．医療面接の基本的な方法を説明できる。
5．放射線防護、画像検査および放射線治療の基本を説明できる。
6．外科治療の基本を説明できる。

D．学習内容
医師としての心構えと医の倫理、診療の進め方、放射線医学入門、外科学総論など。

E．実習・課外授業
１．実習　　なし
２．課外授業　なし

F．準備学習の内容
事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、参考書等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。

G．復習学習の内容
講義で配布されたプリントおよび参考書等の関連ページを熟読して復習すること。

H．成績評価の方法・基準
1．試験の方針
筆記試験
2．試験の期日と実施方法
前期定期試験期間中に筆記試験を行う（追・再試験は後期）。
3．評価法
定期試験の成績から判定する。
4．判定基準
60 点以上（100 点満点として）を合格とする。
不合格の場合、再試験を受け合格する必要がある。

I．学習指導書
1．教科書（学生が所持しなければならないもの）
特に無し
2．参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R)医療者の心を贈るコミュニケーション―患者さんと一緒に歩きたい　日下隼人著　医歯薬出版　2016
3．参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）
特に無し
※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【臨床医学総論】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/4	月	3	胸部単純写真	全ての画像診断の基礎となる胸部単純写真について、検査法や装置、診断に必要な画像解剖、さらに基本的な画像所見や徴候（サイン）について概説する。	平岡祥幸	資料配付
4/6	水	3	病歴聴取法	診断はまず問診（病歴聴取）から始まり、そこで得られた情報を踏まえて身体診察と検査が行われる、という流れでなされる。したがって的確な問診は的確な診療の土台となるものである。また、問診は良好な医師患者関係の確立にも寄与する作業でもある。臨床医が生涯に渡って実践し続けるべき基本に忠実な病歴聴取法を概説する。	矢島知治	資料配付
4/6	水	4	EBMの基礎	Evidence Based Medicine（EBM）の概要、エビデンスレベル分類とその内容、疫学研究の方法と研究デザインの概略を解説する。	吉田正雄	資料配付
4/11	月	4	CT、MRI	現代医療において必要不可欠となっているCT、MRIについて、その装置や撮像の原理、開発や発展の歴史、検査の特徴、読影の基本など、初学者のための総論的内容を述べる。	片瀬七朗	資料配付
4/14	木	3	医の倫理（1）	医師という職業の尊厳と重要性について学び、十分に自覚することを目標とする。ここでは、主に以下の項目について理解し、説明できるようにする。①基本的人権（日本国憲法）と健康の定義（世界保健機関憲章）　②医学史および医学・医療に関する一般教養的知識や考え方　③ヒポクラテスの誓い　④ジュネーブ宣言　⑤患者の権利（リスボン宣言）	吉田正雄	資料配付
4/25	月	3	外科周術期管理	手術を支える3本の柱は、術前・術中（麻酔）・術後の管理であり、どれか一つが欠けても手術を成功に導くことはできない。正確な術前評価と手術適応の決定、手術侵襲を極力小さくして、術後合併症や後遺症を回避するために注意すべき点について解説する。	橋本佳和	資料配付

2022年度 3年 講義予定表

【臨床医学総論】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/27	水	4	診療ガイドライン	現代医学の進歩はめざましく、世界中で最新の診断法、治療法、予防法の研究開発が進んでいるが、日常診療の中で最新のエビデンスを取り入れるのは容易ではない。診療ガイドラインはこのような最新のエビデンスと日常診療の乖離を改善し、日常診療の質の向上を図ることを目的としている。本講義では診療ガイドラインの意義や具体的な作成方法、日常臨床の中での活用方法について概説する。	坪井貴嗣	資料配付
5/6	金	4	腹部単純写真、消化管X線透視、血管撮影	主な腹部画像診断法の種類や特徴について、総論的に概説する。また、腹部単純X-Pの基本的な読影方法について解説し、代表的な腹部疾患のX線所見・徴候（サイン）について紹介する。	黒木一典	資料配付
5/9	月	1	医療の質と安全の確保	医療の質の確保、医療事故の防止、院内感染対策に関して必要な項目（医師国家試験出題基準）の概略に沿って解説する。	冨田泰彦	資料配付
5/9	月	3	核医学の基礎	核医学検査について、検査の原理、検査手順、主な放射性医薬品、核種の生成法と半減期、検査装置、SPECT（single photon emission CT）、PET（positron emission tomography）について解説する。	須山淳平	資料配付
5/11	水	1	放射線防護、放射線治療の基礎	現代医学では放射線の使用は不可欠であり、医師として放射線の人体への影響や放射線防護について正しく理解することが必要となる。この点について概説すると共に、放射線治療の基本についても解説する。	江原 威	資料配付
5/11	水	3	外科侵襲学	外科手術は侵襲を伴う完全回復を放棄した治療法である。このため外科的治療を計画する際には、外科侵襲を理解し手術がもたらすメリットとのバランスを常に考慮する必要がある。講義では外科侵襲やショックの病態につき解説する。	森 俊幸	資料配付

2022年度 3年 講義予定表

【臨床医学総論】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
5/16	月	5	臨床研究の倫理	人を対象とした医学研究は高い倫理に基づいた実施が求められる。倫理指針として、「ヘルシンキ宣言」や「人を対象とする医学研究の倫理指針」が基本となっている。2018年から「特定臨床研究法」が施行され、罰則を伴うなど、医学研究の倫理はますます厳しくなっている。医学研究の臨床試験、倫理、および利益相反について学ぶ。	水谷友紀	資料配付
5/20	金	3	医の倫理（２）	医の倫理や臨床医学に関連して、「患者医師関係」を考える上で必要とされる知識につき解説する。	冨田泰彦	資料配付
5/23	月	3	医の倫理（３）	医師のプロフェッショナリズムに必要とされる、医療倫理や患者医師関係に関する項目について解説する。また関連した医学史上で重要な史実や一般教養の知識について解説する。	冨田泰彦	資料配付
5/30	月	4	医の倫理（４）	⑥ヒトを対象とする医学研究の倫理原則（ヘルシンキ宣言）　⑦医師の法的義務（刑法、医師法など）　⑧生命倫理（尊厳死、安楽死）　⑨ホスピス、終末期医療（ホスピスの歴史や概念、全人的痛み）　⑩死生観（「死にゆく過程の５段階説」、「障害受容への６段階説」）	吉田正雄	資料配付

学　科　目：臨床検査医学・輸血学
科目責任者：大西　宏明　教授
担 当 教 員：教　　授　大西宏明
　　准 教 授　安戸裕貴
　　学内講師　大塚弘毅
　　助　　教　山﨑聡子
　　兼担教授　岸野智則、滝　智彦
　　兼担講師　米谷正太

上記担当教員については、医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が主として講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
臨床検査・輸血療法の持つ意義、内容を理解させ、実践の場における臨床検査・輸血療法の適正かつ有効な利用のための基礎的な知識の習得を目標とする。特に臨床検査については、基礎医学において学んだ人体の構造および機能の理解に基づき、疾病における体内の構造・機能の異常の現れとして認識し、臨床医学科目で学ぶ様々な疾病の診断に役立てる能力を養う。

B．到達目標
臨床検査・輸血療法を適正に利用する能力を有する臨床医となるために必要な基本的な知識として、その原理、実施法、臨床的意義を系統的に理解し、述べることができる。また、臨床検査・輸血療法を有効に活用できるよう、効率的な検査計画と輸血療法の選択ができる。

C．修得すべき能力
1．検査の意義、安全性、検査結果を用いた臨床判断の基本について説明できる。
2．採血をはじめとする検体の適切な採取法、保存法、検査法について説明できる。
3．血液学検査、生化学検査、一般検査、微生物検査、遺伝子関連検査、生理機能検査の基本とその解釈について説明できる。
4．輸血検査の方法と結果の解釈、適正な輸血療法、および輸血の合併症について説明できる。

D．学習内容
総論では臨床検査全般にわたる概要（意義、重要性、注意点）を把握し、各論ではそれぞれの専門分野における具体的な検査内容、個々の検査の持つ意義、利用の仕方などを学ぶ。

E．実習・課外授業
1．実習　　なし
2．課外授業　なし

F．準備学習の内容
事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考資料に目を通しておくこと。

G．復習学習の内容
講義で配布されたプリントや練習問題の解答および参考書の関連ページを熟読して復習すること。

H．成績評価の方法・基準
1．試験の方針
臨床検査の持つ意義を正確にとらえているかどうか、講義で学んだことが確実に理解できているかどうかを確認する。
2．試験の期日と実施方法
本試験は夏季休暇前、再試験は期末に実施する。本試験、再試験とも筆記試験で、マークシート方式および再生形式を併用する。
3．評価法
筆記試験の点数、学習態度および出席日数を考慮し、総合的に判断する。
4．判定基準（○は重視、◎は非常に重視）
筆記試験…◎、学習態度…○、出欠…○
5．フィードバック
試験は、解答及び点数をもってフィードバックする。
学習態度は、講義において気付いた点を教官が個別にフィードバックする。

I．学習指導書
1．教科書（学生が所持しなければならないもの）
高木康　監修　標準臨床検査医学　医学書院

２．参考書Ａ（学生の所持を勧めるもの）

(R) 金井正光編著　臨床検査法提要　金原出版

(R) 日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会編　臨床検査のガイドライン　JSLM2021. 宇宙堂八木書店

(A) 上田剛士著　内科診断リファレンス　医学書院

(R) 日本臨床検査標準協議会編　標準採血法ガイドライン（ＧＰ４－Ａ３）学術広告社

(R) 厚生労働省医薬食品局血液対策課編「輸血療法の実施に関する指針」（改訂版）及び「血液製剤の使用指針」（改訂版）　日本赤十字社

３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）

(R) 高久史麿監修　臨床検査データブック　2021-2022　医学書院

(R) 大西宏明他編　臨床検査ガイド 2020 改訂版　文光堂

(A) 清水勝監修　絵でみる輸血　医学書院

(A) 遠山　薫・張替秀郎編集　血液細胞アトラス　文光堂

(A) Linne J.J.&Ringsrud K.M. Clinical Laboratory Science Mosby

(A) McClatchey K.D.編　Clinical Laboratory Medicine Williams & Wilkins

(A) McGowan-Jordan J., Simons A., & Schmid M.編 ISCN 2020: An International System of Human Cytogenetic Nomenclature. Karger

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【臨床検査医学・輸血学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/5	火	3	輸血検査	輸血医学の基礎をなす血液型について概説した後、輸血検査の原理と実際について講義する。ABO、RhD、その他の血液型、交差適合試験、ミスマッチ等について解説する。	大西宏明	標準臨床検査医学 P313～324 ＋ プリント使用
4/8	金	5	輸血療法	輸血に関する指針および法的規制に基づき、輸血の種類と適応、自己血輸血等につき概説する。また、輸血副作用（ABO不適合輸血、輸血後感染症、GVHD等）について概説する。	大西宏明	標準臨床検査医学 P313～324 ＋ プリント使用
4/11	月	3	血液検査と染色体検査	造血細胞の分類とその量的・形態的特徴について概説する。形態的特徴についてはスライドで提示する。また、造血器腫瘍と先天異常を対象にした染色体検査の方法と、それぞれの代表的な染色体異常について概説する。	滝　智彦	プリント使用
4/12	火	3	生化学検査の見方	日常診療で用いられる血液生化学検査項目を紹介し、各検査値の原理・意義と評価法について講義する。また、血液採取や保管上の注意点についても言及する。	岸野智則	プリント使用
4/26	火	3	臨床検査総論	検査の性能（正確度、精密度、感度、特異度）、基準範囲、カットオフ値、境界値、パニック値、ROC曲線、検査前確率、検査後確率、尤度比など、臨床検査に関する基本的事項について解説する。	安戸裕貴	標準臨床検査医学 P3～25 ＋ プリント使用
4/28	木	3	遺伝子関連検査	遺伝子関連検査を理解するうえで必要な遺伝子や遺伝子解析の基本的な知識を復習し、臨床における遺伝子関連検査の重要性や現状について学習する。	大塚弘毅	プリント使用
5/27	金	3	尿以外の一般検査の見方	髄液採取法（traumatic tap、禁忌、合併症）、髄液検査（色調、細胞数と細胞の種類、蛋白量、Glu、Cl）、便潜血反応（免疫法、化学的方法）、腹水および胸水検査（漏出液と滲出液）について学習する。	安戸裕貴	標準臨床検査医学 P42～47 ＋ プリント使用
5/27	金	4	検査値と疾患	基本的な検査項目について、その基準範囲および疾患との関連を中心に解説する。	山﨑聡子	プリント使用

2022年度 3年 講義予定表

【臨床検査医学・輸血学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/6	月	4	臨床微生物学	微生物検査において検体の質は検査結果に大きく影響を与えるため、適切な検体採取が感染症の診断・治療の第一歩となる。本講義では検体採取法から微生物検査の流れ及び検査の基本的な手法について概説する。	米谷正太/大西宏明	プリント使用
6/7	火	4	生理検査学	循環器系の生理機能検査(12誘導心電図検査、24時間ホルター心電図検査、トレッドミル運動負荷試験、心臓・頸動脈・下肢静脈超音波検査、脈波検査)、呼吸機能検査などについて主に解説する。	山﨑聡子	プリント使用
6/10	金	4	静脈採血	ガイドラインに基づいた標準採血法、採血の合併症、その予防法・対応法について概説する。また採血器具や、検査結果に影響を与えるpre-analyticalな因子についても解説する。	大西宏明	標準採血法ガイドライン
6/14	火	3	超音波画像の見方	超音波検査の簡単な原理に触れた後、腹部臓器（主に肝臓・胆道・脾臓・腎臓・副腎・前立腺・膀胱）の超音波解剖と主な疾患を基に、超音波画像の見方を講義する。また、検査時の注意点についても言及する。	岸野智則	プリント使用

学　科　目：消化器内科学
科目責任者：久松理一　教授
担当教員：教　　授　久松理一
客員教授　高橋信一
特任教授　森　秀明
講　　師　川村直弘、土岐真朗
学内講師　齋藤大祐、大野亜希子
助　　教　關　里和、落合一成
非常勤講師　山口康晴
専　修　医　田中昭文、桜庭彰人

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針

消化器病疾患の病態を理解し、診断と治療に必要な基礎的知識を習得する。内科と外科の合同授業で網羅的に学習する。学習を通して積極的に知識を吸収する姿勢を育成し，論理的思考を養い自力で解決する能力を身につける。

B．到達目標

1．食道から肛門までの各消化管，肝臓・胆嚢・膵臓および腹壁の解剖、生理・機能、また各種疾患の病態、診断と鑑別、治療さらに予防について，基本的知識およびその応用を習得する。

2．消化器系疾患を正しく理解するとともに、それらの診断や治療を的確に行うことができる臨床医となるため、必須な基礎知識とその活用法を習得するべく、以下の行動目標を設定する。

①消化器系の正常構造と機能を、正しく理解し説明できる。
②消化器系疾患の病態生理や原因、症候について、正確に述べることができる。
③消化器系疾患の診断に必要な検査法と、その結果の評価や鑑別診断について、正確に述べることができる。
④消化器系疾患の治療法について、正しく理解し説明できる。

C．修得すべき能力

1．消化器系の解剖、機能を正しく理解し説明できる。
2．消化器系疾患の原因、病態生理、症候について理解し説明できる。
3．消化器系疾患の診断に必要な検査法を理解する。
4．主要な消化器系疾患の治療法について理解する。

D．学習内容

1．主としてPCプレゼンテーションにより講義する。社会的状況を鑑みて対面およびITを用いた遠隔授業を行う。
2．外科との合同講義を腸，胆道，肝臓疾患において各1コマ行う。
3．学生参加型臨床講義（アクティブ・ラーニング）を消化管，肝臓，胆・膵疾患において各1コマ行う。事前に配布される資料を予習し講義に臨む。全体を3グループに分け，担当グループは質疑応答をしながら，学生自身が考えながら進める。

E．実習・課外授業

なし

F．準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を確認し、教科書や参考書を一読する。

G．復習学習の内容

授業内容をふまえ教科書を改めて精読し，医師国家試験の既出問題を問いてみること。自ら検索した関連文献などから，さらに深い知識を吸収する。

H．成績評価の方法・基準

1．評価の方針
講義および自習により習得した消化器病学の知識を確認する。
2．試験の期日と実施方法
記述式またはマークシート方式
3．評価法
試験成績により評価する。
4．判定基準
60%以上を合格とする。

Ⅰ．学習指導書

１．教科書（学生が所持しなければならないもの）

矢崎義雄 総編集　内科学 第11版　朝倉書店

矢崎義雄 監修　新臨床内科学 第10版　医学書院

２．参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）

(R)石橋賢一 Navigate 消化器疾患 医学書院

３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）

(A)小俣政男，千葉勉 監修 専門医のための消化器病学 第 2 版 医学書院

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【消化器内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/6	水	5	消化管総論（1） ＜上部消化管の解剖、機能と症候＞	上部消化管の解剖、運動・消化吸収につき解説し、基本的な症候である腹痛、腹部膨満、悪心、嘔吐、吐血、胸やけにつき 概念、病態生理、鑑別診断につき解説する。	大野亜希子	72-78 93-94 203-207 （朝倉）
4/7	木	3	消化器総論 ＜消化器病学を学ぶ＞	消化器病学の講義の流れについて、特徴と受講の仕方を踏まえて概説し、消化器疾患の患者のみかたについて、医療面接、身体診察、概念、病態生理、鑑別診断、検査の重要性につき解説する。	森 秀明	871-873 （朝倉）
4/8	金	4	消化管総論（2） ＜下部消化管の解剖、機能と症候＞	下部消化管の解剖、運動・消化吸収、症候として下血（血便）、便秘、下痢、また、消化管ホルモンの基礎と臨床につき解説する。	久松理一	81-84 203-207 882-888 （朝倉）
4/11	月	5	消化管総論（3） ＜最近のトピックス：腸内細菌について学ぶ＞	腸内細菌叢と宿主はいかに共生しているか？その精巧なメカニズム、不思議について、疾患との関連や糞便移植法など最新の知見を交えながら解説する。	久松理一	該当なし
4/25	月	4	食道疾患 ＜炎症、機能異常、損傷＞	胃食道逆流症、逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症、食道アカラシア、Mallory-Weiss症候群、Barrett食道、好酸球性食道炎等についてその病態生理、臨床症状、診断、治療、予後につき解説する。	山口康晴	896-903 （朝倉）
5/9	月	2	腸疾患（1） ＜機能異常、血管病変、小腸疾患＞	吸収不良症候群、蛋白漏出性胃腸症、過敏性腸症候群、消化管憩室症や小腸疾患の成因、臨床症状、診断、特にカプセル内視鏡、DBEの画像診断、治療について解説する。	齋藤大祐	957-959 985-994 1005-1006 1010-1012 （朝倉）
5/16	月	4	胃・十二指腸疾患（1） ＜ヘリコバクター・ピロリ感染症と関連疾患、機能性疾患＞	多くの胃疾患や胃外疾患にも関与しているヘリコバクター・ピロリ感染症、急性胃炎、慢性胃炎、機能性ディスペプシア、胃ポリープ、胃腺腫、胃癌、胃MALTリンパ腫について概説する。	田中昭文	920-925 932-944 （朝倉）
5/18	水	3	胃・十二指腸疾患（2） ＜消化性潰瘍＞	胃潰瘍と十二指腸潰瘍につき、その概念、分類、成因、疫学、病態生理、臨床症状、診断、治療予後につき解説する。胃潰瘍については学会診療ガイドラインを示し、EBMの構築について学ぶ。	高橋信一	927-932 （朝倉）

2022年度 3年 講義予定表

【消化器内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
5/18	水	4	胃・十二指腸疾患（３） ＜消化管内視鏡診断と治療＞	胃・十二指腸・大腸腫瘍に対する内視鏡診断（色素法、EUS）および内視鏡治療（EMR、ESD）、胃食道静脈瘤に対する内視鏡治療(EIS、EVL)、消化管出血に対する内視鏡的止血法につき適応、方法、合併症などにつき解説する。	大野亜希子	874-881 888-890 （朝倉）
5/19	木	3	腸疾患（２） ＜腸炎＞	感染性腸炎、薬物性腸炎、放射線性腸炎、虚血性腸炎などの疾患概念，症状、診断、治療について解説する。	桜庭彰人	953-957 971-972 （朝倉）
5/19	木	4	腸疾患（３） ＜炎症性腸疾患と腸結核＞ 内科・外科合同講義・90分	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）の疫学、病態、診断と治療について統合的に学ぶために内科外科合同講義とする。鑑別疾患である腸結核についても解説する	内科 久松理一 外科 須並英二	959-970 （朝倉）
5/25	水	3	肝・胆・膵総論（１） ＜肝胆膵の解剖と機能＞	肝臓の解剖（門脈・肝動脈・肝静脈の関係および肝区域）と機能について解説する。胆道に関しては胆嚢および胆管の解剖と胆汁分泌について、膵臓については解剖と膵液の分泌について解説する。	森　秀明	該当なし
5/31	火	4	肝・胆・膵総論（２） ＜肝疾患の検査＞	肝疾患の診断に必要な血液・尿検査について総説する。肝不全における病態、主要症状、診察法、検査所見について解説する。	川村直弘	1033-1035 （朝倉）
6/2	木	3	膵臓疾患 ＜膵 炎症性疾患＞	急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎の成因・疫学、自覚症状、理学的所見、臨床診断基準、検査所見、　画像診断、治療法、予後について解説する。	土岐真朗	1176-1189 （朝倉）
6/2	木	4	胆道疾患 <良性胆道疾患と手術> 内科・外科合同講義・90分	胆石症、胆嚢炎、胆管炎（原発性硬化性胆管炎、Ig4関連胆管炎を含む）胆嚢腺筋症、胆嚢ポリープにつき内科的立場から解説し、胆石症、胆嚢炎の治療について外科の立場から解説する。良性胆道疾患を包括的に学ぶための内科・外科合同講義である。	内科 落合一成 外科 鈴木　裕	1150-1157 1159-1166 1169 （朝倉）
6/3	金	3	肝・胆・膵総論（３） ＜肝胆膵の画像診断＞	腹部超音波検査・CT検査・MRI検査・腹部血管造影などの画像診断について解説する。	森　秀明	1036-1042 （朝倉）

2022年度 3年 講義予定表

【消化器内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/9	木	3	肝臓疾患（1） ＜肝炎・自己免疫性肝疾患＞	肝炎ウイルスについて解説し、急性肝炎、慢性肝炎、また、自己免疫性肝疾患である原発性胆汁性胆管炎、自己免疫性肝炎について診断、症状、治療、予後につき解説する。	川村直弘	1057-1068 1075-1090 1095-1097 （朝倉）
6/15	水	5	学生参加型臨床講義（胆・膵）・90分	実際の症例をベースに学生参加型の授業を行う。病歴聴取、鑑別診断、身体所見のポイント、どのような検査を行うか、治療法の選択などを学生自身が考えながら進めていく。各1コマ90分を予定しています。	森　秀明	該当なし
6/17	金	3	肝臓疾患（2） ＜肝硬変・門脈圧亢進症＞	肝疾患の終末像である肝硬変の病因、病態生理、臨床像や治療につき解説する。特に合併症としての肝性脳症、浮腫・腹水、門脈圧亢進症(胃食道静脈瘤を含む)の病態、治療について解説する。	川村直弘	1052-1057 1090-1094 （朝倉）
6/24	金	5	学生参加型臨床講義（肝臓）・90分	実際の症例をベースに学生参加型の授業を行う。病歴聴取、鑑別診断、身体所見のポイント、どのような検査を行うか、治療法の選択などを学生自身が考えながら進めていく。各1コマ90分を予定しています。	川村直弘	該当なし
6/27	月	3	学生参加型臨床講義（消化管）・90分		久松理一	該当なし
6/30	木	3	肝臓疾患（3） ＜代謝性肝疾患、その他＞	薬物性肝疾患、アルコール性肝疾患、代謝異常による肝障害（脂肪性肝疾患、Wilson病、ヘモクロマトーシス）について病因、臨床像、病態や治療につき解説する。	川村直弘	1099-1107 （朝倉）
7/1	金	3	肝臓疾患（4） ＜急性肝不全・肝移植＞ 内科・外科合同講義・90分	劇症肝炎・急性肝不全の成因、病態、治療、予後につき内科の立場から解説する。また、国内外における肝移植の現状やその適応、手術法などについて外科の立場から解説する。肝不全を包括的に学ぶための内科・外科合同講義である。	内科 川村直弘 外科 阪本良弘	1046-1050 1068-1074 （朝倉）
7/4	月	1	肝臓疾患（5） ＜肝腫瘍性病変の画像診断と治療＞	肝嚢胞、肝膿瘍、肝臓良性腫瘍（肝血管腫、FNHなど）、悪性疾患（肝細胞癌、肝内胆管細胞癌、転移性肝癌）の臨床像、画像診断、IVR、RFAなどによる治療につき解説する。	關 里和	1108-1123 （朝倉）

学　科　目：消化器外科学
科目責任者：須並英二　教授
担 当 教 員：教　　授 須並英二、阿部展次、阪本良弘
　　客員教授 柳田 修、森　俊幸
　　准 教 授 鈴木　裕
　　講　　師 竹内弘久、吉敷智和
　　学内講師 大木亜津子
　　助　　教 橋本佳和、小暮正晴、

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
　消化器外科学の基本的概念を習得する。

B．到達目標
消化器領域疾患の病態・診断・治療を学び、医療全体における外科治療の役割や意義を理解する。

C．修得すべき能力
・外科医療に求められる倫理と法的責任を認識する。
・安全な外科医療を行うための知識を習得する。
・消化器の正常解剖構造と機能を理解する。
・消化器疾患の病態生理と自然史を理解する。
・消化器疾患の身体診察法や診断法、治療法を理解する。
・消化器疾患の外科治療の適応を説明できる。
・外科的侵襲に対する生体の反応について説明できる。
・手術前後の患者管理について説明できる。
・消化器疾患の薬物治療の適応を理解する。

D．学習内容
・消化器疾患に対する外科治療を中心とした講義
・消化器内科との合同講義

E．実習・課外授業
　1．実習　　なし
　2．課外授業　なし

Ｆ．準備学習の内容
教科書を読む

Ｇ．復習学習の内容
講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること

Ｈ．成績評価の方法・基準
１．試験の方針
消化器外科学の基本を修得しているか否かをチェックする。
２．試験の期日と実施方法
マークシート方式、再生形式
３．評価法
試験成績
４．判定基準
60 点以上を合格とする。

Ｉ．学習指導書
１．教科書（学生が所持しなければならないもの）
標準外科学第 15 版（医学書院）
２．参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）
なし
３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）
なし
※(R)：Remedial…教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced…教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【消化器外科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
5/12	木	3	食道外科（1）	食道の解剖生理機能と、食道腫瘍（食道癌、バレット食道癌）の病態生理、症状、検査、外科手術を中心とした治療法と合併症について解説する。	橋本佳和	標準外科学 第15版 446-448, 454-466
5/12	木	4	食道外科（2）	横隔膜の解剖生理機能と、横隔膜ヘルニア、横隔膜弛緩症、横隔膜麻痺等の疾患の病態生理、症状、検査、治療法について解説する。食道アカラシア、逆流性食道炎の診断・治療を解説する。	柳田　修	標準外科学 第15版 442-445, 449-454
5/13	金	3	腸閉塞	腸閉塞の原因、診断、治療について解説する。	吉敷智和	標準外科学 第15版 544-550
5/17	火	3	急性腹症、腹膜炎	急性腹症の概念、診断と治療、急性腹膜炎の原因･病態･診断･治療について解説する。	竹内弘久	標準外科学 第15版 128-137
5/17	火	4	胃外科（1）	胃癌や他の胃腫瘍（消化管間質腫瘍など）について外科治療を中心に解説する。	阿部展次	標準外科学 第15版 503-521
5/17	火	5	胃外科（2）	消化性潰瘍の治療における外科の役割を解説する。胃切除後症候群を術後早期の合併症と晩期の合併症（術後の後遺症）に大きく分けて、発生機序や予防策、治療に関し概説する。	大木亜津子	標準外科学 第15版 501-503, 515-521
5/19	木	4	腸疾患（2） ＜炎症性腸疾患と腸結核＞ 内科・外科合同講義・90分	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）の疫学、病態、診断と治療について統合的に学ぶために内科外科合同講義とする。鑑別疾患である腸結核についても解説する	内科 久松理一 外科 須並英二	959-970 （朝倉）
5/31	火	5	大腸腫瘍	大腸癌について基礎的事項から臨床的事項【手術適応、手術術式（開腹手術と腹腔鏡手術）、切除後の予後など】について概説する。	須並英二	標準外科学 第15版 533-544
6/1	水	4	肛門疾患	肛門の発生と解剖的特徴から診察方法、診断、治療法につき解説する。	須並英二	標準外科学 第15版 557-565, 572-573

2022年度 3年 講義予定表

【消化器外科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/2	木	4	胆道疾患 <良性胆道疾患と手術> 内科・外科合同講義・90分	胆石症、胆嚢炎、胆管炎（原発性硬化性胆管炎、Ig4関連胆管炎を含む）胆嚢腺筋症、胆嚢ポリープにつき内科的立場から解説し、胆石症、胆嚢炎の治療について外科の立場から解説する。良性胆道疾患を包括的に学ぶための内科・外科合同講義である。	内科 落合一成 外科 鈴木　裕	1150-1157 1159-1166 1169 （朝倉）
6/13	月	5	膵胆管合流異常症・先天性胆道拡張症・胆嚢癌・乳頭部癌	総胆管拡張症・膵胆管合流異常：合流異常の病態、合併病変（胆道拡張症、胆道癌、胆石、膵炎）。胆道拡張症の分類、症状。合流異常症・先天性胆道拡張症の診断・治療。胆嚢癌、乳頭部癌の病態、診断、治療。	小暮正晴	標準外科学 第15版 601-608, 612
6/21	火	1	嚢胞性膵疾患と膵神経内分泌腫瘍	嚢胞性膵疾患：膵嚢胞性腫瘍の分類（仮性嚢胞、真性嚢胞）。仮性嚢胞の成因・診断・治療。膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）・粘液性嚢胞腫瘍(MCN)・漿液性嚢胞腫瘍(SCN)の病理・診断（特に鑑別）・治療。	鈴木　裕	標準外科学 第15版 619-622, 626-628
6/22	水	4	膵癌	膵癌の病態・診断・治療を解説する。	阪本良弘	標準外科学 第15版 622-628
6/23	木	3	肝臓の解剖、機能評価・肝細胞・転移性肝腫瘍	肝臓の解剖　術前における肝機能の評価 肝細胞癌の診断と治療　転移性肝腫瘍の診断と治療	松木亮太	標準外科学 第15版 574-578, 585-587
6/24	金	4	肝外胆管癌と肝内胆管癌	肝外胆管癌と肝内胆管癌の病態･診断･治療につき解説する。	阪本良弘	標準外科学 第15版 593-597, 605-608, 586-587
7/1	金	3	肝臓疾患（５） ＜急性肝不全・肝移植＞ 内科・外科合同講義・90分	劇症肝炎・急性肝不全の成因、病態、治療、予後につき内科の立場から解説する。また、国内外における肝移植の現状やその適応、手術法などについて外科の立場から解説する。肝不全を包括的に学ぶための内科・外科合同講義である。	内科 川村直弘 外科 阪本良弘	1046-1050 1068-1074 （朝倉）

学　科　目：循環器病学A
科目責任者：副島京子　教授
担当教員：教　　授　副島京子、坂田好美、
　　窪田　博、
　　准　教　授　保崎　明
　　特任准教授　佐藤俊明
　　その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針

循環器病学疾患の理解と、病態の把握。いずれも解剖学的知識を基礎に、小児科・内科・外科的・放射線科的な診断から治療法への流れを系統的に教育し、基礎・臨床医学の総合的知識を習得する。

また、疾患を学ぶだけでなく、良医となるための心構えを持つことを教育する。

B．到達目標

1）心臓・血管を主にした循環器の解剖、生理・機能、また各種疾患の病態、診断と鑑別、治療さらに予防についてその基本的知識およびその応用を習得する。

2）循環器系疾患を正しく理解するとともに、それらの診断や治療を的確に行うことができる臨床医となるため、必須な基礎知識とその活用法を習得するべく、以下の行動目標を設定する。

①循環器系の正常構造と機能を、正しく理解できる。
②主要な循環器系疾患の病態生理や原因、症候について、正確に述べることができる。
③主要な循環器系疾患の診断に必要な検査法と、その評価や鑑別診断について、正確に述べることができる。
④主要な循環器系疾患の治療法について、正しく理解し説明できる。

C．修得すべき能力

①循環器系の正常構造と機能を、正しく理解できる。
②主要な循環器系疾患の病態生理や原因、症候について、正確に述べることができる。
③主要な循環器系疾患の診断に必要な検査法と、その評価や鑑別診断について、正確に述べることができる。
④主要な循環器系疾患の治療法について、正しく理解し説明できる。

D．学習内容

内科学教室のほか、放射線医学、解剖学、小児科学、心臓血管外科学の各教室が協力して担当する。
主としてコンピュータープレゼンターションを用いて講義する。
社会的状況を鑑みて、IT を用いた遠隔授業を行うこともある。

E．実習・課外授業

1．実習　　なし
2．課外授業　なし

F．準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで受講すること。

G．復習学習の内容

講義ノートを見直して内容を理解する。必ず記憶すべき事項としては、教科書となっているステップ上の記載は最低限記憶する。

H．成績評価の方法・基準

1．評価の方針
講義および自習によって身につけた循環器病学の知識を確認する。
2．試験の期日と実施方法
記述式またはマークシート方式
3．評価法
試験成績によって評価する。
4．判定基準

60％以上を合格とする。

Ⅰ．学習指導書

１．教科書（学生が所持しなければならないもの）

新臨床内科学　　医学書院　最新版

２．参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）

(R)病気がみえる vol2 循環器　医療情報科学研究所　最新版

(A)内科診断学　　南江堂　　最新版

(A)新臨床内科学　　医学書院　最新版

(A)ルービン病理学　西村書店　最新版

(A)図解心電図テキスト　原書第６版（Dale Dubin 著）文光堂

３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）

(A)Kasper DL, 他 編 Harrison’s Principles of Internal Medicine McGrow Hill

(A)Hurst 編　The Heart　McGrow Hill

(A)Braunwald 編　Heart Disease　Saunders

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度　3年　講義予定表

【循環器病学Ａ】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
5/10	火	4	循環器内科学総論・医師のキャリアパス	循環器疾患の基本知識を整理する。また、医師となった後のキャリアパスを紹介しながら、循環器内科学の魅力に迫る。	副島京子	配布資料
5/13	金	4	循環器症候学	循環器内科学の症状・身体所見：「胸痛」と「ショック」「呼吸困難」「浮腫」「失神」「動悸」につき講義する。身体所見から診断に至るアプローチを習得する。	小山幸平	配布資料
5/16	月	3	心臓血管外科学総論	「本邦の心臓血管手術の内容および手術数、疾患の概要、診断法、症状、手術適応、手術法、術後管理など」についての講義である。	窪田　博	なし
5/18	水	5	循環器画像診断の解剖学的基礎	循環器画像診断ならびに循環器疾患の病態を理解する上で必要とされる解剖学的構造について，医療画像と肉眼所見と対比しながら解説する。	井川 修	配布資料
5/25	水	5	心電図（１）	刺激伝導系の解剖、標準１２誘導心電図の原理、基本的な所見（電気軸、心室内伝導異常、心房拡大、心室肥大、ST-T異常など）の出現発生機序について解説する。さらに心電図による循環器疾患の診断法も説明する。	冨樫郁子	配布資料
5/27	金	1	心電図（２）	刺激伝導系の解剖、標準１２誘導心電図の原理、基本的な所見（電気軸、心室内伝導異常、心房拡大、心室肥大、ST-T異常など）の出現発生機序について解説する。さらに心電図による循環器疾患の診断法も説明する。	冨樫郁子	配布資料
6/6	月	3	心電図（３）	刺激伝導系の解剖、標準１２誘導心電図の原理、基本的な所見（電気軸、心室内伝導異常、心房拡大、心室肥大、ST-T異常など）の出現発生機序について解説する。さらに心電図による循環器疾患の診断法も説明する。	上田明子	配布資料
6/7	火	3	頻脈性不整脈	不整脈の中で頻脈性（上室性、心室性）不整脈について解説する。	松尾征一郎	配布資料

2022年度　3年　講義予定表

【循環器病学Ａ】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/8	水	5	徐脈性不整脈	不整脈の中で徐脈性不整脈について解説する。	佐藤俊明	配布資料
6/10	金	3	先天性心疾患（１）	小児の先天性心疾患のなかで、基本的な非チアノーゼ性疾患の病態、身体所見、検査、診断および治療について解説する。	保﨑　明	配布資料
6/13	月	3	不整脈　外科	WPW症候群、非虚血性心室頻拍（不整脈源性右室心筋症　ファロー四徴症根治術後など）の治療に加え、近年は心房粗細動の外科治療が飛躍的進歩を遂げた。その歴史と現在を学ぶ。	今井克彦	配布資料
6/15	水	3	冠動脈疾患　内科	虚血性心疾患の発生病態を理解し、臨床徴候と諸検査から鑑別診断を行いつつ確定診断に到る過程を理解し、治療の最新動向を知る。虚血性心疾患の病態解明と診断治療において医師としての問題解決能力を養う。	斉藤竜平	配布資料
6/15	水	4	冠動脈疾患　外科	狭心症、心筋梗塞を含めた冠動脈疾患における冠動脈バイパス手術を含めた外科的治療について、その選択、方法などを講義する。	二宮幹雄	配布資料
6/21	火	3	心エコー	心血管疾患の非侵襲的検査法として心臓超音波検査法は有用な検査である。心臓の解剖的異常の評価法から、各心血管疾患の特徴的所見について講義する。	坂田好美	配布資料
6/21	火	5	冠動脈疾患　救急対応・心臓突然死	心臓性急死（心臓突然死）をきたす疾患が理解できるよう、また、心臓突然死を予防するための方法（AED、蘇生術など）について解説する。	石黒晴久	なし
6/22	水	5	弁膜症（大動脈弁）	大動脈弁狭窄、大動脈弁閉鎖不全の原因、病態、合併症、診断法、重症度判定、治療法の選択につき、現在のガイドラインにのっとって説明する。	南島俊徳	配布資料
6/24	金	3	先天性心疾患（２）	小児の先天性心疾患のなかで、基本的なチアノーゼ性疾患の病態、身体所見、検査、診断および治療について解説する。	保﨑　明	配布資料

2022年度 3年 講義予定表

【循環器病学Ａ】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/28	火	3	高血圧・動脈硬化	血圧制御の機序と高血圧の定義、その合併症(動脈硬化)、そして治療法についての講義である。	星田京子	配布資料
7/1	金	5	弁膜症（僧帽弁）	僧帽弁狭窄、僧帽弁閉鎖不全の原因、病態、合併症、診断法、重症度判定、治療法の選択につき、現在のガイドラインにのっとって説明する。	南島俊徳	配布資料
7/4	月	2	弁膜症　外科	大動脈弁、僧帽弁、三尖弁などの弁膜症の多様な病態に対する手術適応、外科治療法の特徴・留意点に関して学ぶ。最新の低侵襲心臓手術や経カテーテル手術についても手術動画や実際の症例を交えて紹介する。	窪田　博	配布資料
7/5	火	3	心筋症	特発性心筋症の病態、身体所見、診断、治療、予後についての講義である。	坂田好美	配布資料

学　科　目：呼吸器内科学
科目責任者：石井晴之　教授
担当教員：教　　授　石井晴之
　　准 教 授　皿谷　健
　　その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
呼吸器の形態と機能を理解したうえで、呼吸器病学の全体像を把握する。さらに、主要な疾患について、その病態と診断および治療について系統的に理解する。呼吸器が vital organ であることを理解し、臨床医学の中での重要性を理解する。これらの学習を通して、良医となるための心構えを育成する。

B．到達目標
呼吸器疾患群の分類・原因・診断学につき理解し、その概要を身につける。実地医療の入り口として画像診断学、呼吸生理学、そのほかの検査を理解し、概要を述べることができる。診断のプロセスと技術について理解し、実際の症例に応用する準備を整える。治療法選択の科学的根拠と個々の疾患の治療について述べることができる。

C．修得すべき能力
1）呼吸器疾患群の分類・原因・診断学につき理解し説明することができる。
2）基本的な画像診断学、呼吸生理学、そのほかの検査を理解し、診断に役立てることができる。
3）主な疾患の治療法を理解し、その科学的根拠について述べることができる。

D．学習内容
指定教科書の内容は予習・復習のための参考である。授業で配布する資料・スライドなどの教材を用いながら呼吸器病学の系統的理解と習得を行う。

Ｅ．実習・課外授業

１．実習　　なし

２．課外授業　なし

Ｆ．準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書に目を通しておくこと。各１時間程度。

Ｇ．復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。各１時間程度。

Ｈ．成績評価の評価・基準

１．試験の方針

呼吸器疾患の病態、診断、治療の基礎知識の習得状況を確認する。

２．試験の期日と実施方法

学期末に行う。

３．評価法

試験結果。出席日数が所定の数に達しないものは受験できない。

４．判定基準

60 点以上。

５．試験内容のフィードバックは適宜行う。

Ｉ．学習指導書

１．教科書（学生が所持しなければならないもの）

呼吸器診療 ANDS BOOK（中外医学社）

２．参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）

(R)朝倉書店：内科学、中山書店：内科学書、

(R)新臨床内科学(医学書院)など

３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）

(A) Fraser: Diagnosis of diseases of the chest

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【呼吸器内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/8	木	3	解剖と生理・呼吸不全	呼吸器の解剖、つまり気道とガス交換器の構造について学ぶ。 正常時における呼吸器系の機能を、呼吸運動・換気、呼吸の調節機構など呼吸生理学の見地から理解する。さらに臨床の場で行われる呼吸機能検査、すなわちスパイロメトリ、フローボリューム曲線、肺コンプライアンスやクロージングボリュームについて概括を知る。	石井晴之	呼吸器診療ANDS BOOK p82-84, p180-208, p311-324,
9/13	火	3	呼吸器疾患の症候学	咳、喀痰、呼吸困難など呼吸器領域での主要な症候を、その病態生理とともに理解する。	皿谷 健	呼吸器診療ANDS BOOK p2-99
9/13	火	4	呼吸器疾患の身体所見	身体所見（視診、触診、打診、聴診）について学ぶ。	皿谷 健	呼吸器診療ANDS BOOK p2-99
9/21	水	3	画像診断	呼吸器疾患の診断を進める上で重要な画像診断の基本的な知識を整理する。また胸部単純写真および胸部CTにおける診断の基本的な考え方を説明する。その他の検査にもふれる。	石井晴之	呼吸器診療ANDS BOOK p131-172
9/22	木	2	気管支鏡検査	肺と気道の解剖、気管支鏡検査の適応、検査の流れ、検査の種類、合併症を症例を交えながら概説する。	麻生純平	呼吸器診療ANDS BOOK p365-370, p381-383. (初めて握る人のための気管支鏡入門マニュアル medical view社)
9/22	木	3	肺腫瘍・診断学	原発性肺癌の臨床症状、組織学的分類（非小細胞肺癌、小細胞肺癌）とそれぞれの特徴、診断、腫瘍随伴症候群、病期診断ついて概説する。	高田佐織	呼吸器診療ANDS BOOK p35, 47-50, p53-56, 61-67, p342-358, p411-420, p454-475
9/29	木	3	COPD・DPB	慢性閉塞性肺疾患COPDの概念、診断と治療について学ぶ。びまん性汎細気管支炎DPB、気管支拡張症などについても概説する。	和田裕雄	呼吸器診療ANDS BOOK p8-10, p21-24, p152, p311-336, p278-282

2022年度 3年 講義予定表

【呼吸器内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/6	木	2	肺腫瘍・治療学	肺癌の最新治療、病期分類に基づいた化学療法、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬、放射線照射、緩和治療を含めて学ぶ。	高田佐織	呼吸器診療ANDS BOOK p342-358, p411-420, p454-475
10/13	木	2	肺結核・非結核性抗酸菌症	肺抗酸菌症として重要な肺結核と非結核性抗酸菌症について呼吸器からみた視点で解説する。	皿谷　健	呼吸器診療ANDS BOOK, p262-281
10/19	水	5	胸膜疾患	気胸の概念、原因、診断と治療方針について解説する。つづいて胸膜疾患の基本と胸水の鑑別およびLightの基準について解説する。疾患では、感染性胸膜炎、癌性胸膜炎、結核性胸膜炎、胸膜中皮腫とアスベスト関連疾患、そして、縦隔疾患についても概説する。	田村仁樹	呼吸器診療ANDS BOOK, p16, p230, p294-299, p444-453, p488-490, p497-501
10/20	木	3	換気障害・睡眠時無呼吸	気管支閉鎖症、CCAM, 肺分画症の概説。睡眠時無呼吸の疫学、診断、予防、治療、合併症を理解する。横隔膜超音波の呼吸器疾患診断への有用性を理解する。	布川寛樹	呼吸器診療ANDS BOOK, p166-171, p173-178
10/27	木	5	気管支喘息・好酸球アレルギー	気管支喘息の病態として気道の慢性炎症と気道の狭窄や過敏性亢進が重要であること、その臨床症状、診断と治療について学ぶ。長期管理のための重症度分類や重症度に対応した治療内容を理解することが必要である。好酸球性肺炎の概念、分類さらに主要疾患について理解する。	中本啓太郎	呼吸器診療ANDS BOOK p21-24, p232-234, p311-316, p388, 391, p424-429
11/2	水	5	間質性肺疾患	肺線維症・間質性肺炎の病態、間質性肺炎の分類、主要疾患である原因不明の特発性間質性肺炎、さらに、二次性の間質性肺疾患として、医原性（薬剤性と放射線）、膠原病に伴うもの、塵肺症(珪肺症とアスベストによる肺障害)を述べる。	石井晴之	呼吸器診療ANDS BOOK p21-24, p283-292, p302-310, p434-441, p482-488
11/9	水	3	肉芽腫症肺疾患	サルコイドーシスの概念、臓器病変（肺、眼、心臓、神経、筋、骨、皮膚など）、診断、治療、画像所見などについて整理する。過敏性肺炎の概念、病態、症状、検査、治療に関して解説する。そのほかの全身性疾患をGoodpasture症候群、Langerhans細胞肉芽腫症、ウェゲナー肉芽腫症、アレルギー性肉芽腫性血管炎を中心に概説する。	石井晴之	呼吸器診療ANDS BOOK p381-383, p424-428, p302-310, p441-443

2022年度 3年 講義予定表

【呼吸器内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/17	木	3	市中肺炎・院内感染	市中肺炎、院内肺炎の定義、起炎菌、病態、治療、予防（インフルエンザ、肺炎球菌ワクチン含む）など症例を交えながら解説する。呼吸器ウイルスの関与も概説する。	本多紘二郎	呼吸器診療ANDS BOOK p236-261, p209-220
11/30	水	5	稀少先天性肺疾患	肺稀少疾患のうち、肺胞蛋白症、リンパ脈管筋腫症、肺胞微石症を解説する。近年の分子生物学的な技術の進歩で、病態の解明と、有効な治療の開発が進んでいる。稀少疾患の病態解明は、肺内の生理的機構の理解にも役立つ。	石田　学	呼吸器診療ANDS BOOK, 157-171

学　科　目：内分泌・代謝内科学
科目責任者：教室主任　安田和基　教授
担当教員：教　　授　安田和基（糖尿病・内分泌・代謝内科学）
講　　師　近藤琢磨（糖尿病・内分泌・代謝内科学）
学内講師　田中利明（糖尿病・内分泌・代謝内科学）
助　　教　炭谷由計（糖尿病・内分泌・代謝内科学）、
近藤　健（糖尿病・内分泌・代謝内科学）
非常勤講師　勝田秀紀（糖尿病・内分泌・代謝内科学）
その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
内分泌・代謝病学について、基礎医学を含む基本的知識とともに、臨床教育への準備のために、疾患に関する病態生理、診断、治療を統合的に理解することを目標とする。

B．到達目標
1）一般目標
臨床実習において、診療チームの一員としての役割を果たすことができるために、内分泌・代謝疾患を正しく理解するとともに、それらの診断や治療を的確に行うことができる臨床医となるために必須な基礎的、臨床的、予防医学的知識とその活用法を習得する。
2）行動目標
①内分泌・代謝系器官の形態と機能を説明できる。
②主要なホルモンの生理・薬理作用とその分泌調節機構を、正しく理解し説明できる。
③主要なホルモンの分泌過剰、あるいは分泌低下状態における臨床症状や一般検査所見について、正確に述べることができる。
④主要な内分泌疾患や糖尿病・代謝疾患、およびその合併症の診断に必要な検査法と、その結果の評価や鑑別診断について、正確に述べることができる。
⑤主要な内分泌疾患や糖尿病の治療法について、正しく理解し説明できる。
⑥医師としての社会的責任、医学知識と技能を有するとともに、日常的に医療者として実際の患者に接して、適切な医療面接と身

体診察を行なうための問題解決能力やコミュニケーション能力を発揮できる。

C．修得すべき能力

1．内分泌・代謝疾患の病態生理と自然歴を説明できる。
2．主要な内分泌検査（負荷試験など）の意義と適応を理解する。
3．糖尿病の急性・慢性合併症の病態を理解する。
4．糖尿病の食事療法や運動療法の基本を理解する。
5．内分泌・代謝疾患の薬物療法の原則と、個々の薬物の作用を理解する。
6．医学知識に基づいた科学的思考により、医師の社会的責任を理解するとともに、問題解決を図るリサーチマインドを有することができる。
7．医師としてのコミュニケーション能力を身につけるとともに、医学・医療と地域・社会との関わりについて実際に体験することができる。

D．学習内容

以下のテーマにつき、合計 25 回の系統的な講義・実習を行う。

講義・実習テーマ	回数
内分泌総論	1
視床下部下垂体疾患	5
甲状腺疾患	4
副腎疾患	5
副甲状腺疾患	3
糖尿病・代謝	6
内分泌・代謝と免疫	1

E．実習・課外授業

1．実習　　なし
2．課外授業　なし

F．準備学習の内容

教授要目のなかの「講義テーマ」や「講義内容」を事前に読み、教科書や参考書、さらには必要に応じて関連文献などを予め検索し、関連事項についての情報を十分に得る。指定教科書については、事前に講義の該当部分を予習したうえで講義に臨むことが望ましい。なお講義で話しきれない項目については、自主学習をきちんと行

うべきである。

G．復習学習の内容
講義で配布されたプリント（あるいは web で掲載したスライド資料）や教科書の関連ページを熟読して復習することが求められる。約１時間
なお、必要に応じて講師への質問をすることは、理解を深める上で重要であり歓迎する。

H．成績評価の方法・基準
１．評価の方針
内分泌・代謝病学についての基本的知識とともに、疾患に関する病態生理、診断、治療が正しく理解されていることを確認する。
２．試験の期日と実施方法
ユニットの終了後に記述式またはマークシート方式にて実施する。
３．評価法
基本的に試験成績により評価する。その他、学習態度と出席日数を一部参考にして総合的に評価する場合もありうる。
４．判定基準
総合評点 60％以上を合格とする。

Ｉ．学習指導書
１．教科書（学生が所持すべきもの）
・新臨床内科学　最新版　医学書院（指定教科書）
２．参考書Ａ（学生へ所持を勧めるもの）
(R)・内科学　最新版　朝倉書店
(R)・内科診断学　最新版　医学書院
(R)・門脇　孝、永井良三総編集　カラー版内科学　西村書
(R)・黒川　清、福井次矢監修　ハリソン内科学第５版（19th Edition 訳）メディカル・サイエンス・インターナショナル
３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）
(A)・日本糖尿病学会　編・著　糖尿病専門医研修ガイドブック改訂第８版　診断と治療社
(A)・日本内分泌学会 編集　内分泌代謝科専門医研修ガイドブック　診断と治療社
(R)・Kasper D, Fauci A, et al (editors). Harrison’s

Principles of Internal Medicine 最新版　McGraw-Hill

(R)・DeFronzo RA, Ferrannini E, et al (editors). International Textbook of Diabetes Mellitus 第4版 Wiley-Blackwell 2015

(A)・Melmed S, Koenig R, et al (editors). Williams Textbook of Endocrinology 第14版　Elsevier 2019

※(R):Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A):Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【内分泌・代謝内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/29	月	2	内分泌総論	ホルモンの種類や受容体、分泌調節機構など内分泌の基本知識を整理する。内分泌異常に伴う症状や一般検査異常を学ぶ。これから学ぶ内分泌疾患の紹介と診断に有用な検査や治療などを紹介する。	田中利明	834～840 配付資料あり
9/2	金	5	視床下部・下垂体疾患（1）	視床下部・下垂体の構造と機能。視床下部のホルモンの種類と機能を解説し、神経性やせ症や周期性嘔吐症を紹介する。下垂体前葉はホルモン分泌細胞の分化と種類について解説する。	田中利明	846～849 配付資料あり
9/5	月	3	視床下部・下垂体疾患（2）	下垂体腺腫の機能性・非機能性腺腫（ゴナドトロピン産生下垂体腺腫とナルセル腺腫）の病態とラトケ嚢胞などについて解説する。	田中利明	872～876 配付資料あり
9/12	月	1	視床下部・下垂体疾患（3）	下垂体前葉のホルモン異常について。先端巨大症、クッシング病のほか、高プロラクチン血症の鑑別と治療、TSH産生下垂体腺腫のほかTSH不適合分泌についても解説する。	田中利明	849～860 配付資料あり
9/12	月	2	甲状腺疾患（1）	甲状腺疾患の病態や臨床について学んで行くための基礎的知識として、甲状腺の構造やホルモンの合成、作用、調節系などについて解説を行う。	炭谷由計	877～896 配付資料あり
9/13	火	5	副腎疾患（1）	副腎の解剖学的特徴と副腎皮質・髄質の構造と機能について講義する。副腎皮質から分泌されるステロイドホルモンの合成、分泌機構、代謝経路、その作用についてそれぞれ最近の話題を交えて解説する。	勝田秀紀	912～934 配付資料あり
9/16	金	2	視床下部・下垂体疾患（4）	下垂体機能低下症の分類や原因を整理する。Sheehan症候群、GH分泌不全症、ACTH単独欠損症、視床下部・下垂体炎のほか、免疫チェックポイント阻害薬による機能低下についても解説する。	田中利明	860～867 配付資料あり
9/20	火	3	甲状腺疾患（2）	甲状腺機能亢進症の病態を成因別に整理し、疾患についてはBasedow病や亜急性甲状腺炎を中心に、症状、検査成績、治療法、さらには鑑別の要点について解説を行う。	炭谷由計	877～880 配付資料あり

2022年度 3年 講義予定表

【内分泌・代謝内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/20	火	4	副腎疾患（2）	Cushing症候群を原因別に分類し、病態、臨床症状（Cushing徴候など）、検査、負荷試験、画像診断を整理し、治療法を解説する。最近の話題としてPreclinical Cushing症候群、AIMAH、PPNADについても説明を加える。	勝田秀紀	912～934 配付資料あり
9/26	月	4	甲状腺疾患（3）	橋本病や下垂体前葉機能低下など甲状腺機能低下症の原因となる疾患について、その病態を整理するとともに、特徴的な症状や検査成績、および治療について解説を行う。	炭谷由計	880～890 960～961 配付資料あり
10/4	火	3	副腎疾患（3）	鉱質コルチコイド分泌異常症　RAA系の理解をもとに、原発性アルドステロン症の病態、診断、検査、画像、治療、予後について最近の話題と共に整理し、続発性アルドステロン症・偽性アルドステロン症についても解説する。	勝田秀紀	912～934 配付資料あり
10/7	金	3	視床下部・下垂体疾患（5）	下垂体後葉の構造と機能。バソプレシンの分泌と調節機構の理解。中枢性・腎性尿崩症について解説する。ADH不適合分泌を中心に塩類喪失症候群など低ナトリウム血症の鑑別についても知識を整理する。	田中利明	868～872 配付資料あり
10/18	火	3	副腎疾患（4）	カテコールアミンの合成、代謝経路を理解し、褐色細胞腫・傍神経節細胞腫の病態、臨床症状ならびに特徴、診断、検査成績、画像診断、その治療と予後について解説する。また悪性度の評価についての知見を述べる。	勝田秀紀	912～934 配付資料あり
10/25	火	3	副腎疾患（5）	原発性（アジソン病、先天性副腎皮質過形成）・二次性副腎不全の病態や特徴的な臨床症状を示し、その原因、検査所見、診断・治療法と予後に関する基本事項を概説する。さらに多腺性自己免疫症候群についても述べる。	勝田秀紀	912～934 配付資料あり
11/1	火	3	副甲状腺疾患（1）	CaとPの代謝と、その調節を行うホルモンであるPTH、ビタミンD、カルシトニンおよびPTHrpの作用・分泌調節について概説する。また高Ca血症および低Ca血症の症状と、原発性副甲状腺機能亢進症について概説する。	近藤　健	897～911 配付資料あり

2022年度　3年　講義予定表

【内分泌・代謝内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/2	水	3	糖尿病・代謝（１）	糖尿病の診断基準とその病型分類について解説するとともに、１型ならびに２型糖尿病やその他の糖尿病の特徴について整理する。特に１型糖尿病の亜型分類、糖尿病の診断に関わる検査などについて解説する。さらに脂質異常症など２型糖尿病と関連の深い生活習慣病について説明を加える。	安田和基	714～719 720～739 配付資料あり
11/7	月	2	糖尿病・代謝（２）	糖尿病の病態に重要な役割を果たすインスリン分泌不全とインスリン抵抗性について、その成因も含めて解説し、メタボリック・シンドロームの概念にも触れる。またすでに遺伝子異常が明らかにされている糖尿病について、それらの特徴も含めて紹介する。	安田和基	714～719 734～737 786～792 配付資料あり
11/8	火	3	副甲状腺疾患（２）	引き続き高Caおよび低Ca血症の原因疾患について概説する。類縁疾患としてMENについても解説を加える。	近藤　健	897～911 948～950 961～967 1146～1149 配付資料あり
11/10	木	5	糖尿病・代謝（３）	糖尿病の急性合併症（昏睡・意識障害）について、ケトアシドーシス性昏睡と高血糖性高浸透圧昏睡、を中心に特徴や病態生理とともに、治療法に関する解説を加える。さらに低血糖症（インスリノーマを含む）の診断とその鑑別点を明らかにする。具体的な症例を呈示し、診断へのアプローチを確認する。	安田和基	740～742 754～758 配付資料あり
11/14	月	3	糖尿病・代謝（４）	糖尿病の慢性合併症について、細小血管合併症、大血管障害を中心に、成因、病態、病期分類、診断、治療法に関する解説を加える。とくに領域横断的な病態についての臨床的な理解を深める。	安田和基	743～753 配付資料あり
11/14	月	4	甲状腺疾患（４）	甲状腺腫瘍の分類を説明し、各腫瘍の予後、特徴、鑑別診断、治療法について解説する。最後に、甲状腺疾患全般の復習のための演習を行う。	炭谷由計	891～896 配付資料あり

2022年度 3年 講義予定表

【内分泌・代謝内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/21	月	2	糖尿病・代謝（５）	糖尿病の治療の基本となる食事・運動療法について、その意義と実際の指導を解説する。経口血糖降下薬の種類やその作用機序、そして各々の薬剤の適応と臨床上の留意点について知識を整理する。	安田和基	720～739 配付資料あり
11/22	火	1	副甲状腺疾患（３）	代謝性骨疾患として骨粗鬆症、骨軟化症・くる病について概説をおこなう。	近藤　健	897～911 配付資料あり
11/24	木	5	糖尿病・代謝（６）	糖尿病の薬物療法のうち、最近登場した経口薬や、インスリン療法、GLP-1製剤などについて、その特徴を解説する。糖尿病・代謝疾患全体を俯瞰して、重要事項や補足事項を確認する。	安田和基	720～739 配付資料あり
11/29	火	5	内分泌・代謝と免疫	免疫異常による内分泌疾患、主として内分泌臓器に対する自己免疫的機序により生じるもの（自己免疫疾患としての内分泌疾患）を解説し、免疫機構と内分泌機能の関わりについても触れる。	近藤琢磨	948～950 配付資料あり

学　科　目：呼吸器・甲状腺・乳腺外科学
科目責任者：教室主任　安樂真樹　教授、井本　滋　教授
担当教員：教　　授　安樂真樹、井本　滋、平野浩一
特任教授　宮　敏路
准　教　授　田中良太
講　　師　麻賀創太、橘　啓盛
学内講師　伊坂泰嗣、須田一晴
助　　教　平田佳史、新井信晃
非常勤講師　藤田　敦

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
解剖学、生理学、病理学、画像診断学、内科学、腫瘍学などの知識、技術を結集した上に外科学は存在している。呼吸器、甲状腺、乳腺の疾患に関して、これらの各領域の知識をふまえて、外科学として総合的にその病態および最新の治療について理解することを目標とする。特に肺癌、甲状腺、乳癌に関しては、腫瘍学の考え方、治集学的な療戦略などについて学習する。また、臨床医学の中での外科学の重要性を認識するとともに、良医となるための心構えを持つことを教育する。

B．到達目標
1）各疾患の病因、診断につき理解し、病態について述べることができる。
2）知識としての病態の把握のほか、実地医療の入り口として画像診断学を習得し、述べることができる。
3）診断のプロセスと技術について理解し、治療法選択の科学的根拠と個々の疾患の治療について述べることができる。

C．修得すべき能力
1）肺・甲状腺・乳腺等の解剖と生理を理解する。
2）主要各疾患の病態生理と自然歴を理解する。
3）主要疾患に対する診断法を理解する。
4）各疾患に対する外科治療と集学的治療法について理解する。

D．学習内容
教科書、スライド、配付資料を使用して講義する。

E．実習・課外授業
1．実習　　なし
2．課外授業　なし

F．準備学習の内容
事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書に目を通しておくこと。

G．復習学習の内容
講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。

H．成績評価の方法・基準
1．試験の方針
呼吸器、甲状腺、乳腺、各疾患の病態、診断、治療の基礎知識の習得状況を確認する。
2．試験の期日と実施方法
学期末に行う。
3．評価法
定期試験の結果で評価する。出席日数が所定の数に達しないものは受験できない。
4．判定基準
60 点以上を合格とする。

I．学習指導書
1．教科書（学生が所持すべきもの）
標準外科学　第 16 版　医学書院
2．参考書A（学生へ所持を勧めるもの）
(R)STEP 内科　腎・呼吸器　海馬書房
3．参考書B（参考となるもの）
特になし
※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【呼吸器・甲状腺・乳腺外科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/2	金	3	呼吸器外科総論/解剖	呼吸器外科の対象領域は外傷、炎症性疾患、腫瘍、そして移植まで発展・拡張してきた。呼吸器外科に必要な解剖や検査を学習する。	安樂真樹	２９７- ３４４， ４３２- ４４５
9/12	月	3	肺癌：集学的治療	肺癌は組織と進行度によって治療戦略が異なる。多くの場合、手術、抗がん剤治療、放射線治療を組み合わせた集学的治療が必要である。その治療戦略を学習する。	宮　敏路	３２４- ３４０， １５４- １６２
9/15	木	3	乳癌の診断と手術療法	乳癌について、発生、疫学、生物学的特徴を述べ、その治療の基本戦略と手術療法について解説する。	麻賀創太	使用しない
9/16	金	3	転移性肺腫瘍	呼吸器外科領域では、他臓器原発の悪性腫瘍の肺転移（転移性肺腫瘍）もしばしば治療対象となる。その診断、適応、治療成績について学習する。	安樂真樹	３４０- ３４２， １３８- １６２
9/22	木	4	乳腺良性疾患と乳がん検診	代表的な乳腺疾患の症状と確定診断に至るまでのプロセスについて解説する。 第二次性徴、妊娠授乳期、閉経前後と変化する中で、良性乳腺疾患について乳癌との鑑別診断を含めて講義する。	伊坂泰嗣	使用しない
9/30	金	2	縦隔腫瘍	胸腺腫、悪性リンパ腫、縦隔内甲状腺腫、胚細胞腫、神経原生腫瘍、心膜嚢胞、気管支原生嚢胞など、縦隔腫瘍について疾患の特徴、治療法について学習する。	藤田　敦	４３２- ４４２
10/14	金	3	膿胸・乳び胸・縦隔炎	膿胸・乳び胸・縦隔炎の成因・治療法について学習する。	新井信晃	３０２- ３０４， ４４２
10/14	金	4	肺癌：診断、TNM分類、画像、病理	肺癌の画像、診断、病理、TNM分類などから肺癌の診断や治療戦略の考え方を学習する。	田中良太	３２４- ３４０
10/18	木	2	気胸	気胸および肺気腫は日常的に遭遇する疾患である。診断、治療について学習する。	平田佳史	３００- ３０２

2022年度 3年 講義予定表

【呼吸器・甲状腺・乳腺外科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/28	金	2	肺癌：手術	肺癌の手術適応・方法・術後合併症について学習する。	須田一晴	３２４-３４０
11/1	火	1	乳癌の薬物療法	乳癌の集学的治療法について解説する。	井本 滋	２７８-２９６
11/4	金	3	胸膜腫瘍・肺良性腫瘍	胸膜に発生する腫瘍と肺の良性腫瘍について学習する。	橘　啓盛	３０４-３０５，３２１-３２４
11/9	水	4	肺移植	国内において肺移植ができる施設は限定されている。当学では施行していないが、肺移植の適応の知識は必須である。適応とその実際について学習する。	安樂真樹	２０９-２１３
11/18	金	2	甲状腺・副甲状腺の外科治療	甲状腺周囲の解剖、各臓器の機能、内科で習得した重要な疾患について整理するそのうえで、術式・適応・合併症について学ぶ。	平野浩一	２６５-２７７
11/18	金	3	肺癌：画像と病理→コマ削除			

学　科　目：脳神経内科学・脳卒中医学
科目責任者：千葉厚郎　教授
担当教員：教　　授　千葉厚郎（脳神経内科学）
　　教　　授　平野照之（脳卒中医学）
　　教　　授　市川弥生子（脳神経内科学）
　　教　　授　山田　深（リハビリテーション医学）
　　講　　師　宮崎　泰（脳神経内科学）
　　非常勤講師　森まどか（脳神経内科学）

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
カリキュラムは前半の基礎・総論編と後半の疾患・各論編で構成している。
（1）基礎編・総論編：神経疾患の理解の上で最も重要な神経解剖について臨床神経学の見地から復習を行う。その上で症候学、補助診断、画像診断などの神経疾患診断学の基礎となる事項について学習し、病的状態をどのようにしてとらえるかを学ぶ。
（2）疾患・各論編：機能性疾患（けいれん、頭痛など）、中枢神経・末梢神経・自律神経・筋肉の血管障害・炎症・感染症・変性疾患・脱髄性疾患、内科的疾患における神経障害などの臨床を学習する。

B．到達目標
脳神経内科学・脳卒中医学では、まず中枢および末梢神経系の構造について学び、それぞれの基本的機能を理解する。その基礎知識に基づいて、脳・神経系の主な症候と病態生理、それを臨床的に捉えるための検査について理解する。脳神経系の各疾患について、系統毎に概念・病態・診断・治療について理解する。体系的な学習により、脳・神経系の構造と機能を理解し、神経症候から体系的な鑑別診断を組み立てられる能力を身につける。

［本講義で学ぶ疾患］
1．機能性疾患：けいれん・頭痛・めまい
2．脳・脊髄の血管障害

３．代謝性神経疾患
４．末梢神経・筋疾患
５．神経変性疾患
６．感染性神経疾患
７．脱髄性疾患
８．脊椎・脊髄障害

C．修得すべき能力
１．臨床に必要な脳神経系の構造と機能を説明することができる
２．神経症候とその病態生理を説明することができる。
３．神経症候とそれを捉えるための検査を説明することができる。
４．神経系の各疾患について、その概念・病態・診断・治療の基本事項について説明することができる。

D．学習内容
講義予定表に記載とする。

E．実習・課外授業
１．実習　　なし
２．課外授業　なし

F．準備学習の内容
事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を詳しく読み、以下に挙げる教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。各 30 分程度

G．復習学習の内容
講義で配布されたプリントおよび教科書の関連ページを熟読し、キーワードに留意しながら復習すること。神経解剖に基づく病態生理を理解し、自分で説明できるようにする。各１時間

H．成績評価の方法・基準
１．試験の方針
筆記試験（五者択一のマークシート方式と記述式の混合）を行う。
２．試験の期日と実施方法
年度末に実施する

３．評価法

定期試験の成績を学年の成績とする。60 点以上を合格とする。
本試験に不合格であれば再試を受けなければならない。

４．判定基準

定期試験　100％
定期試験を受験するには一定以上の講義出席率を必要とする。

Ⅰ．学習指導書

１．教科書（学生が所持しなければならないもの）

矢﨑義雄　新臨床内科学　第 10 版、医学書院

２．参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）

(R)病気がみえる vol.7 脳・神経　医療情報科学研究所　最新版
(R)神田隆　　医学生・研修医のための神経内科学　中外医学社
(R)上田敏　　標準リハビリテーション医学　第 3 版　医学書院
(A)田崎義昭　ベッドサイドの神経の診かた　南山堂

３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）

(A)水野美邦　神経内科ハンドブック　第 5 版　医学書院
(A)豊田一則　脳梗塞診療読本　第 3 版　中外医学社

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【神経内科学・脳卒中医学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/7	木	4	神経総論 科目の概要・診断手順	神経内科疾患のカテゴリーとそれぞれの発症パターン、診断の手がかりとなるエピソード、神経症候をとらえる上での着眼点・所見の整理法・解析のためのロジックについて解説する。	千葉厚郎	1268～1275 プリント使用
4/13	水	5	臨床に必要な神経解剖の基本	神経放射線学的検査の読影など臨床現場で必要とされる神経解剖の基本について概説する。特に中枢神経系と脳血管系に関して医学的記述が出来るよう神経解剖の基礎を解説する。	市川弥生子	プリント使用
4/15	金	3	神経系の症候学 （1）: 脳神経	１２対ある脳神経系の具体的な診察場面で見られる症候を学ぶ。生理的なものから病的な反応を含む。いくつかの脳神経にまたがる症候群についても解説する。	宮崎　泰	プリント使用
4/27	水	5	神経系の症候学 （2）：運動・感覚	神経内科の臨床で最も重要な症候学である運動や感覚について講義する。これら両系の正常機能と病的状態に関して臨床に即した解説を行う。	宮崎　泰	81～84, 1274, 1294～1295 プリント使用
4/28	木	4	神経系の症候学 （3）：大脳高次機能	失語症の基本的な病型分類とその特徴、脳における病巣の局在との対応、診断のプロセスについて解説する。失読症、失行・失認の様々な病型についても解説する。	千葉厚郎	プリント使用
5/10	火	5	神経系の補助検査 （1）：髄液・電気生理	神経系領域での各種補助検査について概説する。特に神経系臨床で頻用される髄液検査と電気生理検査（脳波・筋電図・各種誘発電位検査など）を中心に講義する。	宮崎　泰	1341～1342, 1441～1442 プリント使用
5/12	木	5	機能性疾患 （1）： てんかん	てんかんの疾患概念と各種発作型とその脳波上の特徴をビデオによる実際の発作の様子を示しながら解説する。原因ごとの好発年齢、薬物療法、妊娠時の対応についても解説する。	千葉厚郎	1481～1483, 1492 プリント使用
5/23	月	4	神経変性疾患 （1）: 認知症性疾患	認知機能とその障害である認知症（痴呆性疾患）に関して概説する。特にアルツハイマー病について詳細に講義するが、他にもピック病やプリオン病など多彩な疾患について解説する。	宮崎　泰	90, 1361～1389 プリント使用

2022年度 3年 講義予定表

【神経内科学・脳卒中医学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
5/23	月	5	神経変性疾患（2）：不随意運動・PD	不随意運動は一見わけがわからないように見える。しかし、一定の特徴があり、それに沿ってみていくと容易にわかるようになる。重要な疾患について説明する。	市川弥生子	84-85, 1389-1405 プリント使用
5/30	月	3	脳血管障害（1）	3大病型であるラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症、それぞれの病態の違いを示し、一過性脳虚血発作についても解説する。さらにNIHSS評価など救急対応の実際を紹介する。	平野照之	1275～1278, 1286～1305, プリント使用
6/1	水	5	神経変性疾患（3）：SCD・MND	脊髄小脳変性症の分類と各病型の症状・画像の特徴を解説する。筋萎縮性側索硬化症を中核とする運動ニューロン疾患について解説する。	市川弥生子	1405-1416プリント使用
6/7	火	5	脳血管障害（2）	脳血管障害の危険因子とその管理方法について解説する。最新の脳卒中治療ガイドラインに準拠して、病型ごとの治療指針（急性期・慢性期）を示す。	平野照之	1286～1305 プリント使用
6/8	水	4	機能性疾患（2）：頭痛・めまい・自律神経障害	臨床の実際で見られることの多い頭痛とめまいについて、そのメカニズムおよび鑑別診断を考えていく。その他失神およびその原因となりうる起立性低血圧などの自律神経障害の原因と対策にもふれる。	宮崎　泰	8～10, 72～76, 1457, 1483～1490, 1494～1495 プリント使用
6/14	火	4	神経系の補助検査（2）：画像・生検	臨床で遭遇する放射線検査などの画像検査を取り上げる。このなかには筋肉のCTや頭蓋・脊椎のX線検査などを含む。また神経や筋の生検の適応と神経・筋病理の実際にも触れる。	宮崎　泰	1277 プリント使用
6/17	金	4	脳血管障害（3）	無症候性脳血管障害、脳小血管病、遺伝性脳血管障害、および全身性疾患と脳血管障害の関連について様々な観点から解説を加える。	平野照之	1280～1282, 1305～1317 プリント使用

2022年度 3年 講義予定表

【神経内科学・脳卒中医学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/17	金	5	神経筋疾患（1）：末梢神経障害	総論として末梢神経の解剖に即した障害パターンと臨床症候・電気生理学所見の特徴を解説し、各論として遺伝、アミロイド、自己免疫などによるニューロパチーについて解説する。	千葉厚郎	1440～1459 プリント使用
6/21	火	4	脳血管障害（4）：リハビリテーション	脳卒中のリハで問題となる障害として画像と対比して片麻痺、感覚障害、運動失調、嚥下障害を取り上げ、歩行障害やADL、摂食嚥下のリハについて概説する。	山田　深	「標準リハビリテーション3版（医学書院）」304～323, 257～263および配布プリント資料
6/27	月	4	脱髄性疾患：多発性硬化症と脱髄性疾患	自己免疫性中枢性脱髄疾患である多発性硬化症・急性散在脳脊髄炎について詳しく解説する。代謝異常による各種白質脳症、橋中心髄鞘崩壊についても解説する。	千葉厚郎	1354～1361 プリント使用
6/28	火	1	神経感染症（1）：髄膜炎	ウイルス性髄膜炎・細菌性髄膜炎・結核性髄膜炎・真菌性髄膜炎について、各病型の臨床経過・髄液の特徴、背景因子、年齢と好発起炎菌、治療の進め方、合併症について解説する。	千葉厚郎	1331～1354 プリント使用
6/28	火	2	神経感染症（2）：脳炎・その他	ヘルペスウイルス感染症、中でも単純ヘルペス脳炎について詳しく解説し、HTLV-1関連脊髄症、HIV感染関連神経障害、神経梅毒、プリオン病、などについても解説する。	千葉厚郎	1331～1354 プリント使用
6/29	水	3	中毒・代謝・栄養疾患（1）	代謝異常をきたしている物質グループごとに分けて、そこに含まれる疾患とその共通する特徴を解説する。第1回目は、アミノ酸、脂質・ムコ多糖・オリゴ糖の代謝異常症について解説する。	市川弥生子	1417-1433 プリント使用
6/29	水	4	中毒・代謝・栄養疾患（2）	第2回目は、金属・核酸・糖質の代謝異常症、ミトコンドリア異常症、アルコールによる神経障害を含む中毒・栄養障害による神経障害について解説する。	市川弥生子	1433-1440, 1867 プリント使用

2022年度 3年 講義予定表

【神経内科学・脳卒中医学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
6/29	水	5	神経筋疾患（2）：筋疾患	筋疾患は近年基礎・治療研究でめざましい進歩が見られる。筋疾患の診察・検査法、代表的な筋疾患（筋ジストロフィー/ミオパチ、筋炎、各種のミオパチー）と神経・筋接合部疾患について、必要な知識と研究の進歩を概説する。	森まどか	1459～1480 プリント使用
7/5	火	4	脊髄・脊椎	脊髄疾患の診断に必要な高位診断や横位診断などの基本的事項、病変の局在により異なる症候を解説する。脊髄血管障害、炎症性疾患、感染症、腫瘍、放射線障害などを解説する。	宮崎　泰	1319～1323 プリント使用

学　科　目：血液内科学
科目責任者：教　授　高山信之（血液内科学）
担当教員：教　授　高山信之（血液内科学）
　　教　授　大西宏明（臨床検査医学）
　　准教授　佐藤範英（血液内科学）

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
血液学全般について、病態生理の基礎から、臨床診断学、治療学について幅広い知識を習得し、更にそれを応用して問題解決ができる能力を身につける。

B．到達目標
血液細胞の形態と機能についてまず学び、生命の恒常性維持に血液細胞がいかにかかわっているかを理解する。血液細胞は顕微鏡で容易に観察できるので、その形態に慣れ親しむことも重要である。次にその機能の破綻により、どのような疾患を生じるのかを学ぶ。血液疾患は基本的に全身疾患であるので、内科全体を視野に入れて学習することが重要である。また、疾患の正しい理解のためには、生化学、分子生物学、病理学、臨床検査医学的知識も必要となるので、適宜、これらの知識を補いながら理解を深める。

C．修得すべき能力
1）造血の基礎について説明できる。
2）血液内科で行われる主な検査法の原理と方法を説明できる。
3）血液・リンパ系の異常を認める患者の正しい鑑別診断の方法を説明できる。
4）赤血球・白血球の良性疾患の病態生理と診断・治療について説明できる。
5）止血・血栓の病態生理とその異常によって起こる疾患の診断・治療を説明できる。
6）造血器腫瘍の診断法について説明できる。
7）造血器腫瘍で行われる化学療法の原理と方法について説明できる。
8）骨髄系腫瘍の診断と治療について説明できる。

9）リンパ系腫瘍の診断と治療について説明できる。
10）造血幹細胞移植の原理と方法について説明できる。

D．学習内容
1）血液学の基礎　2 コマ　担当：高山信之
2）赤血球疾患　3 コマ　担当：高山信之
3）止血・血栓の疾患　3 コマ　担当：佐藤範英
4）血液疾患の診断における臨床検査　1 コマ　担当：大西宏明
5）造血器腫瘍　10 コマ　担当：高山信之
6）造血幹細胞移植 1 コマ　担当：高山信之

E．実習・課外授業
1．実習　　なし
2．課外授業　なし

F．準備学習の内容
事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書の関連する項目を通読しておくこと。各 1 時間程度。

G．復習学習の内容
講義で配布されたプリントおよび教科書の関連ページを熟読して復習すること。各 1 時間程度。プリントはM５の BSL でも使用するので、試験終了後も保存しておくこと。

H．成績評価の方法・基準
1．試験の方針
講義内容を中心とするが、それを理解することによって容易に判断できる関連した事項ならびに、直接講義に含まれない事項についても教科書的なものは含む。
2．試験の期日と実施方法
筆答（五択問題と再生問題が半々）
3．評価法
100 点満点
4．判定基準
60 点以上を合格とする。

Ⅰ．学習指導書

１．教科書（学生が所持しなければならないもの）

新臨床内科学

内科学、小児科学、病理学、薬理学の標準的な教科書。最新版。あるいは系統講義で指定のもの。

２．参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）

(R)神田善伸著：血液病レジデントマニュアル　医学書院

(R)日本血液学会編：血液専門医テキスト　南江堂

(R)木崎昌弘他編：WHO 分類第４版による白血病・リンパ系腫瘍の病態学　中外医学社

３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）

(R)三輪史郎他編：血液細胞アトラス　文光堂

(R)最新・悪性リンパ腫アトラス　文光堂

(A)浅野茂隆他編：三輪血液病学　文光堂

(A)金倉譲他編：EBM 血液疾患の治療　中外医学社

(A)Williams WJ 編：Hematology.　McGrow Hill

Wintrobe MM 編：Clinical Hematology.　Lea & Febiger

(A)WHO Classification of Tumours of Haematopoietic and Lymphoid Tissues　IARC

いずれも最新版。

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【血液内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/1	木	2	血液学入門	末梢血に存在する血液細胞・造血と発生・造血幹細胞・造血因子・骨髄における血液細胞の分化・骨髄検査の方法	高山信之	９６４－９６７
9/2	金	4	血球の機能	白血球（好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球）の機能・赤血球の機能・ヘモグロビン・網赤血球・貧血総論	高山信之	９６４－９６７
9/6	火	2	止血・血栓の疾患（１）	正常の止血機構・血小板と止血・凝固因子と止血・線溶・血小板機能検査・凝固関連検査・von Willebrand因子	佐藤範英	１０１４－１０５４
9/8	木	2	鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血・慢性炎症に伴う貧血・鉄過剰症	赤血球恒数・鉄欠乏性貧血の診断と治療・巨赤芽球性貧血の診断と治療・鉄過剰症	高山信之	９７３－９７８
9/9	金	4	溶血性貧血	溶血性貧血総論・溶血性貧血の分類・遺伝性球状赤血球症・サラセミア・Coombs試験・自己免疫性溶血性貧血・寒冷凝集素症・発作性寒冷血色素尿症	高山信之	９９０－１００２
9/15	木	2	再生不良性貧血・その他の貧血	再生不良性貧血の病態と治療・赤芽球癆・発作性夜間血色素尿症の診断と治療・内分泌疾患に伴う貧血	高山信之	９７８－９９０
9/16	金	5	造血器腫瘍総論	血液疾患の診断および治療方針決定に重要な各種検査について概説する。特に、血清学的検査、白血球表面抗原検査、遺伝子検査について詳説する。	高山信之	１０５５－１０６８
9/20	火	1	止血・血栓の疾患（２）	血栓症・抗血小板療法・抗凝固療法・von Willebrand病・後天性血友病・ヘパリン起因性血小板減少症	佐藤範英	１０１４－１０５４
9/27	火	2	止血・血栓の疾患（３）	特発性血小板減少性紫斑病・血栓性血小板減少性紫斑病・ADAMTS13・播種性血管内凝固症候群・偽性血小板減少症	佐藤範英	１０１４－１０５４

2022年度 3年 講義予定表

【血液内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/30	金	4	急性白血病（１）	急性白血病の臨床症状と検査所見・FAB分類・WHO分類・骨髄性とリンパ性の鑑別・急性白血病細分類ごとの形態と臨床的特徴	高山信之	１０７１－１０７７
10/4	火	1	血液疾患における臨床検査	血液疾患の診断および治療方針決定に重要な各種検査について概説する。特に、血清学的検査、白血球表面抗原検査、遺伝子検査について詳説する。	大西宏明	１０５５－１０６８
10/6	木	3	急性白血病（２）	急性白血病の治療の概略・寛解導入療法と地固め療法・急性前骨髄球性白血病に対する分化誘導療法・白血病と造血幹細胞移植	高山信之	１０７１－１０７７
10/7	金	4	慢性骨髄性白血病	慢性骨髄性白血病の検査所見と臨床病態・Philadelphia染色体・BCR/ABL遺伝子の構造と機能・慢性骨髄性白血病の治療・チロシンキナーゼ阻害薬	高山信之	１０７８－１０８０
10/20	木	2	骨髄増殖性腫瘍・骨髄異形成症候群	骨髄増殖性腫瘍の概念・原発性骨髄線維症・真性赤血球増加症・本態性血小板血症・JAK2遺伝子の異常・骨髄異形成症候群の概念・骨髄異形成症候群の分類と治療	高山信之	１０７７－１０７８，１０８８－１０９４
10/21	金	4	悪性リンパ腫総論・Hodgkinリンパ腫	悪性リンパ腫の診断・FDG-PET・病期分類・Hodgkinリンパ腫の病理・Hodgkinリンパ腫の臨床的特徴と治療	高山信之	１０９４－１０９９
10/21	金	5	非Hodgkinリンパ腫（１）	非Hodgkinリンパ腫分類の歴史的変遷・WHO分類・各リンパ腫細分類の臨床病理学的特徴・濾胞性リンパ腫・びまん性大細胞型リンパ腫など	高山信之	１０９４－１０９９
10/28	金	4	非Hodgkinリンパ腫（２）	臨床経過からのリンパ腫の分類・悪性リンパ腫の予後因子・びまん性大細胞型リンパ腫の治療・濾胞性リンパ腫の治療・自家造血幹細胞移植	高山信之	１０９４－１０９９

2022年度 3年 講義予定表

【血液内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/18	金	4	多発性骨髄腫	M蛋白・免疫電気泳動・多発性骨髄腫の分類・多発性骨髄腫の病態・多発性骨髄腫の治療・原発性マクログロブリン血症・アミロイドーシス	高山信之	１１０４－１１１６
11/18	金	5	その他の血液疾患	成人T細胞白血病・慢性リンパ性白血病・前リンパ性白血病・有毛細胞白血病・血球貪食症候群・Castleman病・壊死性リンパ節炎・好酸球増加症・伝染性単核球症	高山信之	１１０４－１１１６
12/16	金	4	造血幹細胞移植	造血幹細胞移植の分類・主要組織適合抗原・造血幹細胞の採取・移植前処置・急性移植片対宿主病・慢性移植片対宿主病・骨髄非破壊的前処置による移植	高山信之	１０６８－１０７０

学　科　目：腎臓内科学
科目責任者：要　伸也　教授
担 当 教 員：教　　授　要　伸也（腎臓・リウマチ膠原病内科学、以下同）
　　客員教授　有村義宏
　　講　　師　福岡利仁、川上貴久
　　助　　教　池谷紀子、川嶋聡子

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
本領域の医学知識を兼ね備えた医師を育成するため、以下の基本方針にそった卒前教育を行う。
1．腎臓に関する基礎的な治療を知識の修得
2．疾患についての学習、境界領域との関連を探求出来る能力の養成
3．医の倫理、医師の使命の自覚を培うこと

B．到達目標
腎臓が体液の恒常性維持を司る vital organ であることを理解し、その破綻である腎不全や水電解質異常、および腎臓に障害をきたす様々な疾患の特徴と基本的な病態を理解する。

C．修得すべき能力
1．腎臓の構造を理解し、それぞれの基本的機能を述べることができる。
2．腎臓疾患の症候と病態について説明することができる。
3．内科医師として修得すべき基本的な各腎疾患について、その概念、病態、検査法、治療法などを系統立てて理解し、具体的に述べることができる。

D．学習内容
腎臓・リウマチ膠原病内科学教室が担当する。

E．実習・課外授業
なし

Ｆ．準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。

Ｇ．復習学習の内容

講義で配布されたプリントや教科書の関連ページを熟読して復習すること。

Ｈ．成績評価の方法・基準

１．試験の方針

腎臓に関する基礎知識、腎疾患の病態、診断、治療に関して習得状況を確認する。

２．試験の期日と実施方法

学期末に筆記試験（五択及び再生形式）を実施する。

３．評価法

定期試験の結果をもって学年の成績とする。ただし、出席日数が所定の数に達しないものは受験できない。本試験で不合格の者に対して再試験を実施する。

４．判定基準

本試験、再試験ともに 100 点満点で 60 点以上を合格とする。

Ｉ．学習指導書

１．教科書（学生が所持すべきもの）

新臨床内科学　第 10 版　矢崎義雄監修　医学書院

２．参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）：下記のいずれか。

（R）杉本恒明、他編　内科学　朝倉書店

（A）福井次矢　他日本語版監修、ハリソン内科学　最新版

（R）小川　聡編　内科学書　中山書店

３．参考書Ｂ（参考となるもの）

（A）Comprehensive Clinical Nephrology. Johnson RJ, 6th ed, Elvsevier Saunders.

（A）腎生検病理アトラス　日本腎臓学会編　東京医学社

（A）水・電解質と酸塩基平衡：Step by step で考える　黒川清編、南江堂

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【腎臓内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/29	月	1	腎臓内科学総論 ～構造と機能～	腎の構造と機能は密接に連関している。疾患を理解するにあたり、体液の恒常性維持という腎臓の機能がどのように行われ、調節されているかを復習し、その破綻によって生ずる腎臓病の本質を理解する。	要　伸也	1118-1126, 1130-1132
9/5	月	1	腎疾患の検査 （1） 腎機能検査、画像検査など	腎機能検査の基本である糸球体濾過量の評価法（クリアランス法，推算GFR、Cr、シスタチンCなどの血液検査）とそれぞれの特長について学ぶ。また、腎疾患の診療で用いる他の機能検査（腎血流量検査、レノグレムなど）、画像検査（超音波検査，CTなど）について学ぶ。	要　伸也	1133-1135
9/6	火	4	主要症候と検査 （1）尿検査	本授業では、腎疾患の特徴、および主要症候のうちとくに多尿・乏尿、尿検査の異常について概説する。とくに、タンパク尿の定性、定量法、尿潜血検査、沈渣の鏡検法を学び、各種疾患の鑑別法を知る。FEやクレアチニン換算の意味を理解する。	池谷紀子	59-61, 1125-1130
9/8	木	4	糸球体疾患総論	糸球体疾患の症状・徴候や検査所見に触れた後で、臨床病型／組織病型、腎炎／ネフローゼ(症候群)という鑑別に必要な概念を説明する。腎病理の読み方と糸球体疾患の治療の総論についても触れる。	川上貴久	1177-1181
9/9	金	2	高血圧（腎血管性を含む）・腎循環障害	本態性以外の二次性高血圧の中に腎性高血圧（腎実質性と腎血管性）がある。高血圧の成因には腎臓が深く関与し、逆に高血圧は腎障害（腎硬化症）を引き起こす。その他、虚血性腎症、腎梗塞、微小血管障害であるTMA（HUS/TTP）、コレステロール塞栓症にも触れる。	要　伸也	407-416, 1195-1202
9/12	月	4	電解質異常（1） K代謝異常、およびBartter症候群、Gitelman症候群、Liddle症候群について	カリウムの調節メカニズムと低K血症、高K血症の原因およびその鑑別、治療法につき解説する。尿細管異常のうちBartter症候群、Gittelman症候群、Liddle症候群の原因と病態についても触れる。	要　伸也	1138-1140, 1232-1234
9/12	月	5	電解質異常（2） 酸・塩基異常	酸・塩基の調節メカニズムを復習したあと、代謝性アシドーシス、アルカローシスの意味、原因と鑑別、さらに血液ガスの読み方の基本について解説する。尿細管性アシドーシスの３つの病型（１型、２型、４型）の違いを理解する。	要　伸也	1141-1146, 1230-1232

2022年度 3年 講義予定表

【腎臓内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/26	月	1	電解質異常（３） 水・Ｎａ代謝異常	体液の組成とその調節メカニズムの破綻により電解質異常が生ずる。ここではまず、水・ナトリウム・浸透圧の異常（とくに低Na血症、高Na血症）を来たす疾患の鑑別、治療法について解説する。	要　伸也	1135-1138
9/26	月	5	電解質異常（４） Ca,P代謝異常と尿細管機能異常	Ca、Pの調節メカニズムについて概説し、その異常によって起こる疾患とその鑑別法につき解説する。最後に、電解質異常を来たす近位および遠位尿細管疾患、利尿薬の作用点についてまとめる。	要　伸也	1146-1151, 1234-1235
10/20	木	4	一次性糸球体疾患各論（１）	一次性糸球体疾患である、微小変化、巣状分節性糸球体硬化症、膜性腎症、IgA腎症、膜性増殖性糸球体腎炎、溶連菌感染後糸球体腎炎の6疾患について講義する。臨床所見と病理所見からこれらの疾患が鑑別できるようになることが目標である。二次性の原因、治療についても解説する。	川上貴久	1181-1192
10/20	木	5	一次性糸球体疾患各論（２）	同上	川上貴久	同上
10/26	水	4	二次性腎障害 （１）　膠原病、血管炎と腎	全身性エリテマトーデス、強皮症などの膠原病、およびANCA関連血管炎、抗糸球体基底膜病、IgA血管炎などの全身性血管炎に伴う腎障害について解説する。	有村義宏	1203-1214
10/27	木	4	尿細管間質性腎炎、薬剤性腎障害、 妊娠高血圧症候群	尿細管間質性腎炎は、その原因から薬剤性、自己免疫性、感染性に大別される．その臨床所見、病理所見、治療について講義する。薬剤性腎障害全般にも触れ、妊娠によって起こる高血圧・腎障害である妊娠高血圧症候群についても解説する。	川上貴久	1128-1231, 1257-1263, 1255-1257
10/28	金	1	急性腎不全・ＡＫＩ	急速にGFRが低下する急性腎不全はその機序から、腎前性、腎性、腎後性に分類される。それぞれの原因となる病態および鑑別の方法、対処法について学ぶ。AKIの概念も理解する。	福岡利仁	1158-1163

2022年度 3年 講義予定表

【腎臓内科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/25	金	4	二次性腎障害（２） 代謝性疾患など	糖尿病性腎症のほか、痛風腎（尿酸腎症）、遺伝性腎炎（アルポート症候群、菲薄基底膜病）、Ｆａｂｒｙ病、アミロイド腎症、ミエローマに伴う腎症（骨髄腫腎など）、肝炎ウイルス・HIV, MRSAなどの感染症やクリオグロブリン血症に伴う腎障害について学ぶ。	川嶋聡子	1214～1228,745～748
12/5	月	2	慢性腎不全・ＣＫＤ（１）	慢性腎不全、CKDは年余にわたってGFRが徐々に低下する疾患群であり、最終的には尿毒症に至る。本授業では、新しいCKD重症度分類、CKDの進行機序と腎保護療法の基本、心腎連関、CKD-MBDの病態について学ぶ。	福岡利仁	1151-1157
12/5	月	3	慢性腎不全・ＣＫＤ（２）	慢性腎不全の原因疾患、症状（尿毒症を含む）、検査所見、合併症と具体的な治療法、透析の適応について学ぶ。	福岡利仁	同上
12/9	金	1	透析と血液浄化療法	腎代替療法としての血液透析、腹膜透析の原理・方法と２つの方法の違い、それぞれの利点を解説し、アミロイドーシスなどの主な透析合併症についてまとめる。腎移植や透析以外の血液浄化療法（アフェレーシスなど）にも触れる。	福岡利仁	1163-1177

学　科　目：循環器病学B
科目責任者：副島京子　教授
担当教員：教　　授　河野隆志、窪田　博、細井　温
　　准　教　授　遠藤英仁
　　その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
循環器病学疾患の理解と、病態の把握。いずれも解剖学的知識を基礎に、小児科・内科・外科的・放射線科的な診断から治療法への流れを系統的に教育し、基礎・臨床医学の総合的知識を習得する。
また、疾患を学ぶだけでなく、良医となるための心構えを持つことを教育する。

B．到達目標
1）心臓・血管を主にした循環器の解剖、生理・機能、また各種疾患の病態、診断と鑑別、治療さらに予防についてその基本的知識およびその応用を習得する。
2）循環器系疾患を正しく理解するとともに、それらの診断や治療を的確に行うことができる臨床医となるため、必須な基礎知識とその活用法を習得する。

C．修得すべき能力
①循環器系の正常構造と機能を、正しく理解できる。
②主要な循環器系疾患の病態生理や原因、症候について、正確に述べることができる。
③主要な循環器系疾患の診断に必要な検査法と、その評価や鑑別診断について、正確に述べることができる。
④主要な循環器系疾患の治療法について、正しく理解し説明できる。

D．学習内容
内科学教室のほか、放射線医学、小児科学、心臓血管外科学の各教室が協力して担当する。

主としてコンピュータープレゼンテーションを用いて講義する。
社会的状況を鑑みて、IT を用いた遠隔授業を行うこともある。
学生参加型臨床講義を１コマ行う。事前に配布される資料を予習し講義に臨む。与えられた課題を、学生自身で解決しながら進める。

E．実習・課外授業
１．実習　　なし
２．課外授業　なし

F．準備学習の内容
事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで受講すること。

G．復習学習の内容
講義ノートを見直して内容を理解する。必ず記憶すべき事項としては、教科書となっているステップ上の記載は最低限記憶する。

H．成績評価の方法・基準
１．評価の方針
講義および自習によって身につけた循環器病学の知識を確認する。
２．試験の期日と実施方法
記述式またはマークシート方式
３．評価法
試験成績によって評価する。
４．判定基準
60%以上を合格とする。

I．学習指導書
１．教科書（学生が所持しなければならないもの）
新臨床内科学　医学書院　最新版
２．参考書A（学生の所持をすすめるもの）
(R)病気がみえる vol2 循環器　医療情報科学研究所　最新版
(A)内科診断学　南江堂　最新版
(A)ルービン病理学　西村書店　最新版
(A)図解心電図テキスト　原書第６版（Dale Dubin 著）文光堂

３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）

(A)Kasper DL, 他編 Harrison’s Principles of Internal Medicine McGrow Hill

(A)Hurst 編 The Heart McGrow Hill

(A)Braunwald 編 Heart Disease Saunder

※(R)：Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度　3年　講義予定表

【循環器病学Ｂ】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/30	火	3	心電図演習（１）	M３前期で習得した心電図の基本的知識を活用して実践的な心電図の読み方を解説する。	友野泰秀	資料配布
9/6	火	3	心電図演習（２）	M３前期で習得した心電図の基本的知識を活用して実践的な心電図の読み方を解説する。	友野泰秀	資料配布
9/14	水	4	心不全の診断	心不全(急性心不全と慢性心不全）の診断に関して学ぶ。	河野隆志	配布資料
9/27	火	1	心不全の治療	心不全の内科的治療を、急性期・慢性期に分けて解説する。	河野隆志	配布資料
10/3	月	3	心不全　外科	心臓血管外科領域では欠かすことのできない手技である体外循環法（特に人工心肺）の原理・実際の使用方法ついて概説する。また、心筋症の外科治療法、特に重症心不全に対する外科治療法としての補助人工心臓、心臓移植に関して概説する。	峯岸祥人	配布資料
10/4	火	2	感染性心内膜炎・心外膜炎・心筋炎	急性心膜炎・慢性収縮性心膜炎および急性心筋炎の原因、症状、身体所見、病態、診断法、治療法、予後について講義する。身体所見・検査所見より診断ができ、治療法の選択ができることを目標とする。	合田あゆみ	配布資料
10/12	水	3	感染性心内膜炎の外科的治療 心臓腫瘍	感染性心内膜炎の手術適応基準とhigh risk症例に対する手術適応基準、各弁位における手術術式の選択と方法。人工弁の種類と選択。手術成績。心臓腫瘍の発生率と種類。粘液腫に対する手術方法と成績。	遠藤英仁	配布資料
10/14	金	5	心電図演習（３）	M３前期で習得した心電図の基本的知識を活用して実践的な心電図の読み方を解説する。	星田京子	資料配布
10/17	月	4	循環器の再生医学	「自分の細胞を用いて自分の臓器を作る」という点に於いて、今回循環器疾患を中心に再生医療の基礎研究から臨床応用までの超最先端治療について講義する。	岩畔英樹	配布資料

2022年度　3年　講義予定表

【循環器病学Ｂ】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/26	水	5	循環器疾患の核医学	心筋血流イメージングの代表であるTl心筋シンチグラフィと、心機能評価法のTc心プールシンチグラフィについて触れた講義である。	谷合誠一	配布資料
10/28	金	3	大動脈解離・診断と内科的治療	大動脈解離（解離性大動脈瘤）の診断と内科的治療について詳説する。発生病態を理解し、急性期の鑑別診断と急性期から慢性期にいたる治療を自らのものとして獲得する。	竹内真介	配布資料
11/1	火	2	学生参加型講義心電図	実際の症例をベースに学生参加型の講義を行う。学生自らが考えながら進めていく授業を予定している。	松尾征一郎	配布資料
11/7	月	1	大動脈解離、真性大動脈瘤の外科的治療	真性大動脈瘤の疫学、分類。手術適応基準および部位別手術方法、部位別人工心肺確立方法および補助循環方法、手術成績と近年の新しい手術方法についての講義である。	峯岸祥人	配布資料
11/9	水	5	腹部大動脈瘤・末梢動脈瘤の外科的治療	腹部大動脈瘤については、待機的手術の手術適応、生命予後、破裂のリスクと破裂した場合の死亡率。開腹手術の具体的方法と合併症。ステントグラフトの適応と具体的手技、合併症。	伊佐治寿彦	配布資料
11/14	月	5	静脈瘤・静脈血栓症（血栓性静脈炎）、肺動脈塞栓症の外科的治療	静脈疾患は日常診療でも遭遇する頻度の高い疾患である。講義では、弁不全による逆流に起因する下肢静脈瘤と血栓閉塞による深部静脈血栓症の２つの代表的疾患について、その病態、症状、診断、治療について概説する。	細井　温	配布資料
11/15	火	3	肺塞栓症・肺高血圧症	肺塞栓症は原因、誘因、病態、症状、診断法、治療について解説する。肺高血圧症は分類、病態、特に肺動脈性肺高血圧症の診断法と治療について概説する。	伊波　巧	配布資料
11/15	火	4	循環器診察 視診・触診	循環器内科診療に必要な身体診察法、身体所見の取り方の講義である。血圧測定、脈拍測定、心臓の視診・触診、頚部血管の診察を含めた講義である。	竹内かおり	配布資料

2022年度　3年　講義予定表

【循環器病学Ｂ】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/15	火	5	冠動脈造影／心臓カテーテル検査	冠動脈造影の適応と診断において、その基本と最新の動向について理解する。心臓カテーテル検査の適応と診断について、その基本と最新の動向を理解する。	山﨑博之	配布資料
11/16	水	5	Buerger病／閉塞性動脈硬化	慢性動脈閉塞肢の臨床症状と治療戦略。保存的治療と侵襲的治療の使い分け。外科手術と血管内治療の変遷と今後の動向。急性動脈閉塞肢の病態。MNMSと切断の適応。	伊佐治寿彦	配布資料
11/24	木	4	循環器診察　聴診・心音	心音の聴診法、診断法の講義である。疾患ごとの異常心音・異常心雑音の特徴につき講義し、心血管疾患の心音による診断法を習得してもらう。	山﨑聡子	配布資料
11/28	月	5	心臓診察実習応用	1年、2年で行った心臓診察を発展させた実習を行う。	佐藤　徹	なし
12/12	月	4	循環器診断 循環器疾患のCT/MRI	循環器疾患のCT・MRI診断は急速に進歩しており、現在の日常臨床において不可欠なものとなっている。CT・MRIにおける循環器領域の正常解剖、代表的疾患の特徴的な所見や診断の方法について解説する。	町田治彦	配布資料

学　科　目：産科婦人科学
科目責任者：教室主任　小林陽一　教授
担当教員：教　　授　小林陽一、谷垣伸治
准　教　授　田嶋　敦、森定　徹
講　　師　松本浩範、百村麻衣
学内講師　澁谷裕美、松島実穂
非常勤講師　安藤　索
その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
産婦人科領域における医学的知識を系統的に修得せしめる。

B．到達目標
1. 妊娠・分娩・生殖の生理に精通し、これらの領域の疾患について診断法と治療法を述べられる。
2. 婦人科良性・悪性疾患の病態を理解し、それらの診断・治療法をあげることができる。

C．修得すべき能力
1. 妊娠に伴う生理学的変化を把握し、妊娠合併症及び合併症妊娠の病態と周産期管理の概略を説明することができる。
2. 胎児の発達生理を理解し、病態と診断、管理について説明できる。
3. 分娩・産褥の正常経過及び異常について理解し、治療を述べることができる。
4. 女性性器の基本的解剖を説明できる。
5. 超音波断層法や MRI などの画像診断における子宮や卵巣の正常・異常所見を説明できる。
6. コルポスコピーや細胞診・組織診所見をみて診断を推定することができる。
7. 月経周期に関連するホルモン値について、その意義や相互関係、異常について説明ができる。
8. 婦人科良性・悪性疾患の鑑別診断、治療法について説明ができる。

D．学習内容

妊娠の生理、胎児の発達生理、産科管理と胎児機能検査を学習する。正常妊娠・分娩、合併症妊娠と妊娠合併症、分娩周辺期の異常（産褥出血を含む）、出生前診断についても学習する。

婦人科領域では子宮頸部・体部・卵巣などにおける各疾患について、分類、診断、治療について学習する。また生殖医療や更年期障害などホルモンに関連する生理・病態について基本事項を学習する。

E．実習・課外授業

1．実習　　なし

2．課外授業　　なし

F．準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じ文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと（各 1 時間程度）。

G．復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること（各 1 時間程度）。

H．成績評価の方法・基準

1．試験の方針

産婦人科一般に関して十分な知識を有しているか否かを見る。

2．試験の期日と実施方法

定期試験：学期末に筆記（五者択一方式および再生形式）にて行う。

再試験：学年末に筆記（五者択一方式および再生形式）にて行う。

3．評価法

マークシートの採点による。

4．判定基準

100 点満点で 60 点以上をもって合格とする。

I．学習指導書

1．教科書　（学生が所持すべきもの）

標準産科婦人科学　医学書院

２．参考書Ａ（学生へ所持を勧めるもの）
(R)１）NEW エッセンシャル産科学・婦人科学　医歯薬出版
(R)２）講義録　産科婦人科学　メジカルビュー社
(R)３）新しい産科学　名古屋大学出版会
(A)４）Williams Obstetrics　Appleton-Century-Crofts

３．参考書Ｂ（参考となるもの）
なし

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【産科婦人科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/29	月	5	妊娠の生理と初期の異常（1）	妊娠の成立、流産・早産・正期産・過期産の定義、胎盤の構造および役割、胎児およびその付属物（臍帯、胎盤、卵膜）を中心として、妊娠の生理について解説する。また、胎児期の臓器の発達や各臓器の機能の発育状態を概説。特に胎児ー胎盤系における循環動態を新生児の血液循環動態と比較して講義する。重症妊娠悪阻や切迫流産、流産、異所性妊娠等の、妊娠初期の異常についても解説する。	田嶋　敦	標準産科婦人科学 336-371, 483-486 但し486は分娩の生理でも
9/1	木	4	妊娠の生理と初期の異常（2）			
9/5	月	5	妊娠中期・後期の異常（1）	妊娠中期と後期に起こる産科異常及び頻度の高い妊娠合併症（多胎妊娠，糖尿病合併妊娠を含む糖代謝異常合併妊娠，妊娠高血圧症候群，胎児発育異常，切迫早産）の診断と治療、予後に関して講義する。	谷垣伸治	標準産科婦人科学 374，375，385-441，462-465
9/7	水	3	妊娠中期・後期の異常（2）			
9/9	金	3	合併症妊娠	妊娠・出産に影響を及ぼす婦人科疾患、血液疾患、心血管疾患、腎泌尿器疾患、消化器疾患、呼吸器疾患、甲状腺疾患、自己免疫性疾患、精神疾患、感染症について講義する。	小林千絵	標準産科婦人科学 447-462, 465-482
9/26	月	2	出生前診断（胎児異常含む）	従来の出生前診断は、超音波検査により胎児の疾患を見出すことのみであった。現在では、受精卵を用いて着床前に診断することや遺伝カウンセリングにも保険診断が適応されるようになってきた。本講義では、胎児期の診断を中心にそれらについても解説する。	松島実穂	標準産科婦人科学 378, 379, 442-446, 499-509
9/26	月	3	分娩の管理と異常（1）	正常分娩の経過と内診や分娩監視装置等を使用した管理の方法、児の正常な娩出方法とその介助法に関しても学習する。またハイリスク分娩の管理についても学習する。	竹森　聖	標準産科婦人科学 529-541, 571-586
9/28	水	3	分娩の生理	分娩に関わる生理現象の定義を学習する。陣痛発来の生理、分娩に関わる3要素を学習し、分娩の進行、機序を理解し、妊産婦の分娩の生理の基本を学習する。また、正常分娩の経過と内診や分娩監視装置等を使用した管理の方法、児の正常な娩出方法とその介助法に関しても学習する。	佐藤泰紀	標準産科婦人科学 510-528

2022年度 3年 講義予定表

【産科婦人科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/30	金	3	分娩監視	分娩管理の講義で学習した内容を下に、分娩進行が正常に進んでいるか把握する方法として、胎児心拍陣痛図、内診やパルトグラム等とその評価法について学習する。	竹森　聖	標準産科婦人科学 542-549
10/3	月	4	分娩の管理と異常(2)	これまでの講義で分娩の生理を学んだ上で、正常の経過から逸脱した場合の分娩管理について学習する。	松島実穂	標準産科婦人科学 550-570
10/3	月	5	妊婦健診、母子保健	妊婦健診の必須である検査項目や其々の正しい検査方法や施行理由について説明する。さらに、妊娠の各時期に応じた留意点や、正常な経過を逸脱した際の対処について解説する。	北村亜也	標準産科婦人科学 487-498, 655-670
10/11	火	3	産科処置	通常分娩時もしくは急速遂娩術に必要な手技や、出血時の対応、また陣痛誘発および促進を行う際の適応や方法について解説する。	北村亜也	標準産科婦人科学 583-601
10/17	月	3	産褥	産褥とは妊娠、分娩によって変化した母体が再び非妊時の状態に戻るまでの期間をいう。本講義では産褥の生理的変化について解説する。また、子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎、産褥精神病、血栓性静脈炎など産褥期の異常についても解説する。	佐藤泰紀	標準産科婦人科学 602-618
10/24	月	3	子宮頸部悪性腫瘍	子宮頸部にできる悪性腫瘍とその前がん病変について病態、病理、症状、進展様式、診断法、治療等について解説する。またHPVは頸がんの原因ウイルスであるので、HPVについても言及する。	小林陽一	標準産科婦人科学 36-38, 41-43, 119-131, 275-280, 323, 327-328
10/31	月	3	卵巣悪性腫瘍	卵巣悪性腫瘍の組織分類と悪性度、進展様式と診断法について解説する。さらに治療については、上皮性腫瘍と胚細胞腫瘍に分けて解説する。病理組織診断的問題が出るので、病理組織像についても解説する。	森定　徹	標準産科婦人科学 39-40, 161-186, 281-284, 289-301, 317-322, 324-327, 329-330

2022年度 3年 講義予定表

【産科婦人科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/31	月	4	内膜症、外陰・腟疾患	子宮内膜症および子宮腺筋症の、病態、症状、診断、治療について解説する。また外陰・腟疾患については、外陰癌、腟癌を中心に解説する。	百村麻衣	標準産科婦人科学 34-36, 109-115, 194-204, 244-255, 331
11/2	水	4	性感染症	淋病、梅毒、クラミジア感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、腟トリコモナス、外陰腟カンジダ症、AIDS等についての疾患を説明する。	渡邉百恵	標準産科婦人科学 116-117, 131-133, 159-160, 247-266, 274
11/7	月	4	卵巣腫瘍（良性）	卵巣良性腫瘍の症状や組織分類ならびに診断方法や治療について病理・画像所見も含め解説する。また卵巣の構造や解剖学的所見についても解説する。	松本浩範	標準産科婦人科学 161-186のうち良性腫瘍の部分、329-330
11/16	水	3	良性子宮腫瘍	婦人科腫瘍の中で最も遭遇する機会の多い子宮筋腫の病態、診断、治療を中心に、子宮腟部びらんや頸管・内膜ポリープなど、他の良性子宮疾患についても概説する。	百村麻衣	標準産科婦人科学 118, 133, 152-155, 237-243, 301-303, 315-316, 328-329, 331-332
11/21	月	4	女性医学（更年期、更年期障害）	女性の加齢に伴う変化としての更年期障害について、定義、概念、治療について解説する。また、婦人科手術は主に腹式、腟式、内視鏡下手術に大別され、各々の術式に対し、疾患および解剖をふまえ解説する。	小林千絵	標準産科婦人科学 215-236, 313
11/22	火	5	性分化	男女それぞれへの性分化の決定因子と分化の仕組みに関して講義する。また、染色体異常や内分泌的な異常による性分化異常疾患に関して概説する。また、細菌感染やウイルス感染については、性感染症の項で行うので割愛する。本講義では、外陰部あるいは腟にできる腫瘍を中心に診断と治療を講義する。	澁谷裕美	標準産科婦人科学 20-33, 328, 330-331

2022年度 3年 講義予定表

【産科婦人科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/28	月	2	女性の性機能と月経	月経周期で最も基本的な月経および排卵までの過程、下垂体、卵巣、子宮の働き、またそれらに関わるホルモンについての講義を行い、正常な月経周期の流れを学ぶ。	片山紗弥	標準産科婦人科学 57-85, 267-273, 284-289, 304-306, 311-314
11/29	火	3	不妊症の診断（不育症含む）	不妊症の定義や種類を説明したのち、本邦の妊娠率、生産率、流産率などに言及し、その現状を報告する。さらに、不妊検査の概要を提示したのち、不妊原因となる各疾患と、その診断のために行う各検査の説明を行う。	安藤　索	標準産科婦人科学 86-98, 245
11/29	火	4	不妊症の管理	不妊症の管理として原因となる疾患毎に治療方法を解説したのち、一般不妊治療と高度生殖医療に関して説明する。また不妊治療に用いる薬剤の薬理作用、使用方法、合併症に関して解説する。さらに最近のトピックスに関しても言及する。		標準産科婦人科学 98-108, 306-310, 330
12/2	金	4	子宮体部悪性腫瘍	子宮体がんとその前がん病変（内膜増殖症）、さらに非上皮性腫瘍すなわち肉腫についても病態、病理、症状、進展様式、診断法、治療について解説する。また絨毛性疾患の疫学、診断、治療等を解説する。	小林陽一	標準産科婦人科学 38, 134-151, 156-158, 205-214, 244, 322-324, 328, 332

学　科　目：小児科学
科目責任者：教 室 主 任：成田雅美　教授
担 当 教 員：教　　授：成田雅美、吉野　浩
客 員 教 授：楊　國昌
准　教　授：保﨑　明、細井健一郎
講　　師：田中絵里子、福原大介
学 内 講 師：野村優子
助　　教：宮田世羽、川口明日香、木内善太郎
非常勤講師：伊藤純子、小須賀基通

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針

4 年生から開始される臨床実習への準備教育と位置づけられるコースである。小児科学は、500g の新生児から 50kg の思春期の小児を対象とする。まず、この時期の小児のダイナミックな身体および精神の正常の発達を理解する。その知識を背景に、小児に特有な各臓器障害の臨床症状とその特徴を理解する。

B．到達目標

4 年生からの臨床実習において、小児に特有な疾患の病態と臨床像の理解を確たるものとするために、必要な知識を身につける。特に、主要症状から鑑別診断を列挙し、さらに診断を進めるための臨床推論の基本を身につける。そのために、健康な新生児、乳児、幼児、学童、思春期の生理的および発達的な側面を学び、発育・発達に対して理解を深める。その上で、小児の主な疾患について、病態および臨床像についての基本的な知識を身につける。また、小児期の保健について必要な知識を身につける。

C．修得すべき能力

1. 問題解決に必要な患者情報を適切に収集し、整理できる。
2. 小児科学の特性（疾患特殊性、検査結果、診療技術）を理解できる。
3. 小児特有の生理学を基に疾患の病態を理解し、鑑別診断ができる。
4. 疾患の症例を適切に要約し、他者と討論できる。

D．学習内容

正常な小児の発達・発育、正常新生児と新生児疾患、小児期にみられる疾患、すなわち感染症、神経、循環器、腎・膠原病、アレルギー、内分泌、消化器、代謝、先天代謝、先天奇形、血液・悪性腫瘍、先天性免疫不全、呼吸器、発達障害等について講義をする。

E．実習・課外授業

なし

F．準備学習の内容

1．指定教科書に沿って講義は予定されている。事前に授業の範囲の基本、生理などについて学習しておくと、理解しやすい。

2．新生児や先天異常、先天性代謝異常に関連した講義では、各々発生学、遺伝学や生化学等の基礎医学の知識があると理解しやすい。事前に該当する基礎医学の復習が勧められる。

G．復習学習の内容

講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習すること。

H．成績評価の方法・基準

1．試験の方針：筆記試験による客観試験

2．試験の期日と実施方法：全講義終了後に多肢選択方式と再生方式を合わせた筆記試験を行う。

3．評価法：本試験あるいは再試験について判定基準を満たしたものを合格とする。
レポートや小テストは判定の基準に含まない。

4．判定基準　60%以上

I．学習指導書

1．教科書（学生が所持すべきもの）
内山　聖監修　標準小児科学　第８版　医学書院
Ｍ５のBSL、Ｍ６でも使用する。

2．参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）
なし

3．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）
なし

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【小児科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/29	月	3	成長・発達	小児の特徴である成長・発達の概念や、知っておくべき基本的な指標について解説する。	成田雅美	標準小児科学　第１章、第２章
8/29	月	4	小児呼吸器疾患	呼吸器の発生に引き続き、小児に特徴的なクループ症候群、急性細気管支炎、肺炎、肺分画症などの診断と病態、治療を解説する。	川口明日香	標準小児科学第１６章
8/30	火	1	小児膠原病・川崎病	小児期発症の膠原病について、その特性の総論を概説し、リウマチ熱、若年性関節リウマチ、血管性紫斑病の病態と鑑別、治療について解説する。また、小児特有の血管炎として川崎病について解説する。	福原大介	標準小児科学第１４章第１５章J
8/30	火	2	新生児-正常（１）	未熟児・低出生体重児の定義・分類を解説する。さらに、出生に伴う循環動態の変化を含めた新生児期に特有な生理を臓器別に解説する。	野村優子	標準小児科学　第７章A,B
9/2	金	1	造血・赤血球異常	造血障害や溶血性貧血の中で先天的な疾患について解説をする。	吉野　浩	標準小児科学　第１９章A,B
9/2	金	2	小児腎泌尿器疾患（１）	小児の腎臓の形態と機能の発達に伴う特性を概説し、一次性糸球体疾患の病態について解説する。	楊　國昌	標準小児科学第２１章A-F
9/6	火	1	新生児-正常（２）	出生にともなう生理的な変化について学習し、正常な新生児の特徴、検査上の所見、新生児の評価法（Apgarスコア）を解説する。	野村優子	標準小児科学　第７章C,D,E
9/14	水	1	小児免疫疾患	先天性免疫不全を疑う兆候を概説し、原発性免疫不全の分類と成因、臨床症状の特徴について解説する。	成田雅美	標準小児科学第１２章
9/30	金	1	白血球の異常・止血・血栓の疾患	白血球の形態と機能について説明し、先天性の異常や先天性好中球減少症などについて解説する。また小児期に重要な凝固系の疾患として特発性血小板減少性紫斑病、先天性の凝固異常、母乳栄養の問題点などについて解説する。	吉野　浩	標準小児科学　第１９章C, D

2022年度 3年 講義予定表

【小児科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/3	月	2	先天性心疾患（１）	非チアノーゼ性の先天性心疾患で３年生の時に十分解説できなかった、弁膜疾患、大動脈縮窄などについて解説する。	保﨑　明	標準小児科学 第１７章G 449-451、453-455
10/7	金	1	新生児-疾患（１）	出生に伴う呼吸・循環の生理を学び、新生児呼吸窮迫症候群（RDS）の病態と診断・治療、無呼吸の原因診断と治療、慢性肺疾患、先天性心疾患を解説する。	細井健一郎	標準小児科学 第７章F-I
10/7	金	2	小児腎泌尿器疾患（２）	小児に特徴的な２次性糸球体疾患、遺伝性糸球体・尿細管疾患を解説する。	楊　國昌	標準小児科学 第２１章G-J
10/14	金	1	新生児-疾患（２）	新生児でのビリルビン代謝とその異常、新生児期に発症する代表的な血液疾患、消化器疾患及び代謝異常症、感染症等について解説する。	細井健一郎	標準小児科学 第７章J-O
10/17	月	2	小児神経疾患（１）	中枢神経系の発生とその異常、神経皮膚症候群、脳性麻痺、もやもや病、脳炎など炎症性神経疾患、筋ジストロフィーなど筋疾患、遺伝性末梢神経疾患について説明する。	宮田世羽	標準小児科学 第２２章 第２３章
10/18	火	1	小児腫瘍性疾患	小児の悪性腫瘍の中で最も頻度の高い疾患である白血病について、その病態の特徴と、実際の治療について具体的に説明する。	吉野　浩	標準小児科学 第１９章 C,E
10/21	金	1	先天性心疾患（２）	チアノーゼ性の先天性心疾患で、ファロー四徴症を除く重要な疾患、完全大血管転位、三尖弁閉鎖、肺動脈閉鎖、総肺静脈還流異常、左心低形成症候群などについて解説する。	保﨑　明	標準小児科学 第１７章G 451-453、455-462
10/24	月	1	小児 アレルギー疾患	小児に見られる代表的なアレルギー疾患である、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーについて、小児期の特徴や病態を含めた概説を行う。	川口明日香	標準小児科学 第１３章

2022年度 3年 講義予定表

【小児科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/24	月	2	小児神経疾患（２）	てんかんは小児期に発症することが多く、頻度も高い疾患である。その病態と、West症候群、Lennox-Gastaut症候群、ローランドてんかんなどに代表的なてんかん症候群を、実際の発作ビデオなども供覧して説明する。	宮田世羽	標準小児科学 第２２章 A,B
11/8	火	1	ウイルス感染症	麻疹、風疹、水痘、ムンプス、RSウイルス、アデノウイルス、コクサッキーウイルスなど、小児期に好発するウイルス疾患について、その臨床像と予防法とを解説する。	田中絵里子	標準小児科学 第１５章B
11/8	火	4	先天性代謝異常（１）	先天代謝異常のスクリーニングの意義と原理を説明し、糖代謝異常では糖原病とガラクトース血症、核酸代謝異常ではLesch-Nyhan症候群、銅代謝異常ではWilson病とMenkes病について、おのおの病態に基づいた臨床症状を主として講義する。	小須賀基通	標準小児科学 第９章 A,D,H,I
11/8	火	5	先天性代謝異常（２）	先天代謝異常のうち、アミノ酸代謝異常、糖代謝異常、ムコ多糖症、脂質代謝異常について解説する。	小須賀基通	標準小児科学 第９章 B, C, F, G
11/14	月	1	感染症総論・細菌感染症	細菌・ウィルス感染症の定義、疫学、感染経路、診断、予防、治療について論じ予防接種の原理と意義を解説する。細菌感染症について、年齢により疾患、原因菌、症状に違いがあることに焦点をあて、臨床で頻繁に遭遇する疾患、小児に特異的な疾患について解説する。	木内善太郎	標準小児科学 第１５章A,C-I
11/14	月	2	発達障害・小児心身症	精神遅滞、自閉症、ADHD、学習障害などの発達障害について、その概念と対応について説明をする。また、小児期の不登校、チック、摂食障害などの心身症について、その概念と治療法について説明する。	宮田世羽	標準小児科学 第２４章 第２５章
11/17	木	4	先天異常（１）	先天異常を発生原因により系統立てて整理し、臨床に応用できるように理解する。遺伝子や染色体の理解を深めると同時に、ノーマライゼーションの考え方を解説する。	小須賀基通	標準小児科学 第８章

2022年度 3年 講義予定表

【小児科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/17	木	5	先天異常（２）	遺伝現象に起因する先天性奇形・奇形症候群、染色体異常、先天性代謝異常症、神経筋疾患、精神疾患などの具体例を挙げながら、遺伝にまつわる患者・患者家族の悩みを理解し、解決に向けた支援ができるようにする。	小須賀基通	標準小児科学第８章
11/22	火	2	栄養・小児保健・予防医学	母乳をはじめとする小児期の栄養法の特徴、知っておくべき小児保健の統計、予防接種などの予防医学について解説する。	野村優子	標準小児科学　第３章、第４章
12/1	木	1	小児内分泌疾患（１）	成長のしくみ、成長障害の鑑別、下垂体・甲状腺・副甲状腺疾患の病態について解説する。	伊藤純子	標準小児科学第１１章A-D
12/1	木	2	小児内分泌疾患(2)	性分化・性発達の仕組みを概説し、先天性副腎皮質過形成と思春期早発症・遅発症、性腺機能不全、糖尿病の病態と治療について解説する。	伊藤純子	標準小児科学第１１章E-H
12/2	金	1	小児救急・心肺蘇生・虐待	小児での代表的な救急疾患とその対応のポイントを概説する。また事故は０歳を除く小児の死因の第一位であり、典型的な事故への対応と予防、虐待の早期発見と対応について説明する。	川口明日香	標準小児科学第６章

学　科　目：精神神経科学
科目責任者：渡邊衡一郎　教授
担当教員：教　　授　渡邊衡一郎
准　教　授　坪井貴嗣
講　　師　櫻井　準
非常勤講師　堤　祐一郎、西園マーハ文、
池田暁史、川﨑洋介、宇佐美政英、
鬼頭伸輔、田中伸一郎
その他担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針
本講義は4年生後期から開始される臨床実習（BSL）への準備教育と位置付けられる。基本的な精神医学に加えて、精神神経科以外の診療科においての必須事項について学習する。

B．到達目標
1. 講義を通じて精神疾患の診断、治療についての基本的な知識を獲得する。
2. 精神保健福祉法や精神障害当事者を取り巻く社会的な背景についての知識を持ち、人権に配慮した医療を理解する。
3. 講義を通じて良好な関係性を築くためのコミュニケーションが取れるようになる。

C．修得すべき能力
1. 主要な精神疾患の概要について理解し、臨床実習中の診療カンファレンスの議論についていけるようになる。
2. 代表的な向精神薬について、重要な副作用について把握し、適応について論じられるようになる。
3. 基本的な医療面接技能に加えて、精神症状を有する当事者の症状評価や、妄想などの思考・行動に影響が出ている当事者に配慮したコミュニケーションが取れるようになる。
4. 精神症状に影響をもたらす心理社会的背景について論じることができるようになる。

D．学習内容

日程と授業内容については別紙参照。講義によって主要な精神疾患についての概略とともに、診断のために知っておくべき症状、基本的な治療法、そのほか注目される点について解説する。なお、次学年の精神神経科の臨床実習は、初日から診療チームの一員に加わって学習するので、精神神経科について系統的に学ぶのは本講義が最後の機会となる。そのつもりで受講すること。

E．実習・課外授業

1．実習　なし

2．課外授業　なし

F．準備学習の内容

教科書、参考書で基本的な知識を学習しておく。

G．復習学習の内容

授業内容を教科書、参考書での記載に照らし合わせ復習をする。

H．成績評価の方法・基準

1．試験の方針

精神医学の全般的な基礎知識の理解度を確認する。

2．試験の期日と実施方法

学期末に筆記試験を実施する。

定期試験：五者択一および再生方式

追再試験：五者択一および再生方式

3．評価法

試験の成績によって評価する。

4．判定基準

100 点満点で 60 点以上を合格とする。

I．学習指導書

1．教科書

標準精神医学（医学書院）第 8 版　尾崎紀夫・三村將・水野雅文・村井俊哉編

2．参考書A（学生の所持をすすめるもの）

(R) 精神科における予診・初診・初期治療（星和書店）

笠原嘉著

3．参考書B（図書館等での利用をすすめるもの）

(A) DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル　日本精神神経学会編　医学書院
(A) カプラン臨床精神医学テキスト（メディカルサイエンスインターナショナル）　第3版

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【精神神経科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担 当	標準精神医学（第8版）
9/14	水	2	［総 論］ 精神医学概論	精神医学とはなにか？ 精神・こころ・脳の正常と異常について解説しながら、精神医学の歴史、精神障害の分類について概説する。	渡邊衡一郎	p6-28
9/21	水	1	［総 論］ 精神症候学	意識、知覚、記憶、見当識、知能、思考、感情、意志・欲動・行動、自我意識などにおける異常（＝精神症状）について概説する。	渡邊衡一郎	p51-67
9/21	水	2	［総 論］ 精神療法概論	精神科臨床において、診断と治療の要となるのは面接である。問診の導入、話の進め方、力動精神医学の基本について、具体例とともに概説し、精神療法の基礎となる面接技法を解説する。	池田暁史	p83-97
9/28	水	1	［総 論］ 精神病理学入門	精神病理学は臨床診断に不可欠である。ヤスパース、シュナイダーの記述精神病理学を概説しながら、外因・内因・心因に分類する臨床的意義や操作的診断基準の限界について解説する。	田中伸一郎	p12-17 p69-81
9/28	水	2	［総 論］ 心理検査・神経心理検査	心理検査には知能検査やパーソナリティ検査、作業検査などが、神経心理検査には記憶検査や前頭葉検査、遂行機能検査などがある。各々のアセスメント例を示しながら、診断や治療の補助としての意義について概説する。	栗原真理子	p123-144
10/5	水	1	［各 論］ 統合失調症（１）	統合失調症の疫学、重要な症候、歴史的な診断分類の変遷について、具体例を示しつつ解説する。また他の精神病性障害との違いについても詳説する。	櫻井 準	p273-296
10/5	水	2	［各 論］ 統合失調症（２）	統合失調症の治療と経過、予後について概説する。心理社会的治療の重要性や治療抵抗性統合失調症の定義や治療、リカバリーについても解説する。	櫻井 準	p273-296
10/12	水	1	［各 論］ うつ病	わが国は「うつ病100万人」の時代に突入し自殺予防が大きな課題となっている。うつ病の定義や適応障害との違い、経過と予後、薬物療法を中心とした治療法について概説する。	渡邊衡一郎	p299-323

2022年度 3年 講義予定表

【精神神経科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担 当	標準精神医学（第8版）
10/12	水	2	［各 論］ 双極性障害	うつ病と診断される内の約2-3割は実は双極性障害と考えられている。同じうつ状態でも治療は異なり、自殺率はむしろ高く、知的レベルの高い人がなると考えられている。この疾患について概説する。	渡邊衡一郎	p325-337
10/19	水	1	［各 論］ 不安症・強迫症	不安、恐怖とそれに対する回避行動に特徴づけられる全般不安症、社交不安症、パニック症、解離症、変換症と強迫症について主な症状、それぞれの治療法について説明する。	片桐建志	p339-377
10/19	水	2	［各 論］ 心身症、摂食障害、ストレス関連障害	心身症、摂食障害、急性ストレス障害、心的外傷後ストレス障害、身体症状症などのストレス関連障害の症状、治療法について概説しながら、心身相関の基礎を学ぶ。	西園 マーハ文	p363-364 p379-391 p393-402
10/25	火	1	［各 論］ パーソナリティ障害	パーソナリティ障害とは何か？古典的な精神病質の概念の歴史をふり返りつつ、境界性パーソナリティ障害など、各種パーソナリティ障害の主な症状、治療法について概説する。	渡邉菜保子	p491-505
10/25	火	2	［各 論］ 睡眠・覚醒障害	睡眠障害は精神疾患でみられる頻度の高い症候であるが、不眠症のみならず、睡眠時無呼吸症候群やレストレスレッグス症候群等の合併も多くみられる。本講義では睡眠・覚醒障害に対する正確な評価と治療を概説する。	神田優太	p403-419
10/27	木	2	［各 論］ 認知症	4大認知症であるアルツハイマー型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症の具体例を示しながら、中核症状と行動心理症状、画像所見、治療法について概説する。	川崎洋介	p443-478
10/27	木	3	［各 論］ 物質関連障害および嗜癖性障害	アルコール・有機溶剤・覚せい剤・大麻と近年社会問題となっている危険ドラックなどの精神作用物質による主要な症状について説明し、依存症の経過、今日の治療法について概説する。	堤祐一郎	p421-441
11/2	水	1	［各 論］ 児童・青年期の精神障害	神経発達症のうち、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、学習障害を中心に、児童青年期の精神障害の主な症状、経過、治療法について概説する。	宇佐美政英	p253-271

2022年度 3年 講義予定表

【精神神経科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担 当	標準精神医学（第8版）
11/9	水	2	［各 論］ 薬物療法	薬物療法には、睡眠薬、抗不安薬をはじめとして、抗うつ薬、抗精神病薬、気分安定薬などが用いられる。向精神薬には効果と副作用があるため、それらに熟知することが必須である。	坪井貴嗣	p154-172
11/16	水	1	［各 論］ 精神療法各論	認知行動療法、マインドフルネス、対人関係療法などは、薬物療法と同等の効果が得られるケースがあり、近年注目されている。主要な精神療法の理論と実践について具体的に説明する。	大江悠樹	p173-183
11/16	水	2	［各 論］ ニューロモデュレーション	精神科領域の第3の治療手段として注目される身体物理療法について、修正型電気けいれん療法、経頭蓋磁気刺激療法などの概要、最新の知見、今後の展望について概説する。	鬼頭伸輔	p150-153
11/30	水	1	［各 論］ 精神科リハビリテーション	身体の病と同じように、精神疾患を発症したのち、リカバリーに至るには、当事者自らが能動的に治療に関わる精神科リハビリテーションが必要になる。精神科リハビリについて、今日的な動向を交えて解説する。	早坂友成	p226-229
11/30	水	2	［各 論］ コンサルテーション・リエゾン精神医学	身体疾患の治療を受けている患者に対して精神医学的な介入を行うコンサルテーション・リエゾン精神医学診療について、器質症状性精神障害などの具体例を示しながら説明する。	今村弥生	p187-195 p522-538
12/7	水	2	［各 論］ 精神医療と法	本邦では精神障害患者の人権を保護するため、精神保健福祉法が制定されている。その職務や入院形態について詳説する。また同時に心神喪失者等医療観察法についても概説する。	今村弥生	p212-221 p237-249

学　科　目：泌尿器科学
科目責任者：福原　浩　教授
担当教員：教　授　福原　浩
　　准教授　多武保光宏
　　その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針

杏林大学医学部教育における到達目標の達成に向けて、４年生から開始される臨床実習への準備教育と位置づけられるコースである。講義では、臨床医学講義で学んだ各疾患についての知識を診断に応用するため、副腎、腎臓、尿路、男性生殖器の臓器に関して学ぶ。具体的には、解剖学、生理学、生化学、病理と言った基礎医学を復習しながら、これらの臓器系に関しての臨床医学を学ぶ。

以下を基本方針とする。

１．副腎・腎尿路性器系の基礎的知識の修得
２．各疾患理解の基本となる解剖学や生理学的検査、画像診断について学習し、その後各疾患について理解を深める。特に全身との関わりの中で各疾患を理解できるようにする。
３．医の倫理、医師の使命の自覚を培うことを目標とし、本領域の医学知識を兼ね備えた医師を育成する卒前教育を基本方針とする。

B．到達目標

臨床実習において、診療チームの一員として学生に求められる役割を果たすことができるために、腎尿路性器系の症候と病態の基本を身につける。

また、実際の患者に接して医療面接と身体診察を行うために必要な診療技能と医療者としての態度を身につける。具体的には、

１．腎尿路性器系の形態を理解し、それぞれの基本的機能を述べることができる。
２．腎尿路性器系の症候と病態について説明することができる。
３．泌尿器科の診療体系は腫瘍学、腎臓病学、内分泌学、神経内科学、小児及び老年医学などと関連した領域を有する。どの

分野においても医師として修得すべき基本的な腎泌尿器生殖器疾患の概念、病態、およびその診断に必要な検査法、治療法などを系統立てて理解し、具体的に述べることができるようにする。

C．修得すべき能力

1．それぞれの主要症候から鑑別すべき疾患を的確に答えられる。
2．解剖学的知識から、泌尿器癌の転移形式を類推できる。
3．泌尿器疾患の手術療法の基礎を理解し、解剖学の知識でこれを説明できる様にする。

D．学習内容

泌尿器科疾患の基本を理解し、臨床の現場で応用できるようにする。
各項目・疾患については「講義内容」を参照。

E．実習・課外授業

1．実習　　なし
2．課外授業　なし

F．準備学習の内容

事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書にて予習すること。各１時間程度。

G．復習学習の内容

講義終了後、同じ日の内に教科書の関連ページを復習のこと。各１時間程度。

H．成績評価の方法・基準

1．試験の方針
泌尿器科疾患の病態、診断、治療の基礎知識の習得状況を確認する。
2．試験の期日と実施方法
学期末に五択及び再生形式にて行う。
3．評価法
試験結果によるが出席日数が所定の数に達しないものは受験できない。

４．判定基準
進級判定試験で 60 点以上。

Ⅰ．学習指導書
１．教科書（学生が所持しなければならないもの）
(R) 病気が見える vol.8 腎・泌尿器　MEDIC MEDIA
２．参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）
(A)LANGE medical book Smith ＆ Tanagho’s General Urology (18th edition)
(A)標準泌尿器科学　第８版　医学書院
３．参考書Ｂ（図書館等での利用をすすめるもの）
(A)Campbell-Walsh　Urology (12th edition)
(A)ベッドサイド泌尿器科学　(改訂第４版)　南江堂
※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【泌尿器科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/31	水	4	泌尿器科学総論 解剖	腎・尿路・男性性器の構造について、癌の転移形式や手術操作を理解する上で必要な部分を中心に解説。	福原　浩	2-15, 262-264
9/1	木	3	尿路感染症・ 性感染症	尿路感染症の病態、一般的な抗菌化学療法について解説後、それぞれの尿路性器感染症の診断と治療、性感染症、尿路結核、寄生虫症の診断と治療について解説する。	宮川仁平	248-261
9/7	水	4	尿路結石	結石の発生機序・症状・診断・治療に付き解説。また結石の原因となる原発性副甲状腺機能亢進症、RTA、シスチン尿症についても解説。	多武保光宏	242-247
9/7	水	5	症候	尿量・尿回数の異常、排尿痛、排尿障害、血尿、膿尿、色素尿、血精液症に付き解説し、泌尿器科的診察法・尿検査の方法にも言及。	原　秀彦	44-49
9/16	金	4	精巣腫瘍	精巣腫瘍の症状、診断、病期分類について解説し、手術療法、化学療法とその副作用、副作用対策としてのGCSFについて述べる。	桶川隆嗣	289-293
9/27	火	3	先天異常	尿路性器の発生と先天異常について基礎から臨床まで解説。尿管瘤、VURにも言及。	藤田直之	320-327, 332-335
10/5	水	4	性分化異常	生殖腺分化異常、半陰陽について遺伝子異常との関わりを中心に解説	加藤司顯	
10/14	金	3	前立腺癌	前立腺癌の症状、診断、病期分類別治療法（手術療法、放射線療法、ホルモン療法、化学療法）について解説。またPSAの意義についても解説。	桶川隆嗣	280-288
10/18	火	4	副腎腫瘍	外科手術が必要になる原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、incidentalomaに付き、術前診断、術前術中術後管理を含めて解説する。	宮川仁平	
10/19	水	4	外傷・異物	腎・尿管・膀胱・尿道・性器外傷および異物について、診断・治療・合併症を中心に解説。	中村　雄	348-349
11/1	火	4	腎盂・尿管癌、膀胱癌	腎盂・尿管・膀胱腫瘍の診断治療について、手術療法（尿路変更術を含む）、膀胱内注入療法、化学療法を含めて解説。	多武保光宏	271-279

2022年度 3年 講義予定表

【泌尿器科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/16	水	4	前立腺肥大症	下部尿路閉塞を来す前立腺肥大症を中心に、症状・診断・治療について解説。QOLを重視した治療に付き述べる。	舛田一樹	310-313
11/30	水	4	検査・処置 (1) 尿検査	泌尿器科に於ける画像診断を単なる質的診断にとどまらず、手術適応の決定のツールとして解説。主としてCT、MRI、超音波検査、排泄性尿路造影法について述べる。	福原　浩	16-23
12/1	木	3	男性不妊症・ 勃起障害	男性不妊症の分類と治療法、勃起障害の診断、治療法及び持続勃起症の診断と治療法について解説する。	中村　雄	336-345
12/2	金	3	嚢胞性腎疾患	多発性嚢胞腎、腎嚢胞、海綿腎について病態、臨床症状、治療法について解説。また尿瘻についても解説。	中村　雄	330-331
12/2	金	5	腎腫瘍	腎細胞癌、腎血管筋脂肪腫、Wilms腫瘍の診断・治療・予後に付き解説。また分子標的治療薬についても解説。	桶川隆嗣	265-270
12/5	月	4	神経因性膀胱と尿失禁,骨盤臓器脱	神経因性膀胱の分類、診断、治療、尿失禁の分類、診断、治療に付き解説し、夜尿症にも言及。また過活動膀胱の概念についても説明。また膀胱瘤、骨盤臓器脱にも言及する。	金城真実	306-309, 314-319
12/9	金	3	検査・処置 (2) 画像診断、処置	泌尿器科に特有な尿流動態検査、勃起機能検査を生理学的なバックグランドを通して解説。また腫瘍マーカーや生検法、内視鏡検査について解説。	福原　浩	30-37, 42-43
12/9	金	4	下部尿路機能障害	下部尿路機能障害の病態を蓄尿と排尿に分け、また男性、女性に分けて解説。それぞれの診断と検査についても言及。	舛田一樹	294-305
12/16	金	3	陰茎腫瘍、精索静脈瘤、精巣捻転症	陰茎癌及び陰茎癌の前癌状態について治療法を含めて解説し、さらに外性器疾患として陰嚢水腫、精索静脈瘤、精巣捻転について十分な鑑別ができるように解説。	多武保光宏	293 328-329, 346-347, 350-352

学　科　目：皮膚科・形成外科学
科目責任者：大山　学　教授
担 当 教 員：教　　授　大山　学、多久嶋亮彦
　　臨床教授　水川良子、大浦紀彦、尾崎　峰
　　研究教授　花輪智子
　　その他の担当教員は講義予定表に記載

上記担当教員については、主として医学部付属病院において、医師として勤務（実務経験）する教員が講義・実習を担当しており、実際の医療現場における最新の知見に基づく教育内容を受けることができる。

A．教育の基本方針

前年度までに習得した基礎医学・臨床医学の知識に基づき患者の外観に大きく影響を与える、または生活の質を損なう疾患を扱う診療科である皮膚科・形成外科の診断学・治療学の知識の習得を目指す。

皮膚科学では基礎医学で修得した皮膚に関する形態学的、生理学的、分子生物学的、薬理学的、免疫・感染症学的特徴の理解に基づき、それらの異常・障害という観点から、皮膚疾患の病態、診断、治療の系統的に理解し、臨床実習において実践的に活用できる知識体系の修得を目指す。また、皮膚に症状を呈する全身疾患は多く、皮疹から想起するべき全身症状についても修得する。外用療法などの従来の治療に加え、近年、急速に発展を遂げている生物学的製剤・分子標的薬について最新の知見を学ぶ。

形成外科学では、皮膚科学と同様に、基礎医学で得た人体各部の外観、構造と機能の喪失・障害について、その原因を知り、病態、診断、再建についての方法論を学び、臨床実習において特に学習するべき手術、処置などについての系統的修得を目指す。また、他科領域の疾患の治療後の外科的外観・機能回復について学習する。

B．到達目標

皮膚科学では、まず皮膚の正常組織、機能について系統的な知識を習得する。次いで、主要な皮膚疾患について正常組織の恒常性がどのように障害されているかを理解し、病態生理を把握、それに基づき症状、病態、治療法を理解する。また、全身疾患と皮疹の関連性につき代表的疾患を知る。

形成外科学では、まずその役割と特殊性を理解する。創傷治癒の知識を学習するとともに、組織・機能の障害を修復するための形成

外科的手技を理解する。また、先天性疾患、腫瘍摘出後の再建といった診療科横断的な治療における形成外科の役割を知る。
アピアランスの障害という両科共通の観点から診療で配慮するべきコミュニケーション術について理解する。
講義が終了した際には、皮膚科・形成外科の代表的な疾患について病態を理解したうえで診断でき、治療方針を立てることができるようになることを目標とする。

C．修得すべき能力

1. 皮膚の基本構造と生理学的、免疫学的特徴について理解し、その異常として皮膚疾患の病態を説明できる。
2. 皮疹の性状を発疹学的に表現し、診断に必要な検査について説明できる。
3. 皮疹の肉眼的所見、画像解析デバイスを用いた観察結果から病理組織学的所見を想起できる。
4. 代表的皮膚疾患の血液検査、細菌学的検査、病理組織学的所見を説明できる。
5. 皮膚疾患に用いられる治療法の特性について理解する。
6. 最新の研究の知見とそこから開発された治療法について知る。
7. 代表的皮膚疾患の治療法を説明できる。
8. 全身疾患でみられる特徴的な皮疹を説明できる。
9. 創傷の治癒過程を理解し創傷管理の具体的な方法を説明できる。
10. 組織再建に必要な形成外科的手技について理解する。
11. 人体の解剖・機能を理解し部位に応じた組織欠損の再建方法を説明できる。
12. 外観・機能の障害に対する手術以外の治療法を説明できる。
13. 以上で修得した知識を活用し皮膚科・形成外科学の対象疾患の病態に基づき最適な治療を選択し、その理由を説明できる。

D．学習内容

総論では皮膚の構造、機能、発疹の見方、皮膚科に特徴的な検査法とその所見、形成外科の対象疾患、創傷管理、術式などの基礎的な事項について学ぶ。各論では主要皮膚疾患、再建手術、先天異常、顔面外傷、レーザー治療などの講義を予定している。講義では教員からできるだけ質問を投げかけ相互のコミュニケーションを図る。講義においては、特に他科と皮膚科、形成外科との関連についても学ぶ機会を設ける。また、感染症学のスタッフが、皮膚科、形成外科の臨床と関連のある微生物学的知識、特に感染症の病原体の特

性などについて講義する。

E．実習・課外授業
　１．実習　なし
　２．課外授業　なし

F．準備学習の内容
　事前に履修案内・授業内容（シラバス）の「講義テーマ」や「講義内容」を読み、教科書や参考書、必要に応じて文献検索等により関連事項についての情報を得たうえで、これに目を通しておくこと。各１時間程度。

G．復習学習の内容
　講義で配布されたプリントや練習問題の解答および教科書の関連ページを熟読して復習する。各１時間程度。

H．成績評価の方法・基準
　１．試験の方針
　　基本的事項につき、どの程度理解し応用しうるかをみる。
　２．試験の期日と実施方法
　　定期試験　筆記（多肢選択方式、再生形式）
　　再試験　　筆記（多肢選択方式、再生形式）
　３．評価法
　　定期試験の結果により評価。
　４．判定基準
　　60 点以上を合格とする。

I．学習指導書
　１．教科書　（学生が所持しなければならないもの）
　　清水　宏著　あたらしい皮膚科学（第３版）中山書店　2018
　　波利井　清紀監修　TEXT 形成外科学(第3版)　南山堂　2017
　２．参考書A（学生へ所持をすすめるもの）
　　(R)岩月啓氏監修、照井　正、石河　晃編集　標準皮膚科学（第 11 版）医学書院　2020
　　(R)平林　慎一編　標準形成外科学（第６版）　医学書院　2011
　　(R)大塚　藤男著　皮膚科学（第１０版）金芳堂　2016
　３．参考書B（図書館での利用をすすめるもの）
　　(A)Bolognia J et al.:　Dermatology. 4th edn. Mosby 2017

(A)Kang S, et al.: Fitzpatrick's Dermatology 9th edn. MCGRAW-HILL EDUCATION 2019
(A)図説臨床形成外科学講座１～７
※(R)：Remedial … 教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced … 教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【皮膚科・形成外科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/5	月	2	皮膚科学入門、症候学、診断学	皮膚は単に体表を覆うだけでなく免疫機能、体温調節など個体の恒常性維持に必須の機能をもつ人体最大の臓器である。その異常を取り扱う皮膚科学の全容を鳥瞰しつつ医師として習得すべきポイントを解説する。 また、皮膚疾患の診断の基礎である発疹学を学ぶ。具体的には紅斑、色素斑、白斑、丘診、結節、水疱、鱗屑などの発疹について豊富な臨床写真を用いて説明する。	大山　学	64～88 資料配布
9/5	月	4	形成外科概論	歴史、形成外科的手術手技：形成外科は、先天的・後天的な体表の組織欠損に対して、皮膚、筋肉、骨などの組織移植を行うことにより、それらの修復を行う外科学である。形成外科の歴史とともに手術手技を中心とした概要を講義する。	多久嶋亮彦	資料配付
10/3	月	1	水疱症	自己免疫性水疱症（尋常性天疱瘡、水疱性類天疱瘡など）について、症状、検査、病変形成機序などを解説するとともに、自己免疫疾患に対する理解を深める。	福山雅大	237～267 資料配布
10/5	水	3	湿疹、皮膚炎、光線過敏症、外用療法	湿疹・皮膚炎群および光線過敏症は皮膚科領域で頻度の高い重要な疾患である。アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎を中心に、臨床症状、病態、検査、治療などについて解説する。湿疹・皮膚炎の鑑別が出来、その治療としての外用療法を選択できるようになることを目標とする。	水川良子	89～96、 114～129、 228～234 資料配付
10/6	木	5	角化異常症	皮膚は角化という名の分化を行うが、その異常は様々な皮膚疾患として表れてくる。その代表が乾癬と扁平苔癬である。この２つの疾患は極めて対照的であり、その病態の差を理解することにより角化異常の全体像が見えてくるはずである。	鈴木洋介	268～301 資料配布
10/11	火	2	顔面解剖・ 顔面における疾患	顔面の骨・軟部組織損傷および先天異常：顔面は露出部であるため、機能的再建だけでなく整容的にも優れた治療結果が求められる。代表的な顔面外傷である顔面骨骨折や軟部組織損傷、そして唇裂などの先天異常の治療について講義する。	尾崎　峰	資料配付

2022年度 3年 講義予定表

【皮膚科・形成外科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/12	水	4	再建外科（1）	躯幹・四肢再建：乳癌切除後の乳房再建をはじめとして、腹・胸壁の腫瘍切除後などの組織欠損に対する再建方法に関して講義する。また、四肢においては、外傷・腫瘍切除後の組織欠損に対して行う機能的再建方法を症例を呈示しながら解説する。	白石知大	資料配付
10/19	水	3	ウイルス感染症	ウイルス感染症には全身に皮疹を生じ、発熱やリンパ節腫脹などの諸症状を伴うタイプと、限局性の皮膚病変を生じるタイプに大別できる。今回は、限局性の皮膚病変を生じるウイルスとその皮膚症状を概説し、鑑別診断ができるようになることを目標とする。	水川良子	487～498 資料配布
10/24	月	4	遺伝性疾患・母斑症	皮膚の遺伝性疾患あるいは母斑症は外観に影響を与えるだけでなく神経系、内臓系などにも病変が及ぶことがあり、その診療は診療科横断的に行われる。国試的にも重要な疾患の病因・病態・治療の習得を目指す。	木下美咲	376～405
10/26	水	2	薬疹、中毒疹	薬疹は全科にかかわる見逃すことのできない重要な疾患である。Stevens-Johnson症候群、中毒性表皮壊死症、薬剤性過敏症症候群などの重症薬疹を中心に症状、検査、発症機序を解説する。	倉田麻衣子	151～162 資料配布
10/31	月	1	皮膚付属器疾患	毛包・脂腺・汗腺・爪はそれぞれ特有の機能をもち、その疾患は生命予後に関与するものこそ少ないが我々の生活の質を大きく低下させる。教科書では理解しにくい付属器疾患の病態・治療を学びやすく整理する。	大山　学	361～375
10/31	月	2	黄色ブドウ球菌－特にMRSA	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の定義およびその性状を理解する。MRSAによる院内感染症の診断、治療、予防を学ぶ。黄色ブドウ球菌による化膿性皮膚感染症、熱傷様皮膚症候群、トキシックショック症候群を理解する。	花輪智子	特になし

2022年度 3年 講義予定表

【皮膚科・形成外科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/7	月	3	皮膚の免疫・アレルギー	接触皮膚炎や食物アレルギー、アナフィラキシーショックなどは近年増加しつつある疾患のひとつである。アレルギーの型により選択する検査も異なるため、アレルギーの病態とそれぞれの検査法を整理し、必要な検査を選択できるようになることを目標とする。	加藤峰幸	28～38 資料配布
11/15	火	2	創傷治癒	創傷の治癒過程、難治性潰瘍、熱傷、褥瘡：褥瘡や糖尿病性壊疽は近年増加しつつある疾患のひとつであり、国家試験でも多く出題されている。これらの疾患の要因や、治療のために必要な創傷治癒の基礎学的知識を中心に、創傷管理の具体的な方法を含めて解説する。	大浦紀彦	資料配付
11/21	月	1	悪性腫瘍 （皮膚科手術のポイント）	皮膚悪性腫瘍のうち、悪性黒色腫、有棘細胞癌、基底細胞癌等とその関連疾患につき概説する。それぞれの腫瘍における臨床所見の特徴、検査、治療（手術と化学療法）について理解を深め、鑑別診断ができるようになることを目標とする。	佐藤洋平	444～453 資料配布
11/21	月	3	紅斑・紫斑、膠原病	原発疹の中で、紅斑と紫斑は多くの皮膚疾患で出現する重要な発疹である。紅斑と紫斑の相違を説明するとともに、代表的な疾患を取り上げて解説する。また膠原病については、エリテマトーデス、皮膚筋炎、全身性強皮症を中心に解説する。各疾患の主に皮膚症状について解説し、鑑別診断ができるようになることを目標とする。	倉田麻衣子	139～149、 163～218 資料配布
11/25	金	1	再建外科（２）	頭頸部の再建、顔面神経麻痺の再建：頭頸部腫瘍の切除後に生じる組織欠損に対する再建や顔面神経麻痺に対する再建は機能、整容両面の結果に直結する重要な再建であり、それぞれの治療目的や手術手技を解説する。	成田圭吾	資料配付
11/28	月	3	膿皮症・抗酸菌症	皮膚は外界に直接接する臓器であるため、多彩な細菌感染症が出現する。ブドウ球菌、溶連菌、結核菌などによる皮膚細菌感染症を取り上げて解説し、鑑別診断や治療法の選択を出来るようになることを目標とする。	下田由莉江	264～267、 546～555 資料配付

2022年度 3年 講義予定表

【皮膚科・形成外科学】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/28	月	4	性感染症・真菌症	性行為で伝播する梅毒、陰部ヘルペス、尖圭コンジローマ、疥癬、HIV感染症（AIDS）などの皮膚症状についてその特徴を解説する。又、白癬症やカンジタ症について述べる。	早川　順	532～545、556～561資料配布
12/7	水	1	美容外科・レーザー	美容皮膚科・外科、レーザー治療：美容外科では、身体外表の正常形態を審美的に向上させることを目的としている。一方、加齢による外見的変化を元に戻す、アンチエイジングもこの領域に含まれる。近年、需要の高まっている医療手段を用いた美容に関して解説する。	今村三希子	資料配付

学　科　目：病理学Ｂ
科目責任者：藤原正親　教授
担当教員：教　　授　柴原純二、藤原正親
　　特任教授　菅間　博
　　学内講師　里見介史
　　講　　師　下山田博明、長濱清隆
　　助　　教　日比谷隆志

Ａ．教育の基本方針

病理学は病気のメカニズムを明らかにすることを目的とする学問で、医学教育上は基礎医学と臨床医学を繋ぎ統合する役割を担う。膨大な臨床医学の知識を効率的に学ぶ為に、病理学を十分に理解し習得する。病理学Ｂでは、病理学Ａの各論に含まれない臓器系ごとの疾病の発病機構と病理像について学ぶ。

Ｂ．到達目標

病理学総論で学んだことを基礎に、呼吸器、腎臓・泌尿器、神経・筋、乳腺、整形外科、血液・リンパ節、産婦人科、内分泌・代謝、皮膚科、耳鼻咽喉科の主要な疾患について、発病機構と病理形態について理解する。

Ｃ．修得すべき能力

１．主要な呼吸器疾患の病態と形態変化を説明できる。
２．主要な腎臓・泌尿器疾患の病態と形態変化を説明できる。
３．主要な神経・筋疾患の病態と形態変化を説明できる。
４．主要な産婦人科・乳腺疾患の病態と形態変化を説明できる。
５．主要な血液・リンパ節疾患の病態と形態変化を説明できる。
６．主要な内分泌・代謝疾患の病態と形態変化を説明できる。
７．主要な整形外科疾患の病態と形態変化を説明できる。
８．主要な皮膚科疾患の病態と形態変化を説明できる。
９．主要な耳鼻咽喉科疾患の病態と形態変化を説明できる。

Ｄ．学習内容

以下の内容で病理学各論の系統的講義・実習を行う。数字は講義数（うち実習数）。

病理学各論（合計）	３１	（８）
呼吸器	４	（１）
腎臓・泌尿器	５	（２）

産婦人科・乳腺	5	（1）
血液・リンパ節	3	（1）
神経・筋	4	（1）
内分泌・代謝	4	（1）
整形外科	2	
耳鼻咽喉科	2	（1）
皮膚科	2	

E．実習・課外授業

1. 実習

バーチャルスライドを用いた組織標本の観察と関連課題への取り組みを通して、病気の理解を深める。バーチャルスライドの観察にはPCもしくはタブレットを用いるため、各自持参のこと（スマートフォンは不可）。

2. 課外授業

希望する学生には「自由研究プログラム」で対応する。より踏み込んだ病理診断力の習得や病理学に関する研究の課題を提供する。

F．準備学習の内容

講義に際しては、履修案内・授業内容（シラバス）を参照し、教科書の該当箇所に目を通しておく。所要時間1〜2時間。

実習に際しては、関連講義の内容について教科書や配布資料を用いて復習しておく。所要時間1時間。

G．復習学習の内容

教科書や配布資料を再度熟読して復習する。所要時間1〜2時間。

H．成績評価の方法・基準

1. 試験の方針

講義・実習で学んだことの習得の有無を判定する。

2. 試験の方法と評価

試験は筆記試験でマークシート方式およびおよび再生形式を併用する。

3. 評価

筆記試験の点数を最重視するが、出席日数や学習態度、実習課題の評価も加え、総合的に判断する。

Ⅰ．学習指導書

1. 教科書

ルービン病理学　西村書店　2017

2. 参考書Ａ（学生の所持をすすめるもの）

(A) 病理組織の見方と鑑別診断　医歯薬出版　2020

3. 参考書Ｂ（図書館での利用をすすめるもの）

(R) ロビンス基礎病理学　丸善　2018

(R) 標準病理学　医学書院　2019

(R) 解明病理学　医歯薬出版　2021

(A) 外科病理学　文光堂　2020

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【病理学B】

月日	曜	時間	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
8/31	水	1	腎疾患（1）	腎の構造と機能、腎機能異常の基本病態、糸球体腎炎の発生機序、原発性糸球体腎炎	下山田博明	758～799
8/31	水	2	腎疾患（2）	全身性疾患に伴う糸球体腎炎、代謝性疾患における糸球体病変、血管性疾患における糸球体病変、尿細管間質疾患や腎血管性疾患、腎嚢胞性疾患についての病理像を提示、解説する。	下山田博明	758～799
8/31	水	3	呼吸器疾患（1）	肺の非腫瘍性疾患（感染症，びまん性肺胞傷害，閉塞性肺疾患，間質性肺疾患，血管炎と肉芽腫症，肺高血圧症など）について解説する.	藤原正親	539～595
9/7	水	1	呼吸器疾患（2）	肺の非腫瘍性疾患（感染症，びまん性肺胞傷害，閉塞性肺疾患，間質性肺疾患，血管炎と肉芽腫症，肺高血圧症など）について解説する	藤原正親	539～595
9/7	水	2	呼吸器疾患（3）	肺癌を中心とした腫瘍性肺疾患および胸膜・縦隔腫瘍の病理について解説する。	藤原正親	595～606 1025～1028
9/9	金	1	呼吸器疾患（4）・実習	代表的な非腫瘍性および腫瘍性肺疾患、中皮腫、胸腺腫の組織所見についてバーチャルスライドを用いた実習を行う	藤原正親	539～606 1025～1028 資料配布
9/13	火	1	腎疾患（3）・実習	腎・尿路系疾患についての代表的な病理組織像を供覧し、理解を深める。	下山田博明	758～799
9/13	火	2	泌尿器疾患（1）	腎・尿路系及び前立腺、精巣疾患の病理・病態について解説する。各領域の発生と構造・機能、形態・形成異常、炎症性疾患、腫瘍を取り上げる。	柴原純二	758～p764 800～p843
9/14	水	3	泌尿器疾患（2）・実習	代表的な泌尿器の組織像を供覧し、疾患についての理解を深める。	柴原純二	758～p764 800～p843
9/21	水	4	神経・筋疾患（1）	骨格筋疾患と末梢神経系疾患の病理・病態について解説する。筋ジストロフィー症、ミオパチー、重症筋無力症、先天性疾患、横紋筋誘拐症、脱神経、末梢性ニューロパチー疾患、神経外傷、末梢神経腫瘍を取り上げる。	里見介史	1261～1282 1368～1378

2022年度 3年 講義予定表

【病理学B】

月日	曜	時間	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/28	水	4	神経・筋疾患（2）	中枢神経系の非腫瘍性疾患の病理・病態について解説する。髄膜炎、脳膿瘍、ウイルス性脳炎・脳症、真菌性脳炎、プリオン病、脱髄疾患、神経変性疾患などを取り上げる。	里見介史	1304～1322 1329～1340
9/29	木	2	神経・筋疾患（3）	中枢神経系の血管障害、腫瘍性疾患の病理・病態について解説する。脳血管障害や脳腫瘍などの脳外科領域の疾患の病理・病態について解説する。	里見介史	1284～1304 1347～1368
9/29	木	4	乳腺疾患	乳腺の発生、増殖・分化とホルモン、乳癌の遺伝子異常、乳管内乳頭状腫瘍、乳癌、浸潤性乳管癌、小葉癌、乳癌の前駆病変、粘液癌、髄様癌、Paget病、線維上皮性腫瘍、乳腺症。	菅間　博	919～941
10/6	木	4	整形外科疾患（1）	骨・関節領域の非腫瘍性疾患の病理・病態について解説する。骨・関節の基本構造、発生異常、骨折、骨髄炎、骨粗鬆症、変形性関節症、関節リウマチなどを取り上げる。	柴原純二	1192～1254
10/11	火	1	整形外科疾患（2）	骨・軟部領域の腫瘍性疾患の病理・病態について解説する。類骨骨腫、骨肉腫、軟骨肉腫、脂肪腫、脂肪肉腫、横紋筋肉腫などを取り上げる。	柴原純二	1230～1238 1255～1260
10/21	金	2	血液疾患（1）	骨髄疾患、リンパ節の非腫瘍性疾患の病理・病態について解説する。基本構造、骨髄性白血病、骨髄増殖性疾患、骨髄異形成症候群、骨髄腫、感染症等によるリンパ節病変、菊池病、サルコイドーシスなどを取り上げる。	日比谷孝志	982-998 1009-1013
10/21	金	3	血液疾患（2）	リンパ節の腫瘍性疾患の病理・病態について解説する。ホジキンリンパ腫、リンパ芽球性白血病/リンパ腫、成熟B細胞リンパ腫、成熟T/NK細胞リンパ腫などを取り上げる。	日比谷孝志	998-1009 1013-1021
10/26	水	1	神経・筋疾患（4）・実習	中枢神経系の代表的な感染症、神経変性疾患、腫瘍性疾患、脳血管障害の組織標本を供覧し、正常組織と比較しながら観察することで、疾患についての理解を深める。	里見介史	1304～1322 1329～1340 1284～1304 1347～1367

2022年度 3年 講義予定表

【病理学B】

月日	曜	時間	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
10/26	水	3	血液疾患（３）・実習	リンパ節や骨髄における代表的な疾患(悪性リンパ腫・急性骨髄性白血病など)の組織標本を供覧し、疾患についての理解を深める。	日比谷孝志	982～1022
11/2	水	2	婦人科疾患（１）	子宮頸癌組織分類の現状．特に扁平上皮系異型病変のうち、いわゆる境界病変および上皮内癌からなる扁平上皮内腫瘍（CIN／SIL）を中心に解説する。	長濱清隆	858～867 資料配付
11/4	金	3	婦人科疾患（２）	子宮体部病変について。内膜の周期変化。良性疾患として腺筋症、平滑筋腫、子宮内膜増殖症。異型増殖症と類内膜腺癌の関連、および上皮性、非上皮性悪性腫瘍について。絨毛性疾患も取り扱う。	長濱清隆	868～872 914～917 資料配付
11/4	金	4	婦人科疾患（３）	卵巣腫瘍について。由来とする細胞の性格（種類）による分類、悪性度による分類（良性・境界悪性・悪性腫瘍）と、組織分類の項目が多く複雑なので、整理して解説する。	長濱清隆	882～902 資料配付
11/9	水	1	婦人科疾患 （４）・実習	子宮頸部、子宮体部、卵巣の腫瘍について、代表的な疾患の組織像を学ぶ。子宮頚部異形成、子宮頸癌、平滑筋腫、子宮体癌、卵巣の奇形腫、明細胞腺癌など。	長濱清隆	858～885 資料配付
11/10	木	3	内分泌・代謝疾患（１）	尿崩症、下垂体性小人症、下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫、急性副腎皮質機能不全、Addison病、原発性アルドステロン症、Cushing症候群、褐色細胞腫、神経芽腫。	菅間　博	1030～1071
11/10	木	4	内分泌・代謝疾患（２）	膵ラ氏島腫瘍（insulin産生、ガストリン産生）、糖尿病（IDDM、NIDDM）、糖尿病の合併症、カルシノイド、MEN1型、MEN2型。副甲状腺の病理。	菅間　博	1030～1071
11/15	火	1	皮膚疾患（１）	正常皮膚組織の概説と皮膚の非腫瘍性疾患を中心に病理学的所見の解説と診断方法についての概説を行う。代表的疾患については、病気発生のメカニズムも加えた解説を行う。	下山田博明	1107～1158

2022年度 3年 講義予定表

【病理学B】

月日	曜	時間	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/17	木	2	皮膚疾患（２）	皮膚腫瘍性疾患について病理学所見の解説とその診断方法についての概説を行う。代表的疾患については病気発生のメカニズムを加えた解説を行う。	下山田博明	1107～1158
11/24	木	1	耳鼻科疾患（１）	耳鼻科領域の疾患の病理・病態について解説する。各領域の発生と構造・機能、炎症性疾患と腫瘍を取り上げる。	柴原純二	1160～1189
11/24	木	2	耳鼻科疾患（２）・実習	代表的な耳鼻科領域の疾患の組織標本を供覧し、疾患についての理解を深める。	柴原純二	1160～1189
11/24	木	3	内分泌・代謝疾患（３）	甲状腺疾患の病理について。病理診断の意義と実際について概説する。甲状腺原発悪性腫瘍（乳頭癌・濾胞癌・低分化癌・未分化癌・髄様癌・低分化癌）、および橋本病の病理について概説する。	菅間　博	1030～1071
11/25	金	3	内分泌・代謝疾患（４）・実習	下垂体、副腎、膵ラ氏島、甲状腺、副甲状腺の病理標本を供覧し理解を深める。	菅間　博	1030～1071

学　科　目：英語・医学英語Ⅲ（共通）
科目責任者：柴原純二　教授（教務部長）
担当教員：准　教　授　黒田　航
　　講　　師　Khan, Fayyaz Ahmad
　　非常勤講師　馬場美彦、浜田啓志

まえがき

医学英語Ⅲは平常授業と小グループ学習（担当教員は本学の臨床医）で構成される。

平常授業のために、前年度の希望調査の結果と成績とに基づいて、A班、B班、C班、D班の四クラスを編成する。A班とD班の定員は20名程度、B班とC班の定員は40名前後である。A班に関してだけ初回授業で資格検査を実施し、その成績によって帰属の可否を判定する。A班に帰属が認められかった者はB班かC班に所属の変更を行う。このように分けたクラスを英語・医学英語ⅢA、英語・医学英語ⅢB、英語・医学英語ⅢC、英語・医学英語ⅢDと呼び、以後、簡略して英語ⅢA、B、C、Dと呼ぶ。年度末に実施する小グループ演習の編成は成績とは関係なく、ランダムである。

A．教育の基本方針

英語は医療関係者にとっても修得要求の増している技能である。最新の情報を早く入手するのに英語文献に当る事が必須であるだけでなく、患者や医療スタッフとの日常的な係わりで英語が実技として必要とされる度合いは高まる一方である。英語を実用技能だと認識した場合、多くの日本人には繰り返し指摘されているように（a）英語で話す技能と（b）英語で書く技能が未熟であるだけでなく実は（c）十分に早く多量に読む技能や（d）話された事を正確に聴き取る技能も欠けている。本科目では英語ⅢA、B、C、Dの班ごとに別の目標を設定し選択的に欠けている技能を伸ばすための指導を行なう。具体的な指導は担当教員に拠るものとする。従ってA、B、C、Dのそれぞれのクラスで学生が取り組む授業の内容は異なる。M1、M2までと違い、英語の授業でも進んで医療に係わる教材を、クラスごとに受講生の実力と志向性を考慮しつつ選ぶ。

なお、最終成績は特定のクラスにいることが不利にも有利にもならないように調節する。クラスにより課題の難度が異なるため、その補正が必要である。そのため、クラスごとに最高点を別に定める。

具体的には、A、Bクラスの最高点は 100 点、Cクラスの最高得点は 95 点、Dクラスの最高点は 90 点とする。得点算出の具体的な方法については、後述する。

B．到達目標

個々の担当教員が指定する通り。

C．修得すべき能力

修得すべき能力は英語・医学英語ⅢA、B、C、Dによって異なる。当該項目をそれぞれ参照のこと。

D．学習内容

個々の教員が指定する通り。英語・医学英語ⅢA、B、C、Dによって異なる。当該項目をそれぞれ参照のこと。

E．実習・課外授業

予定せず。ただし金曜日の 5 時限目に実施される実践英語 II は参加者が M2 に限られないため M3、M4 の学生が参加可能である。

F．準備学習の内容

予定せず

G．復習学習の内容

個々の教員が指定する通り。

H．成績評価の方法・基準

出席と成績は英語ⅢA、B、C、Dと小グループ演習で独立に評価するのではなく、英語・医学英語Ⅲ全体として行う。出席は授業回数の比率に基づいて全体評価とする。

成績評価は前期と後期の二期に分けて出すが、後期の成績は通年の成績と等価である。

前期成績と後期成績はそれぞれ次のように決める：

i) クラスの別によらず、学期の成績 T は学期中に複数回実施する授業内課題 t1, t2, ..., tn の平均得点 U と期末試験の得点 V とで決める。U と V の混合比率は 5:3 とする（つまり T = (5 * U + 3 * V)/8 で V の端数を切り上げ)。

ii)100≧T≧90 の学生の評価はS、90＞T≧80 の学生の評価はA、80＞T≧70 の学生の評価はB、70＞T≧60 の学生の評価はC、60

＞Ｔの学生の評価はＤ（不合格）。この際、クラスごとの課題の難度の不公平を解消するため、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄのクラスごとの平均点がＡの平均点≧Ｂの平均点＞Ｃの平均点＞Ｄの平均点となるようにＴを事後調節する。ただし、A、B の最高点の上限は 100 点、C の最高点の上限は 95 点、D の最高点の上限は 90 点とする。

ⅲ）調節後にＤ評価を受けた者は前期末と年度末（＝後期末）に再試を課し，その評価に基づきＴを 60 点に修正できるかを判定する。

前期と後期のそれぞれについて出席率が要件に達しない場合、学期ごとにＴを無効とする（つまり T=0 とする）。なお、後期の出席率は通常授業と小グループ演習の実施回数の総和を分母として計算する。

上記の条件により前期の得点が 0 点になった場合でも，後期の出席率の明らかな改善によって通年で 2/3 の出席を有意に越える場合、前期分の無効化を無効にする可能性がある。

前期のみ成績をα、後期のみの成績をβとすると、通常授業の通年の評価はαとβの平均値γ＝（α＋β）／２である。γが 60 点に満たない場合、年度末の再試験で補正をする（補正の最大値は 60 点）。年度末の再試には通年の出席率が 2/3 以上ある事を要件とする。

医学英語Ⅲの全体評価は、補正後のγに次の小グループ演習の得点を追加したものである。

小グループ演習は担当教員による評価=平常点を基本とし、それで成績不十分な者に対して追加試験を実施する。平常点の評価はＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄ（Ｄは不合格）である。追加課題の対象者は原則としてＤのみとするが、評価の調節の結果Ｃの評価を受けた者が該当する場合もある。

Ⅰ．学習指導書

個々の教員が指定する通り。

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの

(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

学　科　目：英語・医学英語 Ⅲ［Sport and Exercise Medicine (SEM)I - Musculoskeletal(MSK) Medicine & MSK Radiology Module］(前期・後期Ａ班)
科目責任者：柴原純二　教授 (教務部長)
担当教員：講　師　Khan, Fayyaz Ahmad

Ａ．教育の基本方針
As instructed in the General Guide to Medical English III.

Ｂ．到達目標
Learning outcomes
On successful completion of this module, students should be able to:
·Take, record and present history.
·Communicate effectively in both written and verbal presentation.
·Demonstrate a good knowledge base to perform a physical examination.

Ｃ．修得すべき能力
Collaboration and teamwork- Oral and written communication skills- Clinical skills- Technology literacy.

Ｄ．学習内容
Class activities are based on:
Semester 1 (Spring)
Week 1 - Assessment for class A.
Week 2 and 3 - Introduction to Clinical Skills and SEM/MSK Case 1
Week 4 - In-Course assessment 1 (lesson 2 and 3)
Week 5 to 7 - Clinical Skills and SEM/MSK Case 2
Week 8 - In-Course assessment 2 (lesson 5 to 7)
Week 9 and 10 - Clinical Skills and SEM/MSK Case 3
Week 11 - In-Course assessment 3 (lesson 9 and 10)

Semester 2 (Fall)
Week 1 to 4 - Clinical Skills and SEM/MSK Case 4
Week 5 - In-Course assessment 1 (lesson 1 to 4)

Week 6 to 9 - Clinical Skills and SEM/MSK Case 5
Week 10 - In-Course assessment 2 (lesson 6 to 9)
Week 11 - Group discussions

Ｅ．実習・課外授業
Read through the General Guide to Medical English III.

Ｆ．準備学習の内容
You are required to do the essential reading (as instructed by the tutor) before each face-to-face tutorial.

Ｇ．復習学習の内容
After each tutorial, you will be required to continue your discussions on the online discussion forum and complete a reflective report on the lesson as part of your self-assessment. You can find the reflective report section in your e-portfolio (Moodle/Padlet Backpack).

Ｈ．成績評価の方法・基準
As instructed in the General Guide to Medical English III. At the end of each semester, your provisional mark for the summative assessment will be based on the following:

Discussion Board and In-Class Discussions (20%)
In-Course Assessments (50%)
End-of-Course (Term-Final) Assessment (30%)

During the modules, there will also be a formative assessment to test your knowledge.

Ｉ．学習指導書
Reading list
CORE: Handout
FURTHER READING: Brukner and Khan's Clinical Sports Medicine Volume 1 and 2, McGraw-Hill, 5th Edition.
Apps List
Essential: Complete Anatomy 22, Moodle & Padlet
Recommended: Khan Academy

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
　(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

英語・医学英語Ⅲ【A班】 前期

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/7	木	1	Lesson 1 SEM/MSK	Class A Assessment	Khan, Fayyaz	Handout
4/14	木	1	Lesson 2 SEM/MSK	Introduction to Clinical Skills Case 1 & Ultrasound Physics	Khan, Fayyaz	Blended learning
4/28	木	1	Lesson 3 SEM/MSK	Introduction to Clinical Skills Case 1 & Ultrasound Physics	Khan, Fayyaz	Blended learning
5/12	木	1	Lesson 4 In-Course Assessment 1	復習のための課題 1 SEM/MSK Case 1	Khan, Fayyaz	
5/19	木	1	Lesson 5 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 2 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
5/26	木	1	Lesson 6 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 2 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
6/2	木	1	Lesson 7 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 2 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
6/9	木	1	Lesson 8 In-Course Assessment 2	復習のための課題 2 SEM/MSK Case 2	Khan, Fayyaz	
6/16	木	1	Lesson 9 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 3 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
6/23	木	1	Lesson 10 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 3 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
6/30	木	1	Lesson 11 In-Course Assessment 3	復習のための課題 3 SEM/MSK Case 3	Khan, Fayyaz	

2022年度 3年 講義予定表

英語・医学英語Ⅲ【A班】 後期

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/1	木	1	Lesson 1 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 4 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
9/8	木	1	Lesson 2 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 4 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
9/15	木	1	Lesson 3 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 4 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
9/22	木	1	Lesson 4 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 4 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
9/29	木	1	Lesson 5 In-Course Assessment 1	復習のための課題 1 SEM/MSK Case 4	Khan, Fayyaz	
10/6	木	1	Lesson 6 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 5 & MSK Ultrasound Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
10/13	木	1	Lesson 7 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 5 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
10/20	木	1	Lesson 8 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 5 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
10/27	木	1	Lesson 9 SEM/MSK	Clinical Skills/Case 5 & MSK Imaging	Khan, Fayyaz	Blended learning
11/10	木	1	Lesson 10 In-Course Assessment 2	復習のための課題 2 SEM/MSK Case 5	Khan, Fayyaz	
11/17	木	1	Lesson 11 Review	Course review	Khan, Fayyaz	Blended learning

学　科　目：英語・医学英語Ⅲ（前期Ｂ班、後期Ｃ班）
科目責任者：柴原純二　教授（教務部長）
担 当 教 員：准教授　黒田　航

Ａ．教育の基本方針
医学英語Ⅲで共通して指定した通り

Ｂ．到達目標
日本の英語教育の主流である実用性からかけ離れた英語ではなく、日本人にもっとも欠落している（ａ）聴き取り技能と（ｂ）（日本語への翻訳を媒介としないで）十分に速く読む技能の修得のための訓練を行なう。加えて，医学関係の文献をそれなりの速度で読み、概要を把握する技能の修得を目標とする。部分的な課題として、学術論文の基本構造の理解や学術語彙の増強を目指す。

Ｃ．修得すべき能力
1）自然な速度で話される英語発話を聴き取る実力.
2）十分な速度で英文を読める実力.
3）英文を逐一日本語に訳さないで直観で概要を把握できる理解力.
4）医療系の専門用語の構造を把握し，辞書を引く回数を減らす語彙力

Ｄ．学習内容
TED の医療関係の講演を使った聴き取り訓練。学術用語の造語法の解説。『英語医薬論文の読みかた・訳しかた』を使用した学術論文の基本構造の解説。TED 講演を使った訓練は次の段階１－３を１サイクルとする実習形式で実施する（１学期あたり２サイクル）：
段階１で候補の TED 講演を幾つか視聴し、選択する（Ｍ２までとは違って 15 分越えの長目の講演が候補）。
段階２で講演の解説（長い講演を取り上げるので，解説に２回分の講義時間を要する）。
段階３で聴き取り課題を実施。
段階４として、学期の最後にまとめて取り上げた講演１，２に基づいて作成した読解課題を実施する。
講演１に基づく課題と講演２に基づく課題は、月例テストの実施日を避けて実施を前後に一週間の範囲で変更する可能性がある。

E．実習・課外授業

医学英語Ⅳで共通して指定した通り。

F．準備学習の内容

授業は講義内で完結する。従って、１）受講生の事前の予習を前提とせず、２）復習を強要しない。この方針は個々の受講生の自主的な予習と復習の実行を妨げるものではない(予習と復習を自主的に実行すれば､受講生は自分の予想以上の実力を身につけることができる)。

G．復習学習の内容

段階３と段階４の課題が成績評価に直結するので、それに対して十分な準備をする事が大切である。本授業では方針として、どの課題でも日本語訳を要求しない。実地で英語が使えるようになる（ための準備を整える）のに、それは効果的でないからである（翻訳家になるのでもなければ、日本語訳がどんなに上手にできても英語が使えるとは言えない)。教材を日本語に訳して内容が分った段階で学習を終わりにすると、段階３と段階４の課題に十分に対応できない。

H．成績評価の方法・基準

医学英語Ⅲで共通して指定した通り

I．学習指導書

授業の一部で次を使用する:

[T1] 鈴木伸二．英語医薬論文の読みかた・訳しかた：具体例による英語医薬論文の理解と表現検討（改訂・増補版)．薬事日報社.

教科書とは別に学習参考書を幾つか挙げておく：

[R1] 田淵アントニオ.「『トシ，１週間であなたの医療英単語を 100 倍にしなさい。できなければ解雇よ。』」. SOCIUS, 2009.

[R2] Myrna LaFleur Brooks & Danielle LaFleur Brooks. Exploring Medical Language: A Student-directed Approach, 8th Edition. Elsevier, 2012.

[R1, 2] はいわゆる〈医学英単語の学習帳〉である。[R1] は日本人向け，[R2] は英米の医学部の学部生向けである。[R2] には用語を朗読した音声 CD も用意されている

※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
　(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

学　科　目：英語・医学英語Ⅲ（前期Ｃ班、後期Ｂ班）
科目責任者：柴原純二　教授（教務部長）
担当教員：非常勤講師　馬場美彦

Ａ．教育の基本方針
医学英語Ⅲで共通して指定する通り。

Ｂ．到達目標
医師・医学研究者に求められる倫理を学び、常識だけでなく良識を身につけることを目標とする。医学および関連分野の研究論文を検索し、読むことが出来る。地域包括ケアの下、これまで以上の多職種連携が求められる中で必要なコミュニケーション能力を身につける。

Ｃ．修得すべき能力
1. 論文の結果と結論を正確に読み取ることができる。
2. 研究論文の構造（IMRAD)、研究デザイン（症例研究、横断研究、縦断研究、RCT、メタ分析など）の違いを理解する。
3. 研究の信頼性、臨床的意義、医学倫理について理解する。

Ｄ．学習内容
医薬論文の読解に関する講義として、英語学講座による指定テキストや医学論文を参照しながら、医学および関連分野における英語論文読解のための、構造理解・重要表現の学習を行う。
扱う内容
・文献管理ソフト（Mendeley, Zotero を推奨）、PubMed、Grammarly などの使い方
・メタ分析、ランダム化比較試験、コホート研究（リスク比、オッズ比、ハザード比）
前半と後半の切れ目は学期の切れ目と一致しない。後半の一週目は 7/1 である点に注意。

Ｅ．実習・課外授業
実習：なし、課外授業：なし

Ｆ．準備学習の内容
事前予習は想定していないが、参考資料（英語論文等）を事前に配布する場合もある。その場合は、次回講義までに目を通して、

概観について理解してくること。

G．復習学習の内容
［配布された論文、文献管理ソフトなどで管理すること。］各１時間

H．成績評価の方法・基準
医学英語Ⅲで共通して指定する通り。

I．学習指導書
講義の中で、英語学講座で指定されたテキスト『英語医薬論文の読みかた・訳しかた』を使用する。また、適宜、関連論文を配布する予定である。
・鈴木伸二（2016）「英語医薬論文の読みかた・訳しかた」薬事日報社

以下は参照文献。必須ではない。
・浦島充佳（2020）「ゼロからはじめる臨床研究論文の読み方―研究デザインと医学統計の必須ポイントがよくわかる」東京図書
・バウワース、オーウェンス、ハウス（2005）「医学英語論文の読み方」丸井英二、檀原高（翻訳）、朝倉書店
・イアン・K・クロンビー（2007）「医療専門職のための研究論文の読み方―批判的吟味がわかるポケットガイド」津富宏（翻訳）、金剛出版
・開原成允、浅井泰博（翻訳）（2001）「JAMA 医学文献の読み方（EBM ライブラリー）」中山書店
※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

英語・医学英語Ⅲ【B班】 前期

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/7	木	1	L01医療関係の講演の理解1/8	TED講演1の候補の試聴と選択	黒田 航	スライドと配布資料
4/14	木	1	L02医療関係の講演の理解2/8	TED講演1の解説1/2	黒田 航	スライドと配布資料
4/28	木	1	L03医療関係の講演の理解3/8	TED講演1の解説2/2	黒田 航	スライドと配布資料
5/12	木	1	L04医学用語を理解する1/1	医学英語の語彙の構造解析	黒田 航	スライドと配布資料
5/19	木	1	L05医療関係の講演の理解4/8	TED講演1を基にした課題	黒田 航	スライドと配布資料
5/26	木	1	L06医療関係の講演の理解5/8	TED講演2の候補の試聴と選択	黒田 航	スライドと配布資料
6/2	木	1	L07医療関係の講演の理解6/8	TED講演2の解説1/2	黒田 航	スライドと配布資料
6/9	木	1	L08医療関係の講演の理解7/8	TED講演2の解説2/2	黒田 航	スライドと配布資料
6/16	木	1	L09医学論文の書かかれ方を理解する1/2	医学論文の構造解析1/2	黒田 航	スライドと配布資料と『英語医薬系論文の読みかた・訳しかた』, pp. 43-50
6/23	木	1	L10医療関係の講演の理解8/8	TED講演2を基にした課題	黒田 航	スライドと配布資料
6/30	木	1	L11医学論文の書かれ方を理解する2/2	医学論文の構造解析2/2	黒田 航	スライドと配布資料と『英語医薬系論文の読みかた・訳しかた』, pp. 43-50

2022年度 3年 講義予定表

英語・医学英語Ⅲ【C班】 後期

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/1	木	1	L01医療関係の講演の理解1/8	TED講演1の候補の試聴と選択	黒田 航	スライドと配布資料
9/8	木	1	L02医療関係の講演の理解2/8	TED講演1の解説1/2	黒田 航	スライドと配布資料
9/15	木	1	L03医療関係の講演の理解3/8	TED講演1の解説2/2	黒田 航	スライドと配布資料
9/22	木	1	L04医学用語を理解する1/1	医学英語の語彙の構造解析	黒田 航	スライドと配布資料
9/29	木	1	L05医療関係の講演の理解4/8	TED講演1を基にした課題	黒田 航	スライドと配布資料
10/6	木	1	L06医療関係の講演の理解5/8	TED講演2の候補の試聴と選択	黒田 航	スライドと配布資料
10/13	木	1	L07医療関係の講演の理解6/8	TED講演2の解説1/2	黒田 航	スライドと配布資料
10/20	木	1	L08医療関係の講演の理解7/8	TED講演2の解説2/2	黒田 航	スライドと配布資料
10/27	木	1	L09医学論文の書かかれ方を理解する1/2	医学論文の構造解析1/2	黒田 航	スライドと配布資料と『英語医薬系論文の読みかた・訳しかた』, pp. 43-50
10/10	木	1	L10医療関係の講演の理解8/8	TED講演2を基にした課題	黒田 航	スライドと配布資料
11/17	木	1	L11医学論文の書かれ方を理解する2/2	医学論文の構造解析2/2	黒田 航	スライドと配布資料と『英語医薬系論文の読みかた・訳しかた』, pp. 43-50

2022年度 3年 講義予定表

英語・医学英語Ⅲ【C班】 前期

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/7	木	1	オリエンテーション。講義 1	講義全体に関するオリエンテーション、および英語論文読解の基礎に関する講義	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
4/14	木	1	講義 2	英語論文読解の基礎に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
4/28	木	1	講義 3	英語論文読解の基礎に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
5/12	木	1	課題 1	講義１・２・３に関する課題１	馬場美彦	
5/19	木	1	講義 4	英語論文読解に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
5/26	木	1	講義 5	英語論文読解に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
6/2	木	1	課題 2	講義４・５に関する課題２	馬場美彦	
6/9	木	1	講義 6	英語論文読解に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
6/16	木	1	講義 7	英語論文読解に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
6/23	木	1	課題 3	講義６・７に関する課題３	馬場美彦	
6/30	木	1	講義 8	全体を統括する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料

2022年度 3年 講義予定表

英語・医学英語Ⅲ【B班】 後期

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/1	木	1	オリエンテーション。講義 1	講義全体に関するオリエンテーション、および英語論文読解の基礎に関する講義	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
9/8	木	1	講義 2	英語論文読解の基礎に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
9/15	木	1	講義 3	英語論文読解の基礎に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
9/22	木	1	課題 1	講義１・２・３に関する課題１	馬場美彦	
9/29	木	1	講義 4	英語論文読解に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
10/6	木	1	講義 5	英語論文読解に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
10/13	木	1	課題 2	講義４・５に関する課題２	馬場美彦	
10/20	木	1	講義 6	英語論文読解に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
10/27	木	1	講義 7	英語論文読解に関する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料
11/10	木	1	課題 3	講義６・７に関する課題３	馬場美彦	
11/17	木	1	講義 8	全体を統括する講義・演習	馬場美彦	スライド、テキスト、配布資料

学　科　目：英語・医学英語Ⅲ（前期、後期Ｄ班）
科目責任者：柴原純二　教授（教務部長）
担 当 教 員：非常勤講師　浜田啓志

Ａ．教育の基本方針
医学英語Ⅲで共通して指定する通り。

Ｂ．到達目標
医学論文を正確かつ素早く読むためには、最低限の文法知識や文の構造を瞬時に見抜く力が必要不可欠である。文の構造を取り違えては、論文の要旨すらも間違って解釈してしまう恐れがある。書かれている内容を解釈しながら、そのために必要な英語の形式に対する理解も同時に深めていくことが本授業の狙いである。

Ｃ．修得すべき能力
1. 医療の現場において展開される、基本的なコミュニケーションを理解することが出来る。
2. 科学論文の読解に必須となる文法・語法の知識が身についている。
3. 医学論文の解釈に必須となる専門的な語彙の知識が身についている。

Ｄ．学習内容
本授業では、主に医学論文をテキストとして採用する。一文一文じっくり読みながら文構造を把握するのに加え、内容理解確認のためのクイズ（真偽判断等）にも取り組んでいく。実際の医学論文に触れることで、その典型的なパターンを学びながら、より実践的な力を身につけていく。
上記の通り医学論文の読解を中心に進めていくが、医者と患者のやりとりなどを素材にしたリスニングも補足的に行う。

Ｅ．実習・課外授業
医学英語Ⅲで共通して指定する通り。

Ｆ．準備学習の内容
オンライン上のページに授業資料が前日までにアップロードされるので、知らない単語を辞書で引き、全体の文章にも簡単に目を通しておくこと。このオンライン上のページの URL 等は初回の授業

で紹介する。

G．復習学習の内容
授業内で配布した資料で空欄になっていた箇所、下線の引いてあった箇所を中心に、重要な語法・文法等を見直ししておくこと。

H．成績評価の方法・基準
医学英語Ⅲで共通して指定する通り。

Ⅰ．学習指導書
基本的に授業資料は講師が配布するが、授業の一部で次を使用する:
鈴木伸二. 英語医薬論文の読みかた・訳しかた：具体例による英語医薬論文の理解と表現検討（改訂・増補版）. 薬事日報社.
※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

英語・医学英語Ⅲ【D班】前期

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
4/7	木	1	イントロダクション	授業の概要解説	浜田啓志	配布資料
4/14	木	1	医学論文の精読(1)	医学論文Aの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
4/28	木	1	医学論文の精読(2)	医学論文Bの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
5/12	木	1	医学論文の精読(3)	医学論文Cの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
5/19	木	1	第1回授業内課題	第1回授業内課題	浜田啓志	配布資料
5/26	木	1	医学論文の精読(4)	医学論文Dの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
6/2	木	1	医学論文の精読(5)	医学論文Eの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
6/9	木	1	医学論文の精読(6)	医学論文Fの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
6/16	木	1	医学論文の精読(7)	医学論文Gの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
6/23	木	1	第2回授業内課題	第2回授業内課題	浜田啓志	配布資料
6/30	木	1	医学論文の精読(8)	医学論文Hの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料

2022年度 3年 講義予定表

英語・医学英語Ⅲ【D班】後期

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
9/1	木	1	医学論文の精読(1)	医学論文Jの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
9/8	木	1	医学論文の精読(2)	医学論文Kの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
9/15	木	1	医学論文の精読(3)	医学論文Lの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
9/22	木	1	医学論文の精読(4)	医学論文Mの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
9/29	木	1	第1回授業内課題	第1回授業内課題	浜田啓志	配布資料
10/6	木	1	医学論文の精読(5)	医学論文Nの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
10/13	木	1	医学論文の精読(6)	医学論文Oの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
10/20	木	1	医学論文の精読(7)	医学論文Pの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
10/27	木	1	医学論文の精読(8)	医学論文Qの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料
11/10	木	1	第2回授業内課題	第2回授業内課題	浜田啓志	配布資料
11/17	木	1	医学論文の精読(9)	医学論文Rの精読、文法・内容理解訓練	浜田啓志	配布資料

学　科　目：英語・医学英語Ⅲ（スモールグループ学習）
科目責任者：柴原純二　教授（教務部長）
担 当 教 員：　特任教授 宮　敏路（呼吸器・甲状腺外科学）、
　　准 教 授 岸本暢將（腎臓・リウマチ膠原病内科学）、
　　海老原孝枝（高齢医学）、関　博志（麻酔科学）
　　森定　徹（産科婦人科学）、
　　講　　師 河野浩之（脳卒中医学）、福原大介（小児科学）
　　近藤　琢磨（糖尿病・内分泌・代謝内科学）、
　　宮本　真（耳鼻咽喉科学）、
　　三好　潤（消化器内科学）
　　学内講師　木下美咲（皮膚科学）、大塚弘毅（臨床検査医学）、
　　小山幸平（循環器内科学）
　　助　　教　成田圭吾（形成外科学）、三好佐和子（総合医療学）、
　　関口進一郎（医学教育学）、
　　今村　弥生（精神神経科学）

A．教育の基本方針
　３年と４年の医学英語の目標は、第一に医学関係の教科書、論文、インターネットで配信されている記事や講演などを英語で読み、聞き、理解できるようになることである。第二に学生が将来、自力で英語で医学論文を書いたり学会発表をするための下地を準備することである。二つ目の目的の実現のため、３年と４年では、医学論文の専門的理解を支援するため小さなグループ形式で医学論文の読解演習を行う。

B．到達目標
　１）一般目標（GIO）：英語の医学情報を読み、理解する。
　２）行動目標（SBO）：英語の医学論文（原著、臨床研究）を読み、理解し、要約できるようになる。

C．修得すべき能力
　１）未知の専門用語を独力で調査し理解する技能．２）論文が全体で何を記述し，主張しているかを一定時間内に正確に把握する能力

D．学習内容
　１グループ８～９人のスモールグループに分かれて学習します。担当教員が選んだ医学論文を輪読します。どの論文を読むかは担

当教員と事前に打ち合わせて下さい。また授業時間は担当教員の都合に合わせることになりますので、グループ代表者は事前に学習の曜日、時間、場所（チュートリアル室など）を打ち合わせて下さい。授業が早朝や放課後になることもあります。

E．実習・課外授業

1．実習　　なし

2．課外授業　　なし

F．準備学習の内容

原則として、指定された論文（症例報告）について、各自で逐語訳（英文和訳）を行ったうえで授業に臨むこと。準備の範囲、その他の注意事項等については、事前に担当教員の指示を得ておくこと。

担当教員と開始一週間前までに連絡が取れない場合、最後の手段として英語学教室の黒田准教授に問い合わせるように。

G．復習学習の内容

配布された資料等を熟読して復習すること。

H．成績評価の方法・基準

1．試験の方針

症例報告の読解力を評価する。

2．試験の期日と実施方法

平常評価（学習態度＋出席率）が不十分な者に対してのみ、定期試験期間中に追加試験を実施する。

3．評価方法

学習態度◎、出席率○、定期試験期間中の追加試験（該当者のみ）

【評価配分の目安：学習態度（60%）、出席率（40%）、追加試験（不足補充）】

4．判定基準

S、A、B、C、Dの評価を得点に換算し、総合評価 60 点以上を合格とする。なお、グループごとの評価のばらつきによる不公平を減らすため、報告された評価に対し英語学教室が事後調節を行う。

I．学習指導書

１．教科書（学生が所持すべきもの）
　なし
２．参考書Ａ（学生へ所持を勧めるもの）
　（電子）英和辞書（医学用語に強いものを推奨）、医学辞書
３．参考書Ｂ（参考となるもの）
　インターネット検索
※(R)：Remedial　…　教科書の理解を助けるような補習的なもの
　(A)：Advanced　…　教科書より進んだ学習のためのもの

2022年度 3年 講義予定表

【英語・医学英語Ⅲ（スモールグループ学習）】

月日	曜	時限	講義テーマ	講義内容	担当	教科書
11/25	金	2	別途配布	別途配布	別途配布	別途配布
12/2	金	2	〃	〃	〃	〃
12/9	金	2	〃	〃	〃	〃
12/16	金	2	〃	〃	〃	〃

担当教員の都合によって学習の曜日、時間、場所が変わります。グループの代表者は担当教員と事前に連絡を取り、打ち合わせてください。